

## 展開科目 社会科学ゼミナール

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51311           | A  | 社会科学ゼミナール<br>(法・政治) | 川出 良枝 | 法学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ジョン・スチュアート・ミル『自由論』を読む<br/>                     ジョン・スチュアート・ミルの『自由論』(1859)は、自由とは何かを考える上で必読の書である。専制的な政府が個人の自由を蹂躪する事態をどう克服するかは別の作品に委ね、本書でミルはもっぱら世論や習慣が個人の自由を侵食する事態を問題視する。つまり、社会との関係における個人の自由が問われたのである。彼は、たとえ社会の側から見れば、その人にとって有害な帰結をもたらすような行為でも、個人がそれを選択する自由をもつことを可能な限り最大限に尊重せよと説いた。ミル自身が道徳や正義を振りかざす世論からの「バッシング」に苦しんだ当事者でもあった。もちろん、どんな行為でも許されるわけではない。自由はいかなるときに制限されるべきかも考える必要がある。また、そもそも自由が重要な価値であるとは考えない人々を説得しなければならない。様々な論拠を繰り出して個人の自由の擁護を試みるミルの政治思想を読み解いていこう。</p> |                     |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名               | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51313           | A   | 社会科学ゼミナール<br>(法・政治) | 溜箭 将之 | 法学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>イギリス契約法<br/>                     イギリス契約法に関する英文入門書を通読する。<br/>                     契約法は、イギリスで法学の入門科目として扱われる。またイギリス契約法は、国際的な商取引で広く用いられている。さらに、イギリス法はアメリカ法とともにコモン・ローと呼ばれる法的伝統の源であり、ドイツやフランスなど日本が大きく影響を受けてきた大陸法と呼ばれる法的伝統と異なる特徴をもつ。<br/>                     本ゼミナールでは、イギリス契約法を、法学入門、イギリス法の理解、日本や大陸法との比較、国際商事取引の理解など、様々な観点から検討してゆく。</p> |                     |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51310           | A  | 社会科学ゼミナール<br>(法・政治) | 伊藤 洋一 | 法学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>J. ハーバーマスとヨーロッパ統合<br/>                     現代に氾濫する大量の情報を主体的に選択した上で、それに基づく厳密な思考を積重ねつつ、歴史的・理論的な視点に立ち、自身の見解を形成すること、それを公共の空間での批判に耐えるような形で、言葉で表現する能力を持つことは、法と政治を学ぶ際には欠かせません。<br/>                     しかし、そのような能力を培う場は、高校にも大学教養課程にも乏しいのが現状です。そこで、その欠を少しでも埋めようと、法学部の複数のスタッフは、従来から演習形式の授業を駒場で行ってきました。<br/>                     著作物の精密な読解、主張を着実に伝える論述の方法、お互いを見解を深める議論の応酬、こうした訓練を積まないかぎり、十分に法を理解し、政治を考えることは困難です。このような能力は、司法・行政・政治を職業に選ぶ者にはもちろん、それ以外の場合でも、社会の一員として好むと好まざるとにかかわらず法と政治に関与する場面(わかりやすい例は選挙と裁判)で必要となる、貴重な素養です。<br/>                     参加資格は、法学部進学希望者・文科1類学生には限りません。文系・理系の別も不問です。知的興味を持つ学生諸君を歓迎します。</p> |                     |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|------|------|-----|----------------------|
| 51062           | A  | 社会科学ゼミナール<br>(法・政治) | 内山 融 | 法・政治 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>EBPM (エビデンスに基づく政策形成) の研究<br/>                     現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM (evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成) の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。<br/>                     この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。<br/>                     公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPOなどで政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。</p> |                     |      |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51305           | A   | 社会科学ゼミナール<br>(経済・統計) | 小島 武仁 | 経済学部 | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>マッチング理論とマーケットデザイン：入門から研究最前線までお見せします</p> <p>みなさんは「マッチング理論」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？マッチングというと出会い系などを想像されるかもしれませんが、これは経済学を中心に、コンピュータサイエンスや応用数学などにもまたがる学際的な研究領域の名前です。世の中にはたくさんの社会問題がありますが、その多くに共通してマッチングという側面があります。例えば皆さんが経験したであろう入試は学生と学校や大学のマッチングですし、今後みなさんの多くが経験するであろう就活は学生と企業などのマッチングです。他にも結婚や子供を保育園に入れるいわゆる「保活」、コロナワクチン登場直後に起きたワクチンの配分問題などもある種のマッチング問題だと捉えることができます。このように社会のあちこちにマッチング問題があり、これを統一的な理論的枠組みで理解することを目指すのが経済学の「マッチング理論」という分野です。</p> <p>この講義のもう一つのキーワードが「マーケットデザイン」です。これは何かというと、上記のようなマッチング理論をただの抽象的な「机上の空論」に終わらせずに、社会のマッチング問題解決に役立てるためにマッチングの市場（マーケット）を設計（デザイン）しようという応用分野を指す言葉です。この分野の研究成果は実際に社会にある多くのマッチング問題を解決するために社会実装されており、マーケットデザインは2012年と2022年の2回にわたってノーベル経済学賞の対象になっています（周辺の研究分野も入れたらもっと何回もあります）</p> <p>この講義では、この「マッチング理論」と「マーケットデザイン」を紹介します。予備知識なしの状態から分野の入門的な解説から始まりますが、最終的にはこの研究分野の最前線（の一部）までお見せするつもりです。分野の予備知識は特に要求しませんが、数学的・論理的な議論を多用するので、そういう理屈をしっかりと理解する根気はぜひとも必要です。また、経済学のミクロ経済学、特にゲーム理論という分野と密接に関わっていますので、その知識があるとなおさら良いと思います（が、なくても大丈夫なように講義をする予定です）。</p> <p>対象としては文2の学生さんはもちろん、他の科類の学生さんも大歓迎です。経済学に興味がある人には向いていると思いますが、例えば「理系」に興味があり、経済学や社会科学はなんとなくインチキくさいと思っているような学生さんも歓迎です。私は2020年までスタンフォード大学の経済学部の教授だったのですが、実をいうとそこで私はこのゼミと似た授業をしていました。そこではコンピュータサイエンスやいわゆる「理系」専攻の学生さんを主なターゲットに、数学や科学的なアプローチで経済や社会を分析するとはどういうことかを紹介し、経済学の世界に引き込もうという野望のもとマーケットデザインの授業をやっていました。駒場でも、いろいろな興味を持っている多様な学生さんに履修してもらえることを楽しみにしています。</p> |                      |       |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員 | 所属       | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------------------|------|----------|-----|----------------------|
| 50250           | A  | 社会科学ゼミナール<br>(社会・社会思想史) | 小山 裕 | 社会・社会思想史 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>研究入門ー社会理論の古典と現在</p> <p>広い意味での社会理論に関する文献の精読を通じて、社会学や社会思想の基礎概念の理解を深めるとともに、学術的なテキストの解釈に必要なスキルを向上させることがこの演習の目標である。</p> <p>今学期は、Hans Joas, 2001, Genesis of Values, University of Chicago Press. (原著は、1997, Die Entstehung der Werte, Suhrkamp.)を読む。著者のHans Joasは、現代を代表する社会学者・社会哲学者であり、創造性に着目した独自の行為理論で知られる。本書において著者は、ニーチェ、ウィリアム・ジェームズ、デュルケム、ジンメルといった近代の古典的な哲学者や社会学者の学説を検討しながら、「価値は自己形成と自己超越の経験の中で成立する」というテーゼを提示する。本書の精読を通じて、「価値はいかにして成立するのか」という原理的問題だけでなく、現代社会における価値をめぐる争いや共有価値の喪失という時代診断、さらには機械翻訳の精度が著しく向上している現在において、古典や異なる言語のテキストを読むことの意義などについても幅広く議論したい。時間に余裕があれば、Joasの別の著作（The Sacredness of the Person や War and Modernity など）も取り上げる。</p> <p>英訳を用いるので、ドイツ語を履修している必要はない。ただし原著も随時参照する。</p> <p>なお履修希望者が20名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるため、初回の授業には必ず出席すること。受講許可は第2回の授業日までに掲示によって告知する。</p> |                         |      |          |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                   | 担当教員  | 所属       | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------------------|-------|----------|-----|----------------------|
| 50251           | A   | 社会科学ゼミナール<br>(社会・社会思想史) | 橋本 摂子 | 社会・社会思想史 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>質的調査の方法</p> <p>社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。</p> |                         |       |          |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|------|------|-----|----------------------|
| 50187           | A   | 社会科学ゼミナール<br>(国際関係) | 遠藤 貢 | 国際関係 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>「擬似国家 (Quasi-States)」を考える<br/>以下の古典とも評価される文献を輪読し、現代国際関係における国家の多様な姿について考えることを通じて、より深く国際政治を理解する契機を提供する。<br/>Jackson, R. H. (1990) Quasi-states: Sovereignty, International Relations, and the Third World, Cambridge: Cambridge University Press.<br/>履修希望者が20名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。</p> |                     |      |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|------|-----|-----|----------------------|
| 51312           | A   | 社会科学ゼミナール<br>(国際関係) | 遠藤 乾 | 法学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>本演習では外交について考える。近年のウクライナにおける事例にみられるように、戦争はなかなかなくなる。しかしそれが常態なわけでもない。暴力的な事態を取捨し、そういう例外的事態に陥らないために営まれる営為・回路として外交はある。<br/>外交とはそもそも何か、どんな性質をもつのか、歴史上いかなる形で生じたのか、特定の作法はあるのか、だれがどう動かしているのか、関連メカニズムは何かなど、多くの問いがある。ガイダンスのあと、基本的には、20世紀を代表する外交の理論家・歴史家・実践者であるキッシンジャーの『外交』を輪読する予定。余裕があれば、具体的な日本の外交安全保障上の諸課題、特に台湾と半島の問題の管理などについて織り交ぜ、ゲストを呼ぶなどして、幅を広げたい。<br/>1. 国際政治の基本的な交渉手段・回路である外交について知識を得、考える能力を養う。<br/>2. 現在進行形の問題を、広く理論や歴史の観点から分析する素地を作る。<br/>3. 多読と精読の訓練をする。<br/>4. 併せて、討論やプレゼン (+司会) の技法を学ぶ。</p> |                     |      |     |     |                      |

## 展開科目 人文科学ゼミナール

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-----------------------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50002   | A  | 人文科学ゼミナール<br>(哲学・科学史) | 齋藤 幸平 | 哲学・科学史 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | アドルノを読む<br>Adorno lesen  |                       |       |        |     |                      |
| 授業の目標概要 | アドルノの Aspekte des neuen Rechtsradikalismus をドイツ語で読破する。今後の哲学研究のために必要なドイツ語力を養いつつ、アドルノの思想への入門としても利用されたい。定員は20人とする。それ以上の場合は選考を行うので、初回の授業には必ず参加すること。受講にあたっては、ドイツ語の授業を一年間受けていることが望ましい。 |                       |       |        |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-----------------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51309   | A  | 人文科学ゼミナール<br>(哲学・科学史) | 菊地 達也 | 文学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 古典イスラム思想理解のためのアラビア語原典講読  |                       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | 本授業においては、アラビア語の原書講読を通じてイスラム思想についての見識と理解を深めることを目指す。イスラム思想の領域としてはシーア派思想、神秘主義、神学のそれぞれについてテキストを3つ用意し、学生と協議の上領域およびテキストを決定する。アラビア語を習得した上で授業に参加することが望ましいが、学習中もしくは未習であっても意欲があれば出席して構わない(和訳もしくは英訳を配布)。テキストについてはなるべく母音符号付きのものを選ぶようにし、シーア派思想の場合はシーア派独特のイマーム(指導者)論とスンナ派批判を骨子とするアッラーマ・ヒッリー(1325年没)著『イマーム位を知るための高貴なる道』を、神秘主義の場合はスンナ派正統思想の中に神秘主義を取り込んだガザリー(1111年没)が晩年に弟子たちに倫理的に正しく生きることを説いた『おお少年よ』を、神学の場合はイスラム教内の諸宗派の思想を要約した分派学書を講読対象の候補として用意するが、それ以外の著作を講読したいという要望があれば、テキストを変更することもありえる。 |                       |       |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名              | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|--------------------|--------|-----|-----|----------------------|
| 50670   | A  | 人文科学ゼミナール<br>(歴史学) | 中野 耕太郎 | 歴史学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 史料から読むアメリカ現代史—原子爆弾と冷戦のはじまり   |                    |        |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | この講義では、第二次大戦期から戦後の冷戦初期までの時代を対象に、アメリカの政策策定者や科学者、ジャーナリストらが書き残した多様な史料(英語)を読み解き、日本への原爆投下から核の国際管理論を経て、米ソ冷戦が形成されていく過程を検討する。アメリカ現代史についての知識を深めるとともに、原史料を解読する作業をとおして、歴史とは何か?歴史的な集合記憶とは何か?という大きな問題についても考える。定員は15名程度とするので、初回授業時に履修希望者が超過した場合は、志望動機を記したレポートを書いてもらい、第2回までに受講の許可について告知します。 |                    |        |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名              | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|--------------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50928   | A   | 人文科学ゼミナール<br>(歴史学) | 大塚 修 | 歴史学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 史料から読み解く中東イスラーム地域の歴史  |                    |      |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | 中東イスラーム地域の歴史や文化に関心のある学生を対象とした、英語文献を講読するゼミナールです。この地域の歴史を研究するためには、アラビア文字を使用するアラビア語、ペルシア語、チャガタイ・トルコ語、オスマン・トルコ語といった言語で書かれた史料を分析する必要があります(有名なものでは、タバリー著『預言者たちと諸王の歴史』やランド・アッディーン著『集史』)。このゼミナールでは、そういったアラビア文字文献の名著の「英語訳」を輪読する作業を通じて、研究の技法を身につけるとともに、中東地域の歴史や文化を学びます。講読文献は、履修希望者の興味や関心に応じて決定します。講読文献は英語ですので、興味がある学生であれば、どなたでも歓迎します。 |                    |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|-------|-----|----------------------|
| 50929           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(文化人類学)   | 中村 沙絵 | 文化人類学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>研究入門—人類学とライフヒストリー研究</p> <p><b>【授業の目標】</b><br/>文化人類学は「他者を迂回して自己の認識に至ること」ことを目指す学問である。本講義では、特定の歴史的・社会的状況を生きる個人の声や経験をすくいあげようとするライフヒストリー研究（あるいは自伝的研究）という手法が人類学にどのような影響を与えてきたかについて、講義と具体的な著作の輪読・ディスカッションを通して検討する。文化人類学の基本的な態度を理解するとともに、この学問が〈個〉の声や経験をいかに扱うものであるかについて考えを深めることを目標とする。</p> <p><b>【概要】</b><br/>「他者を迂回して自己の認識に至る」というとき、従来の文化人類学では「文化的な他者」を想定することが一般的であった。ここでは、個人の声は集団の特徴や傾向を説明するために引用されることはあっても、ひとつのまとまりとして提示されることは少なかった。しかし、グローバル化の進展により、政治的・経済的な自律性、あるいは文化的・社会的な完結性が幻想にすぎないことや、自己／他者の線引きに潜む権力性が問題視されるようになると、人類学内部において「他者理解」が何を意味するかもまた、再考を迫られることになった。</p> <p>「フィールドに出かけ、人に話を聞き、その経験にもとづいて思考し、書く」人類学者は、その営みの意義や自らの立場性を「ある文化体系を描き出す（専門家）」ということに留まらず、フィールドの現実に合わせて都度模索してきたといえる。こうした模索のなかで出てきた一つの方向性が、ある個人の物語にじっくりを耳を傾けるライフヒストリー研究（場合によっては、人類学者自身のライフヒストリーを組み込むような自伝的研究）をとりいれるというものであった。古典的にはタブー視されてきたともいえる私的なナラティブ（personal narratives）をくみこんだ文化人類学の著作には、いかなる形で「他者を迂回して自己の認識に至ること」が目指されている／達成されているといえるだろうか。「自分の物語を語ること」／「ひとの物語に耳を傾けること」、そうした営為をもとに「書くこと」／書かれたものを「読むこと」の意義について、講義と輪読・ディスカッションを通して考えていく。</p> |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|--------|-----|----------------------|
| 50919           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(データ分析)   | 大森 拓哉 | 心理・教育学 | 金 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>心理学統計法</p> <p>物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。</p> <p>授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。</p> <p>受講者数が収容人数（20 名程度）を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。</p> |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|----|-----|----------------------|
| 50930           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(データ分析)  | 大関 洋平 | 英語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>自然言語処理入門</p> <p>昨今の機械学習やビッグデータの急速な発展に伴い、社会科学や自然科学だけでなく、人文科学においてもデータ分析が必要不可欠な教養になりつつあります。そこで、本授業では、自然言語のデータ分析を対象とする「自然言語処理」(Natural Language Processing, NLP) の概要を説明し、Python と NLTK を用いて実際にプログラムを実行することで、その基盤技術を理解することを目標とします。特に、形態素解析、構文解析、意味解析、日本語の自然言語処理、ニューラルネットワークと深層学習、などを取り扱う予定です。</p> |       |    |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                 | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------------------|------|------|-----|----------------------|
| 50189           | A   | 人文科学ゼミナール<br>(ことばと文化) | 斉藤 渉 | ドイツ語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>普遍的規範と思考—カント『道徳形而上学の基礎づけ』(1785)をめぐって<br/>                 社会のなかで普遍的に妥当する規範はあるのか? 仮にそのようなものがあるとして、私たち人間は自分たちの思考を通じて、そのような規範に到達できるのか?<br/>                 カント実践哲学の主著の一つである『道徳形而上学の基礎づけ』(第1版:1785)は、こうした問いをめぐって展開されています。現代の(メタ)倫理学の議論にも大きなインパクトを与え続けるこの著作を集中的に分析・考察することで、哲学・思想史研究の基礎を学ぶことがこの授業の目標です。<br/>                 有名な「定言命法(Kategorischer Imperativ)」の定式化を含むこの著作が、倫理・道徳(実践哲学)思想の歴史のなかでもった意義と問題性について、参加者とともに考察・討論していきます。後期課程および大学院で(とりわけドイツ系の)哲学・思想を学びたい方を想定しています。</p> |                       |      |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|----------|----|-----|----------------------|
| 50252           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(ことばと文化) | アルヴィ なほ子 | 英語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>詩とは何か—外国語、日本語、翻訳、AIをめぐって<br/>                 履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20名程度に受講を許可します。受講許可は第2回までにITC-LMSのこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。<br/>                 「課題」はgoogle formです。g.eccのアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。<br/> <a href="https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScc0Pu2rLo0TRSHy3-U1yt0G1BM1fULmTW6l-frftXtcAJaEw/viewform?usp=sf_link">https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScc0Pu2rLo0TRSHy3-U1yt0G1BM1fULmTW6l-frftXtcAJaEw/viewform?usp=sf_link</a><br/>                 目標) 英語で書かれた文学テキストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テキストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。<br/>                 1) 文学テキスト、特に詩(韻文)を読むとはどういうことかを理解する。<br/>                 2) 文学テキストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外側—同時代のコンテキスト、現代の理論など—などを考察しながら、1つの作品(テキスト)を精読していくやり方を学ぶ。<br/>                 3) 一次資料の扱い方、OEDなどの使い方に慣れる。Bibliography(Book history)の初歩を学ぶ。<br/>                 概要) ことばが文学テキスト、特に「詩」となって花開くとき、何が起きているのか、文学テキストの生成と想像力の関係、そのテキストが生み出される文化との関係、固有の文化、時間を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。</p> |                       |          |    |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50253           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(ことばと文化) | 出口 智之 | 国文・漢文学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>横溝正史を読む<br/>                 江戸川乱歩とともに日本の推理小説を作り上げた作家、横溝正史の作品を取上げ、推理小説史や同時代の文学史、そして同時代の社会や時代状況を見据えながら、作品に内在する問題系を考える。</p> |                       |       |        |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50671           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(ことばと文化) | 田口 一郎 | 国文・漢文学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>漢文箴言集の解説<br/>                 明代に書かれた箴言集『醉古堂劍掃』(江戸時代の版本)を読みながら、基本的な漢文法の理解と漢文読解力を修得する。また当時の人が人生・社会というものをどのように考えていたのかを考察する。</p> |                       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|----|-----|----------------------|
| 51474           | A  | 人文科学ゼミナール<br>(ことばと文化)   | 大石 和欣 | 英語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>イギリス社会史研究入門ー労働者階級および貧困の表象とその解釈の問題</p> <p>この授業は、歴史学、とりわけ社会史、さらには地域文化や文学に関わる研究の基本的な方法を、イギリス 19 世紀後半における労働や労働者、さらには貧困に関わる記述や表象を、多面的な視点から検証することで身につけることを目的としています。方法論や考え方を修得することが主眼ですので、必ずしもこの時代の歴史的状況について予備知識を持っていることは求められません。ただし、英語の一次資料や参考資料を読解する場合がありますので、基本的な英語力は必要になります。</p> <p>社会史家 E・P・トムソンの『イングランド労働者階級の形成』は、18 世紀末から 19 世紀半ばにいたるいわゆる産業革命期において、それ以前にはなかった「労働者階級 (the working class)」という新しい社会階級が誕生した歴史的過程、およびその背後にあるさまざまな要因と条件、それらを支えたイデオロギー、さらにはそんな労働者階級の実態を網羅的かつ繊細に描き出しました。それは宮廷や政治権力を中心にした上からの歴史の物語ではなく、未確定の人間集団を軸にした下からの、あるいは周縁からの歴史的ナラティブです。</p> <p>労働者階級については、19 世紀半ば以降影響力を強めていくマルクスやエンゲルスの共産主義が資本家との階級闘争を軸にした歴史解釈を提示し、彼らが掲げた共産主義は労働者の組織化と団結を国際的規模で促進していくこととなります。また、いわゆるマルクス主義は経済学のみならず、歴史学においても 20 世紀において一つの解釈学的視座を提供し続けることになりました。</p> <p>しかしながら、特定の主義・主張を統括する「イズム」を通して歴史や社会の実態が正しく把握できるわけでは必ずしもありません。より正確な歴史認識を目指す必要があります。その一方である社会事象の描写や記述が完全に偏見や立場に基づく偏見から免れるわけでもありません。どのようにしてある社会の歴史的状況を正しく把握することができるのでしょうか。</p> <p>この授業ではイギリス 19 世紀後半に見られる労働者階級についての記述や表象を確認すると同時に、彼らに関わる歴史的状況や実態を明らかにしていった代表的な研究を確認することで、記述や表象に含まれるイデオロギー的な問題を解きほぐし、上述のような歴史解釈学的ディレンマを解決する可能性を模索していきます。</p> <p>労働や貧困の問題は現代において一つの地域や国で解決できる問題ではなく、グローバルな規模で捉えていく必要があります。19 世紀においても実は同じ状況が始まっていました。アメリカの南北戦争やアイルランドの飢饉が、自由貿易や移民(労働力の移動)によってイギリス国内の産業や市場に大きな影響を及ぼしていました。それらがどのように表象され、同時に歴史学的にどのように解釈していくべきかについても考えてみます。</p> |       |    |     |                      |

## 展開科目 自然科学ゼミナール

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                 | 担当教員   | 所属        | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------------------|--------|-----------|-----|----------------------|
| 50178           | A   | 自然科学ゼミナール<br>(身体運動科学) | 久保 啓太郎 | スポーツ・身体運動 | 月 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アドバンスト・フィットネス<br/>定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。受講希望者が 25 名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第 1 回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第 2 回講義前までに ITC-LMS に掲載する。</p> |                       |        |           |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|-------|----|-----|----------------------|
| 51113           | A  | 自然科学ゼミナール<br>(生命科学) | 佐藤 直樹 | 生物 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>植物の動きを見る<br/>植物は動かないと思われているが、よく見るとさまざまな場面で植物も動くことがわかる。成長している茎の先端などは旋回運動をしながら伸びているし、昼間にはピンと広げている葉を夜は垂らして眠っているように見える植物もある。暗いところで育った植物は、光に向かって成長したり、緑化したりする。また、藻類の細胞には光に向かって泳ぐものもある。こうしたことは、教科書には載っているものの、実際に観察する機会はあまりない。時間も限られているので、期待するほどにすごいことはできないだろうが、すこしでも、こうした観察をして見る機会としたい。全部で 13 回しかないため、必ず全部の回に参加すること。<br/>(注意) 教務委員会からの指示により、選抜方法について記載しておきますが、昨年の例から見ても、現実には、人数が多すぎることは起きないと思います。<br/>学内に研究室がない非常勤講師が担当するので、多くの器財を持ち込むことが難しい上、一人で全部の指導をやらなければならないため、10 名程度しか受け入れられません。そのため、第 1 回目のオンラインの参加者が多数の場合、観察課題と履修目的などを提出してもらうことになります。LMS 上に課題提出サイトを設定しますので、初回終了後、提出してください。第 2 回目までに教務課を通じて選抜結果を発表します。また、LMS 上からもそれぞれの学生向けに結果をお伝えするようにしますが、うまく伝わるとよいと思います。</p> |                     |       |    |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名               | 担当教員 | 所属 | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|------|----|----|----------------------|
| 51112           | A   | 自然科学ゼミナール<br>(生命科学) | 池田 啓 | 生物 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>自然史生物学：博物館の標本から学ぶ生物多様性<br/>生物多様性に関する研究（多様性生物学）を支える自然史博物館が持つ役割を学ぶとともに、博物館が保有する標本をもとに生物の進化や多様性について考察することで、生物多様性に関する知識が形成されたプロセスを理解できるようになることを目標とする。<br/>自然史博物館の役割を解説した上で、国立科学博物館（上野本館、及び筑波実験植物園）を見学し、博物館の活動を学ぶとともに生物標本を観察する。観察した生物標本から生物の進化や多様性に関する考察をグループごとに行い、考察した内容の発表をもとにディスカッションを行う。<br/>「自然科学ゼミナール（生命科学）」では、実習及びグループワークを通じたディスカッションを行うため、受講希望者が多数の場合には受講を希望する理由書に基づき 15 名程度に選抜をする。履修希望者は本講義の受講を希望する理由を A4・1 枚以内に記載し、10 月 7 日までに提出すること。選抜結果は、10 月 10 日までに通知する。（*選抜に関する詳細は、ガイダンスの際に改めて連絡する）。</p> |                     |      |    |    |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-------------------|-------|----|-----|----------------------|
| 50254   | A  | 自然科学ゼミナール<br>(化学) | 平岡 秀一 | 化学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 有機反応機構を考える   |                   |       |    |     |                      |
| 授業の目標概要 | 本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者は第1回目の講義に出席してください。選抜結果は、第2回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して15名程度履修しています)。 |                   |       |    |     |                      |

| 時間割コード  | 開講       | 授業科目名               | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|---------|----------|---------------------|-------|----|-----|----------------------|
| 50255   | A        | 自然科学ゼミナール<br>(数理科学) | 権業 善範 | 数学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 群論入門     |                     |       |    |     |                      |
| 授業の目標概要 | 群について親しむ |                     |       |    |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名               | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|---------------------|--------|----|-----|----------------------|
| 50374   | A  | 自然科学ゼミナール<br>(数理科学) | 佐々田 慎子 | 数学 | 火 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 「美しさ」を数学で捉える-離散調和解析-   |                     |        |    |     |                      |
| 授業の目標概要 | 離散調和解析という分野は比較的新しく、高校までに学ぶ数学のみを主な前提知識としながらも、グラフ理論、群論、幾何学、確率論など、数学の様々な分野が見事につながり合う面白さを味わうことができる。離散調和解析の入門書として、分野を切り開いた第一人者により書かれた名著「ダイヤモンドはなぜ美しい?離散調和解析入門」を輪読し、対象を捉える様々な数学的考え方を知り楽しむことを目指す。<br>数学についての高度な予備知識は全く必要としない。受講者には、発表の準備のためにじっくり考える時間を確保し、わからないことはどんどん質問するなど、積極的に参加することを期待する。<br>なお、受講希望者が多数の場合は、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は第1回講義に必ず出席すること。第1回講義の参加者が多数の場合、その場で受講を希望する理由書の記入の時間を設ける。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。 |                     |        |    |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名               | 担当教員 | 所属      | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|---------------------|------|---------|-----|----------------------|
| 51307   | A   | 自然科学ゼミナール<br>(情報科学) | 伊東 乾 | 大学院情報学環 | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 動力学的なものづくり原論・・・カオスの脳観 2023  |                     |      |         |     |                      |
| 授業の目標概要 | 2022年秋以降にわかに「生成AI」という言葉がブームになりチャットボットが世間に普及し取りざたされている。だがこれらが大規模言語モデル LLM と呼ばれる自然言語の階層学習モデルであること、その原点は微分方程式を解くシステム開発にあったこと、文字列に意味の軽重をつける処理 attention mechanism が特徴的でそれによるメリットと限界があることなどはおよそ社会に知られていない本コースではこれらを確認しつつAIが普及した時代人間にしかできないこと人間にこそ可能なことは何かを確認しそれを活かしたモノ作りを考える。コースは津田一郎さんの「カオスの脳観」(1990)と、津田先生ご自身による今日版へのリヴァイズを参照点として進める予定 |                     |      |         |     |                      |

## 展開科目 文理融合ゼミナール

| 時間割コード  | 開講 | 授業科目名   | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|---------|----|---|--------|------|-----|----------------------|
| 51300   | A  | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術)  | 三輪 健太郎 | 先進融合 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    |    | マンガにとってコマ割りとは何か   |        |      |     |                      |
| 授業の目標概要 |    | この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐって、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。<br>なお、あくまでも実践を通して理論的に考えることが狙いですので、マンガ制作の技術的な向上を指導する授業ではありません（これまでのマンガ制作の経験も不問とします）。また、受講者の作成物は、授業内で発表やコメントをしてもらう予定です。 |        |      |     |                      |

| 時間割コード  | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属      | 曜限  | 対象                   |
|---------|----|---|------|---------|-----|----------------------|
| 51308   | A  | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術)  | 伊東 乾 | 大学院情報学環 | 火 6 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    |    | 動力学的なもの作り・・・基礎論と実践  |      |         |     |                      |
| 授業の目標概要 |    | 2022 年秋以降 にわかに「生成 AI」という言葉がブームになり チャットボットが世間に普及し 取りざたされている。だが これらが 大規模言語モデル LLM と呼ばれる自然言語の階層学習モデルであること、その原点は微分方程式を解くシステム開発にあったこと、文字列に意味の軽重をつける処理 attention mechanism が特徴的で それによるメリットと限界があること などは およそ 社会に知られていない 本コースではこれらを確認しつつ AI が普及した時代 人間にしかできないこと 人間にこそ可能なことは何か を 確認し それを活かした 「作り手としてのモノ作り」を考える。コースは津田一郎さんの「カオスの脳観」(1990) と、津田先生ご自身による今日版へのリヴァイズを参照点として進める予定 |      |         |     |                      |

| 時間割コード  | 開講 | 授業科目名   | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|---------|----|---|--------|------|-----|----------------------|
| 51302   | A  | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術)  | 高木 紀久子 | 先進融合 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    |    | 一身体と心で向き合う創作と心理学的プロセスー<br>Exploring cognitive process of artistic creation through hands-on art making  |        |      |     |                      |
| 授業の目標概要 |    | この授業では、芸術の実践的な演習を通して身体レベルと思考レベルの創造プロセスの方法を身につける。身体レベルの創造に関しては、外界とのインタラクションを中心としたワークを行い、自己の記録および他者と共有することでその可能性を探る。思考レベルの創造に関しては、既存の思考の枠を外して新しいアイデアを発想することの理解を、講義とワークの双方を通じて深めていく。身体レベルと思考レベルの双方の活動からアイデアを統合させ作品創作を行い、最後の授業で発表することが求められる。この二つのタイプの活動を通して、芸術の創作プロセスに関する体験的理解を深めると共に、身体と思考を融合した創造活動についての知見を得ることを目指す。 |        |      |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名  | 担当教員   | 所属   | 曜限          | 対象                   |
|---------|-----|--|--------|------|-------------|----------------------|
| 51294   | A 1 | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術)   | 長島 有里枝 | 先進融合 | 木 5,<br>木 6 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    |     | 現代美術のなかの写真—観る、読む、撮る  |        |      |             |                      |
| 授業の目標概要 |     | 本授業では、写真作品をそれぞれ一つ完成させることを目標とします。わたしたちが直面している社会問題や新しいテクノロジーなどの「いま」を意識しながら、美術や社会学の文献からジャンル横断的に知を収集し、作品コンセプトを作り上げます。アートによる自己表現をもって社会に働きかけることができるようになります。最後の授業で、作品を発表する講評会を行います。それぞれが組写真の作品をひとつ制作します。履修希望者が 20 名を大幅に超えた場合は、その場で小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席してください。受講許可は第 2 回までに掲示によって告知します。 |        |      |             |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員  | 所属   | 曜限          | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|-------|------|-------------|----------------------|
| 60211           | A 2   | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術) | O JUN | 先進融合 | 金 5,<br>金 6 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 『絵の授業』<br>授業は基本的に対面式で行い、ドローイングを主とした実技演習を実施します。美術全般に関する講義（古典近現代美術史、作品に於ける表現と様式、方法）、実技制作の他に美術館やギャラリーでの展覧会鑑賞、アーティスト、関係者を招いてのトークなどを行います。<br>本授業はアーティストを養成するいわゆる美大の授業ではありません。では絵を描くこと、何かを創作することは可能か？可能であればどのような方法か？その事を各自思考し、各自工夫し、各自制作し、各自美術を愉しむ。 |                      |       |      |             |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員 | 所属   | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|------|------|----|----------------------|
| 60213           | A 2   | 文理融合ゼミナール<br>(認知と芸術) | 舘 知宏 | 先進融合 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 個と群<br>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。<br>美術家の野老朝雄氏をお招きし、本学で「かたち」について研究者している舘知宏と協働しながら、集中講義で制作を行う実技の授業です。野老さんの制作のプロセスを受講者が実際に手を動かしながら一緒に実践します。<br>野老は、図形的操作や幾何学的原理に基づき、単純なピースを組み合わせて平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出しています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたりますが、野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼んでいます。<br>本科目では、受講者は実際に手を動かしながら、「個と群」による表現のアクティビティを実践します。<br>さらに授業中の講評・講義では、「かたち」を通して、幾何学、アルゴリズム、生物、建築などを横断した学問のつながりをたどります。例えば、「個と群」の原理は古今東西の紋様、建築や宇宙構造物、セル材料、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、自然現象や人工物に普遍的にあらわれる考え方です。<br>本授業では、つくることを通して科学・数理の現象を理解したり、美術の背後にある数理を解き明かすことにつながり、時々研究論文も生まれます。興味ある人は「研究入門」の履修も検討ください。 |                      |      |      |    |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51304           | A   | 文理融合ゼミナール<br>(身体と芸術) | 川島 素晴 | 先進融合 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代音楽諸作品の演奏実践と自作品の創作<br>「現代音楽」と称される、クラシック音楽の延長にある 20 世紀以後の様々な音楽作品について、講義と演奏実践によって理解を深める。その際、各回ごとに設定した作品の演奏を完成させることを目指す。その上で、それぞれのトピックに沿った音楽作品を受講者自らが創作し、それを受講生によって実演する。この過程では試作と試演であり、その都度ディスカッションを重ねていく。<br>そのようなルーティンを経て、最終的にはそれら全てのトピックを踏まえた先の総合的な視点から、より創造的なオリジナル作品を創作し、実演する。<br>この場から名作が誕生することを期待するものである。 |                      |       |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|----------------------|------|------|-----|----------------------|
| 51295           | A  | 文理融合ゼミナール<br>(身体と芸術) | 中井 悠 | 先進融合 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Archi-Choreographies：振り付けとしてのクセ<br>口癖、手癖、怠け癖、思考癖、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣 (habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け (コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。 |                      |      |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                | 担当教員 | 所属   | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|--|----------------------|------|------|----|----------------------|
| 60212           | A 2  | 文理融合ゼミナール<br>(身体と芸術) | 舘 知宏 | 先進融合 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>数学と音楽</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>集中講義で創作活動を実践する。音楽家かつ数学研究者・STEAM 教育者の中島さち子と本学研究者の舘知宏とが協働し担当する。途中、中島の周囲の音楽家もゲストに呼び込み、サクソフーンやドラム、ベースなども一緒に演奏を交えて伝えていく。</p> <p>制作の実践とフィードバックのサイクルの中に、理論的・実践的なレクチャーが織り込まれる。音楽と数学の関係について、例えばバッハなどに見られる対称的構造、ハーモニーや音律と数比の関係、コードの変化と群、リズムと円の分割、さまざまな音色とフーリエ解析などに基づき、さまざまな音楽の背後に潜む数学について解説を行う。また、簡単に Processing ないし p5.js を用いて多様な形で音の視覚化や AI と絡める方法を示唆し、創作に生かせるようにする。バッハやモーツァルト、ベートーベン、ドビュッシー、コルトレーン、中島や他音楽家の楽曲の特徴を司る数学的特徴や時代背景と数比の関係などを多岐にわたって紹介する。数学 x 音楽による五感のアートの事例も総合的な演出で魅せることで、音楽やアートの未来と数学・技術・ものづくりとの協働の可能性を探る。本科目では、「数学と音楽」による新たな表現を模索し、実践する。</p> |                      |      |      |    |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------------------|--------|------|-----|----------------------|
| 51298           | A   | 文理融合ゼミナール<br>(メディアと芸術) | 鈴木 英倫子 | 先進融合 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>音の工作と実験</p> <p>音を出す道具としての楽器を正面からとらえるのではなく、さまざまな音の周辺領域から音を作り出し、組織化する原理を考え、楽器というものの正体に迫ります。</p> <p>鈴木、堀尾の実践者両名による制作・実験の機会です。</p> <p>鈴木・堀尾両名による授業を予定しており、鈴木はブレッドボードをつかった初歩的な電子工作入門と、それぞれの仕組みを使って作られた、サウンド/インターメディア・アート作品の先行事例の紹介を行います。</p> <p>堀尾は、音のもとになる要素をひとつずつえらび、全員で一つの実験を行います。</p> |                        |        |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------------------|------|------|-----|----------------------|
| 51297           | A   | 文理融合ゼミナール<br>(メディアと芸術) | 西原 尚 | 先進融合 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>音が鳴る物を手作りする。この作業から自分を客観視する。「物と体と音についての実習」というタイトルで表記されている場合もあります。</p> <p>毎回の授業で、ひとりひとつずつ、音が鳴る物を手作りします。作業を通じて、自分の体の働き方を見つめ直します。手で材料を加工し、音を鳴らし、耳で聞き、そして手の作業を繰り返し、再び音を鳴らして、耳で聞き、手の作業を重ね、音の鳴り具合を確認し、手の作業に戻るといった、からだ全体の連携とフィードバックの現象に自分を投入します。音を媒介に耳と手と体の連携を見直す作業です。普段は使わない思考回路の開通作業でもあります。理屈で音が鳴る仕組みを理解することと同時に、またそれ以上に鳴り物の音の具合に耳を澄ませながら、手触りや手探りを頼りに次の手作業を試みる、という作業です。そして自分を客観視することを目標とします。</p> |                        |      |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------------------|--------|------|-----|----------------------|
| 51301           | A   | 文理融合ゼミナール<br>(メディアと芸術) | 三輪 健太郎 | 先進融合 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>動きと静止の近代視覚文化</p> <p>動画共有サイトや各種 SNS に見られるように、現代人の生活を取り巻く情報のなかでは、動画＝動く映像が極めて重要な位置を占めています。しかし、大衆文化における動く映像の原型といえる映画の仕組みに目を向けてみれば、それは現実の時間の流れを切断し静止させる瞬間写真に基づいています。19 世紀に発明された映画は、動きと静止の関係をめぐる様々な技術的・科学的・文化的な関心と実践の絡み合いから生まれてきたメディアだったのです。そして、静止写真を動かす実写映画に限らず、止まった絵を動かすアニメーションや、絵を複数並べることで動きを描写するマンガなども含め、近代の視覚文化の多くは、動きと静止の間に立脚し、そこから魅力を生み出していると考えられます。この授業では、そうした視覚文化論の観点を学びつつ、絵を動かす装置や映像を実際に制作することを通して、近代的なメディア体験への理解を深めることを目指します。</p> |                        |        |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属   | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|--|------------------------|-------|------|----|----------------------|
| 51299           | A  | 文理融合ゼミナール<br>(メディアと芸術) | 北條 知子 | 先進融合 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>実験(的)音楽論・演習</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>アカデミックな文脈において、「実験音楽」という言葉は多くの場合、1950年代以降のアメリカ実験音楽を指します。本授業では、その代表的な例であるジョン・ケージの思想を出発点に、現代に至るまでの作曲家・演奏家たちによる実践、特に反(非)音楽的とされる実験音楽の一端を紹介いたします。それぞれの作品コンセプトや文脈を読み取るとともに、図形楽譜やテキストスコアといった、五線譜によらない記譜の方法、既存楽器の新しい奏法の開発、非楽器の使用等を知ること、西洋近代音楽の制度を客観的かつ批判的に考察する視点をもつことを目指します。また、過去の作曲家・演奏家たちが既存の「音楽」の枠組みをどのように拡張していったのかを学んだ上で、キャンパス内の空間を生かした演奏(不可能なスコアの制作、実演をおこないます。授業は講義のほか、実演、ディスカッションに比重を置いてすすめます。</p> |                        |       |      |    |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属   | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|--|------------------------|-------|------|----|----------------------|
| 51299           | A  | 文理融合ゼミナール<br>(メディアと芸術) | 北條 知子 | 先進融合 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>実験(的)音楽論・演習</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>アカデミックな文脈において、「実験音楽」という言葉は多くの場合、1950年代以降のアメリカ実験音楽を指します。本授業では、その代表的な例であるジョン・ケージの思想を出発点に、現代に至るまでの作曲家・演奏家たちによる実践、特に反(非)音楽的とされる実験音楽の一端を紹介いたします。それぞれの作品コンセプトや文脈を読み取るとともに、図形楽譜やテキストスコアといった、五線譜によらない記譜の方法、既存楽器の新しい奏法の開発、非楽器の使用等を知ること、西洋近代音楽の制度を客観的かつ批判的に考察する視点をもつことを目指します。また、過去の作曲家・演奏家たちが既存の「音楽」の枠組みをどのように拡張していったのかを学んだ上で、キャンパス内の空間を生かした演奏(不可能なスコアの制作、実演をおこないます。授業は講義のほか、実演、ディスカッションに比重を置いてすすめます。</p> |                        |       |      |    |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|------|------|-----|----------------------|
| 51296           | A  | 文理融合ゼミナール<br>(研究入門) | 中井 悠 | 先進融合 | 月 6 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>副産物ラボ/Side Effects Lab</p> <p>文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。</p> <p>「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生とともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。今学期は文理融合プログラムの「Archi-Choreographies:クセとしての振り付け」との関連では授業内容をまとめた書籍の構想・出版、ゲスト・アーティストとのコラボレーションによる学内外でのコンサート/演劇/パフォーマンスの企画・実施を計画しています。また教員が現在、国内外で関わっているさまざまなプロジェクトに参加することも可能です。ただし、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページをご覧ください (<a href="http://selout.site">http://selout.site</a>)</p> |                     |      |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名               | 担当教員 | 所属   | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|------|------|----|----------------------|
| 51303           | A  | 文理融合ゼミナール<br>(研究入門) | 舘 知宏 | 先進融合 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>つながるかたち</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。</p> <p>「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などをを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。</p> |                     |      |      |    |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員 | 所属      | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|------|---------|----|----------------------|
| 51306           | A   | 文理融合ゼミナール<br>(研究入門) | 笥 康明 | 大学院情報学環 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>マテリアルインタラクション</p> <p>文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。</p> <p>「マテリアルインタラクション」では、物理的な素材の特性や現象に着目しながら、コンピュータを介した新しいインタラクションを創出することを目指します。身の回りの素材を含むものの特性に注目し、ディスプレイやセンシングなどインタフェースへの活用方法を考えます。さらに、アプリケーションシナリオの提示や作品表現などアウトプットやプレゼンテーション方法にもこだわりを持って進めます。</p> <p>研究テーマに応じて、研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、Arduino などを用いた電子工作なども行います。</p> <p>受講に際してガイダンスを10月6日(金)7pm～、オンラインで行います。受講には課題の提出が必要になりますので、ガイダンスを受講するようにしてください。</p> |                     |      |         |    |                      |

## 英語中級（クラス指定ターム型） 火3

| 時間割<br>コード   | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|--|-----|-----------------|-------|----|-----|---------------------------------------|
| 50352  | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型) | 土屋 和代 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>黒人自由闘争から眺める現代アメリカ<br/>1930年代以降全米各地で展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。南北戦争終結以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、関連する文献を読み学ぶ。今学期はとくにブラック・ライヴズ・マター運動の展開を扱った文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と現代アメリカの歴史、社会、文化についての理解を深める。</p> |     |                 |       |    |     |                                       |

| 時間割<br>コード   | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|--|-----|-----------------|-------|----|-----|---------------------------------------|
| 50353  | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型) | 逆井 聡人 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories<br/>この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。</p> |     |                 |       |    |     |                                       |

| 時間割<br>コード   | 開講  | 授業科目名           | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|--|-----|-----------------|-----------------------|----|-----|---------------------------------------|
| 50354  | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型) | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural<br/>This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.</p> |     |                 |                       |    |     |                                       |

| 時間割<br>コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|---|-----|-----------------|----------|----|-----|---------------------------------------|
| 50355   | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型) | リチンスキ ダン | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims<br/>This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.<br/>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.</p> |     |                 |          |    |     |                                       |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|-----------------|--|-----------------|-------|----|-----|---------------------------------------|
| 50356           | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 三吉 美加 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>19世紀末から20世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする</p> <p>作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパの世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。</p> <p>The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています</p> |                 |       |    |     |                                       |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|-----------------|--|-----------------|--------|----|-----|---------------------------------------|
| 50357           | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 太田 奈名子 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Consuming and Creating Media</p> <p>テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。</p> <p>具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。</p> <p>プレゼンテーションのあとは、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。</p> <p>説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。</p> <p>最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。</p> |                 |        |    |     |                                       |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|-----------------|--|-----------------|------|----|-----|---------------------------------------|
| 50358           | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 牛村 圭 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(25)文三(11)<br>理一(1-4,18)理二三(13) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>英語で日本近現代史を読む</p> <p>外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。</p> |                 |      |    |     |                                       |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|-----------------|------|----|-----|---|
| 60098           | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 牛村 圭 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>英語で日本近現代史を読む</p> <p>外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。</p> |                 |      |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|---|-------|----|-----|---|
| 60099           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | 土屋 和代 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>黒人自由闘争から眺める現代アメリカ</p> <p>1930年代以降全米各地で展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。南北戦争終結以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、関連する文献を読み学ぶ。今学期はとくにブラック・ライヴズ・マター運動の展開を扱った文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と現代アメリカの歴史、社会、文化についての理解を深める。</p> |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|---|-------|----|-----|---|
| 60100           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | 逆井 聡人 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>Discussing Contemporary Society with Critical Theories</p> <p>この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。</p> |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|---|-----------------------|----|-----|---|
| 60101           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural</p> <p>This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.</p> |                       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|---|----------|----|-----|---|
| 60102           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | リチンスキ ダン | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.</p> |          |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|--|-------|----|-----|---|
| 60103           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)  | 三吉 美加 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>19世紀末から20世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする</p> <p>作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパの世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。</p> <p>The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています</p> |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|-----|--|--------|----|-----|---|
| 60104           | A 2 | 英語中級(クラス指定ターム型)  | 太田 奈名子 | 英語 | 火 3 | 1年 文一二(1-3,7,27)<br>文三(1-3,9)理一(16,27)<br>理二三(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>Consuming and Creating Media</p> <p>テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。</p> <p>具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。</p> <p>プレゼンテーションのあとは、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。</p> <p>説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。</p> <p>最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。</p> |        |    |     |   |

## 英語中級（クラス指定ターム型） 火4

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|-----|---|------|----|-----|---|
| 50417           | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | 牛村 圭 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | 英語で日本近現代史を読む<br>外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 |      |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|-----|--|-----------------------|----|-----|---|
| 50418           | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型)  | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural<br>This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities. |                       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|-----|---|-------|----|-----|---|
| 50419           | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型)   | 三吉 美加 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | 19世紀末から20世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする<br>作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパの世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。<br>The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|-----|--|-------|----|-----|---|
| 50420           | A 1 | 英語中級(クラス指定ターム型)  | 藤尾 美佐 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | 危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語<br>本教員は2022年度、在外研究のため1年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。<br>授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。<br>授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。 |       |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|---|
| 50421           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 野口 大斗 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アウトプットのための英語リスニング<br>この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。 |                 |       |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|--|-----------------|--------|----|-----|---|
| 50422           | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 太田 奈名子 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Consuming and Creating Media</p> <p>テレビにラジオ、映画に新聞、FacebookにTwitter、LINEにInstagram…。私たちは日々さまざまなメディアやSNSに触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアとSNSを通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。</p> <p>具体的には、①実際に放送されたウェブCMに対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。</p> <p>プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらおう。</p> <p>説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。</p> <p>最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアやSNSに対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。</p> |                 |        |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|---|-----------------|----------|----|-----|---|
| 50423           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | リチンスキ ダン | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)<br>理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.</p> |                 |          |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                  |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|-------------------------------------|
| 50424           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 土屋 和代 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アメリカ合衆国における「福祉」と人種、階級、ジェンダー<br>アメリカ合衆国における「福祉」の歴史を扱ったテキストを講読し、社会福祉政策の変遷と人種、階級、ジェンダーをめぐる問題について考察する。文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となる20世紀米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。 |                 |       |    |     |                                     |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|------------------------------------|
| 60136           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 三吉 美加 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 19世紀末から20世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする<br>作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。<br>The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています |                 |       |    |     |                                    |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|------|----|-----|------------------------------------|
| 60137           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 牛村 圭 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英語で日本近現代史を読む<br>外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 |                 |      |    |     |                                    |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|------------------------------------|
| 60138           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 野口 大斗 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アウトプットのための英語リスニング<br>この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。 |                 |       |    |     |                                    |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|--------|----|-----|------------------------------------|
| 60139           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 太田 奈名子 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Consuming and Creating Media</p> <p>テレビにラジオ、映画に新聞、FacebookにTwitter、LINEにInstagram…。私たちは日々さまざまなメディアやSNSに触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアとSNSを通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。</p> <p>具体的には、①実際に放送されたウェブCMに対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。</p> <p>プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。</p> <p>説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。</p> <p>最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアやSNSに対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。</p> |                 |        |    |     |                                    |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|----------|----|-----|------------------------------------|
| 60140           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | リチンスキ ダン | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.</p> |                 |          |    |     |                                    |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|--|-----------------|-------|----|-----|------------------------------------|
| 60141           | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 土屋 和代 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アメリカ合衆国における「福祉」と人種、階級、ジェンダー</p> <p>アメリカ合衆国における「福祉」の歴史を扱ったテキストを講読し、社会福祉政策の変遷と人種、階級、ジェンダーをめぐる問題について考察する。文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となる20世紀米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。</p> |                 |       |    |     |                                    |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                     |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|--|
| 60142           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 藤尾 美佐 | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三<br>(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語</p> <p>本教員は2022年度、在外研究のため1年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。</p> <p>授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。</p> <p>授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。</p> |                 |       |    |     |  |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                                     |
|-----------------|---|-----------------|-----------------------|----|-----|--|
| 60143           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 火 4 | 1年 文一二(21,23)文三<br>(16)理一(21)理二三(8,14) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural</p> <p>This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.</p> |                 |                       |    |     |  |

## 英語中級（クラス指定ターム型） 水2

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|------------|---|-----------------|--------|----|-----|---|
| 50534      | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 瀧野 みゆき | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目       | 英語動画を素材に英語で Discussion  |                 |        |    |     |   |
| 授業の目標概要    | <p>身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。</p> <p>授業内の英語の Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。</p> <p>授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。</p> <p>併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する</li> <li>・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす</li> <li>・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する</li> </ul> |                 |        |    |     |   |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名           | 担当教員        | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|------------|---|-----------------|-------------|----|-----|---|
| 50535      | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | ペティート ジョシュア | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目       | Media Literacy  |                 |             |    |     |   |
| 授業の目標概要    | In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected. |                 |             |    |     |   |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|------------|--|-----------------|-------|----|-----|---|
| 50536      | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 岩佐 将志 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目       | 英語で読み解く現代社会  |                 |       |    |     |   |
| 授業の目標概要    | この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 |                 |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|------------|---|-----------------|------|----|-----|---|
| 50537      | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 小林 薫 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目       | 科学と宗教   |                 |      |    |     |   |
| 授業の目標概要    | Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 1 章 "What are debates between science and religion about?" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。 |                 |      |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|---|
| 50538           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 栗原 浪絵 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Art in English<br>教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する関心を立てられるようにする。 |                 |       |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|---|-----------------|-----------------|----|-----|---|
| 50539           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | LANDAU Samantha | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 20th Century American Sci-Fi<br>In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world. |                 |                 |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                      |
|-----------------|---|-----------------|--------|----|-----|---|
| 50540           | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(26)文三(19)<br>理一(12,23,36)理二三(23) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む<br>あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、パーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ポーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。 |                 |        |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|------------------------------------|
| 60144           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 岩佐 将志 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英語で読み解く現代社会<br>この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 |                 |       |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|--|-----------------|------|----|-----|------------------------------------|
| 60145   | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 小林 薫 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | 科学と宗教  |                 |      |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第2章 "Galileo and the philosophy of science" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。 |                 |      |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|---|-----------------|-------|----|-----|------------------------------------|
| 60146   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 栗原 浪絵 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | Art in English  |                 |       |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する関心を立てられるようにする。 |                 |       |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|---|-----------------|-----------------|----|-----|------------------------------------|
| 60147   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | LANDAU Samantha | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | 20th Century American Sci-Fi  |                 |                 |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world. |                 |                 |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|---|-----------------|--------|----|-----|------------------------------------|
| 60148   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | 楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む   |                 |        |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | <p>あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ポーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。</p> <p>130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感ずる方もおおいかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p> |                 |        |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員        | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|---|-----------------|-------------|----|-----|------------------------------------|
| 60149   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | ペティート ジョシュア | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | Media Literacy  |                 |             |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected. |                 |             |    |     |                                    |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                 |
|---------|---|-----------------|--------|----|-----|------------------------------------|
| 60150   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 瀧野 みゆき | 英語 | 水 2 | 1年 文一二(10,20)<br>理一(11,24)理二三(4,9) |
| 講義題目    | 英語動画を素材に英語で Discussion  |                 |        |    |     |                                    |
| 授業の目標概要 | <p>身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。</p> <p>授業内の英語の Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。</p> <p>授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。</p> <p>併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する</li> <li>・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす</li> <li>・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する</li> </ul> |                 |        |    |     |                                    |

## 英語中級（クラス指定ターム型） 水3

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-----------------|------|----|-----|---|
| 50572   | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 秦 邦生 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | Kazuo Ishiguro の短篇小说を読む  |                 |      |    |     |   |
| 授業の目標概要 | 1954年に日本の長崎で生まれ、1960年に両親の仕事の都合で5歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短篇小说をいくつか選んで読み、それと同時に動画やPodcastで流通している彼のインタビューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という3つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。 |                 |      |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員        | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|---|-----------------|-------------|----|-----|---|
| 50573   | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | ペティート ジョシュア | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | Media Literacy  |                 |             |    |     |   |
| 授業の目標概要 | In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected. |                 |             |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-----------------|--------|----|-----|---|
| 50574   | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | 楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む  |                 |        |    |     |   |
| 授業の目標概要 | <p>あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。</p> <p>そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による1890年出版の本です。</p> <p>130年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感ずる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華やかな文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p> |                 |        |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-----------------|--------|----|-----|---|
| 50575   | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 瀧野 みゆき | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | 英語動画を素材に英語で Discussion   |                 |        |    |     |   |
| 授業の目標概要 | <p>身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。</p> <p>授業内の英語の Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。</p> <p>授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。</p> <p>併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する</li> <li>・英語動画を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす</li> <li>・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する</li> </ul> |                 |        |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|---|-----------------|-------|----|-----|---|
| 50576   | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 栗原 浪絵 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | Art in English  |                 |       |    |     |   |
| 授業の目標概要 | 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。 |                 |       |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|---|-----------------|------|----|-----|---|
| 50577   | A 1   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 小林 薫 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | 科学と宗教   |                 |      |    |     |   |
| 授業の目標概要 | Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 1 章 "What are debates between science and religion about?" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。 |                 |      |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-----------------|-------|----|-----|---|
| 50578   | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 岩佐 将志 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目    | 英語で読み解く現代社会  |                 |       |    |     |   |
| 授業の目標概要 | この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 |                 |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|-----------------|-----------------|----|-----|---|
| 50579           | A 1  | 英語中級(クラス指定ターム型) | LANDAU Samantha | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(11,22)文三<br>(14)理一(17,39)理二三<br>(20) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Introduction to American Poetry<br/>Poetry is a short form of writing, but full of multiple meanings. It often evokes a strong emotional response from readers. Poetry lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. Nature is one of the major themes of American writing. The aim of this course is to reconsider ways of reading and seeing nature in American poetry, particularly focusing on how ethnicity, race, and origin play a factor in a given poet's influences and use of natural imagery and symbolism.</p> <p>We will first reexamine how authors who are well-known (canonized) for their use of nature, such as Emily Dickinson, and Robert Frost, depict the natural world from an "American" perspective. We will then examine poetry from 20th century minority and immigrant groups. Finally, we will read contemporary poems. We will also discuss the different symbolism assigned to nature in poems, and the definition of "ecopoetics."</p> |                 |                 |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員        | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|-----------------|-------------|----|-----|---|
| 60183           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | ペティート ジョシュア | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三<br>(15)理一(8,29,33)理二三<br>(21) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Media Literacy<br/>In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected.</p> |                 |             |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|-----------------|--------|----|-----|---|
| 60184           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三<br>(15)理一(8,29,33)理二三<br>(21) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>楽園はどこにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む</p> <p>あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。</p> <p>130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。</p> |                 |        |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|---------|--|-----------------|--------|----|-----|---------------------------------------|
| 60185   | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 瀧野 みゆき | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21) |
| 講義題目    | 英語動画を素材に英語で Discussion   |                 |        |    |     |                                       |
| 授業の目標概要 | <p>身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。</p> <p>授業内の英語の Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。</p> <p>授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。</p> <p>併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する</li> <li>・英語動画を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす</li> <li>・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する</li> </ul> |                 |        |    |     |                                       |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|---------|---|-----------------|-------|----|-----|---------------------------------------|
| 60186   | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | 栗原 浪絵 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21) |
| 講義題目    | Art in English  |                 |       |    |     |                                       |
| 授業の目標概要 | 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。 |                 |       |    |     |                                       |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|---------|--|-----------------|------|----|-----|---------------------------------------|
| 60187   | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 小林 薫 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21) |
| 講義題目    | 科学と宗教  |                 |      |    |     |                                       |
| 授業の目標概要 | Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第2章 "Galileo and the philosophy of science" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。 |                 |      |    |     |                                       |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                    |
|---------|--|-----------------|-------|----|-----|---------------------------------------|
| 60188   | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 岩佐 将志 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21) |
| 講義題目    | 英語で読み解く現代社会  |                 |       |    |     |                                       |
| 授業の目標概要 | この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 |                 |       |    |     |                                       |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|-----------------|-----------------|----|-----|---|
| 60189           | A 2   | 英語中級(クラス指定ターム型) | LANDAU Samantha | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三<br>(15)理一(8,29,33)理二三<br>(21) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Introduction to American Poetry</p> <p>Poetry is a short form of writing, but full of multiple meanings. It often evokes a strong emotional response from readers. Poetry lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. Nature is one of the major themes of American writing. The aim of this course is to reconsider ways of reading and seeing nature in American poetry, particularly focusing on how ethnicity, race, and origin play a factor in a given poet's influences and use of natural imagery and symbolism.</p> <p>We will first reexamine how authors who are well-known (canonized) for their use of nature, such as Emily Dickinson, and Robert Frost, depict the natural world from an "American" perspective. We will then examine poetry from 20th century minority and immigrant groups. Finally, we will read contemporary poems. We will also discuss the different symbolism assigned to nature in poems, and the definition of "ecopoetics."</p> |                 |                 |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|-----------------|------|----|-----|---|
| 60190           | A 2  | 英語中級(クラス指定ターム型) | 秦 邦生 | 英語 | 水 3 | 1年 文一二(17,28)文三<br>(15)理一(8,29,33)理二三<br>(21) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Kazuo Ishiguro の短篇小説を読む</p> <p>1954年に日本の長崎で生まれ、1960年に両親の仕事の都合で5歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短篇小説をいくつか選んで読み、それと同時に動画やPodcastで流通している彼のインタビューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という3つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。</p> |                 |      |    |     |   |

## 英語中級 (クラス指定 Semester 型) 月 2

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|------------------------|------|----|-----|---|
| 50037           | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 岩崎 徹 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ミュージカル (Sweeney Todd) の台本を読む<br>一昨年亡くなったブロードウェイの大御所スティーヴン・ソンドハイム (作詞・作曲) の最高傑作は、19 世紀半ばのロンドン舞台とする殺人床屋が主人公のミュージカル『スウィーニー・トッド』。殺した客の肉をパイに焼くという話 (流血は少ないので心配無用) は、単なる殺人鬼の話ではなく、弱肉強食の階級社会に対する批判ともなっている。オペラとしても上演される宗教音楽的な側面もあるこの作品のテキストを上演映像を見ながら精読する。 |                        |      |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|------------------------|-------|----|-----|---|
| 50038           | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 愛甲 雄一 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 政治哲学から公共政策にアプローチする<br>本コースは、William Abel et al., <i>Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach</i> (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ (移民の受け入れや国際援助の是非など) について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。 |                        |       |    |     |   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員             | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|------------------------|------------------|----|-----|---|
| 50039           | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | WONG<br>Michelle | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TED Talks - Discussions and Presentations<br>The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly. |                        |                  |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|-------------------|-----------------|----|-----|---|
| 50040           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | メズールール<br>ジェルマン | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>[M2] Social Inequality: Now and in the Future</p> <p>This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include:</p> <p>Social Stratification<br/>Gender Inequality<br/>Impact of AI and robots on society<br/>Inequalities of Race and Ethnicity<br/>etc.</p> <p>Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.</p> |                   |                 |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|---|
| 50041           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 田中 伸一 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>未来学入門</p> <p>ここでいう「未来学」とは、未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常未来学と違って、逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また、社会全体の体制がどうあるべきかではなく、それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今、教養人が当然知っておいてよい見識である。</p> <p>この授業では、数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press) に所収された4つのエッセイを読み、そうした「未来学」のいろはを学びつつ、未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは、“A Sense of the Future” (未来と向き合う感覚)、“The Creative Process” (創造のプロセス)、“On Art and Science” (文芸と科学について)、“The Reach of Imagination” (想像力が及ぶ範囲)の4つであり、こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに、古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり、現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。</p> |                   |       |    |     |   |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|---|
| 50042           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 中澤 恒子 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アメリカ映画を楽しむ</p> <p>映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。</p> <p>「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の1995年のアメリカ映画。1970年、月に向かう Apollo 13号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から50年余り、NASAはArtemis計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」はJim Lovell船長の著書(「Lost Moon」、後に「Apollo 13」と改題)に語られた史実に基づきながら、エンターテインメントとしての完成度も高い。</p> |                   |       |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-------------------|--------|----|-----|---|
| 50043   | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目    | 古典古代の美のいしずえ—Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む   |                   |        |    |     |   |
| 授業の目標概要 | <p>リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみよう、という趣向です。で、テラコッタ人形です。1900年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。</p> <p>このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。</p> |                   |        |    |     |   |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象  |
|---------|--|-------------------|-------|----|-----|---|
| 50044   | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 加太 康孝 | 英語 | 月 2 | 1年 文一二(6,14,19)<br>文三(10,12,20)理一(9,13)<br>理二三(1-3) |
| 講義題目    | 1920年頃にブリテン諸島で出版された短編を精読する   |                   |       |    |     |   |
| 授業の目標概要 | <p>◎授業の目標<br/>英語で書かれた短編作品を、<br/>(単語の意味を適当につなぎ合わせて「なんとなく」読むのではなく、)<br/>・現在有する語彙力を総動員し、足りない分は辞書を適切に用いて補い、<br/>・文法に則り、<br/>・各文の置かれた文脈を適切に捉え、<br/>・テキストの書かれた時代的、地域的背景を考慮しつつ、<br/>・ときには文学作品で用いられる技巧などにも気を配りながら<br/>精確に読むことを目指す。</p> <p>◎授業概要<br/>今から100年くらい前にブリテン諸島(国としてはアイルランドおよびイギリスに相当)で出版された短編を3つ読みます。このような時代、地域を設定することの意義などは初回に説明しますが、100年前といっても現在使われている英語と基本的に変わりませんのでご安心ください。</p> <p>他方、もちろん文学作品であることによる独特の難しさ(あるいはおもしろさ)はあります。そして確かに、扱う3つの短編にはそういう意味での歯ごたえがあり、この授業ではそういった手強さを備えたテキストを読み解く際の手法を身につけていくことになります。しかしながら、上記「目標」の通り、その手法は(最後の項目はともかく)文学作品にしか使えないどころか、むしろどのような種類の英文にも応用が利くはずのものです。要するに、これら3編の精読の試みを通じて「英文読解力」が身に付くことが期待される、わけです。</p> <p>もっとも、「文学テキスト読解」としてこれらの作品に向き合うことを放棄するわけではありません。受講生の関心も考慮しつつ、文学テキスト入門的な試みも(「文学テキスト」がそれ以外の文章と明確に切り分けられるわけでもないことにも留意しながら)行うかもしれません。とはいえ、英語科目であるという前提は忘れず、というのも、そもそも英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にしていきたいと思います。</p> |                   |       |    |     |   |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 月3

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|-----------------|--|-------------------|------|----|-----|-----------------------|
| 50112           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 岩崎 徹 | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>元祖ミュージカル (サヴォイ・オペラ) の台本を読む<br/>『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカルのコミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本(・歌詞)と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。このレパートリーの中から、『ミカド』につぐ人気作『ペンザンスの海賊』をブロードウェイ上演版を含む複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。主人公の恋のゆくえ、海賊と警官隊の対決の結末は？</p> |                   |      |    |     |                       |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名             | 担当教員             | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|-----------------|---|-------------------|------------------|----|-----|-----------------------|
| 50113           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | WONG<br>Michelle | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TED Talks - Discussions and Presentations<br/>The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.</p> |                   |                  |    |     |                       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|-----------------------|
| 50114           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 愛甲 雄一 | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>政治哲学から公共政策にアプローチする<br/>本コースは、William Abel et al., <i>Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach</i> (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ(ヘイトスピーチと表現の自由との関係など)について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。</p> |                   |       |    |     |                       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|-----------------|--|-------------------|-----------------|----|-----|-----------------------|
| 50115           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | メズールール<br>ジェルマン | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>[M3] Social Inequality: Now and in the Future<br/>This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.<br/>The exact topics covered will be decided in class and could include:<br/>Social Stratification<br/>Gender Inequality<br/>Impact of AI and robots on society<br/>Inequalities of Race and Ethnicity<br/>etc.<br/>Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.</p> |                   |                 |    |     |                       |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|---------|---|-------------------|--------|----|-----|-----------------------|
| 50116   | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 堀越 庸一郎 | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目    | 古典古代の美のいしずえーMarcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む  |                   |        |    |     |                       |
| 授業の目標概要 | リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。 |                   |        |    |     |                       |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                    |
|---------|--|-------------------|-------|----|-----|-----------------------|
| 50117   | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 中澤 恒子 | 英語 | 月 3 | 1年 理一(15,25-26,28,34) |
| 講義題目    | アメリカ映画を楽しむ   |                   |       |    |     |                       |
| 授業の目標概要 | 映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。<br>「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の1995年のアメリカ映画。1970年、月に向かう Apollo 13号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から50年余り、NASAはArtemis計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」はJim Lovell船長の著書("Lost Moon"、後に"Apollo 13"と改題)に語られた史実に基づきながら、エンターテインメントとしての完成度も高い。 |                   |       |    |     |                       |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 月4

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|---------------------------|
| 50163           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 平沢 慎也 | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英語で学ぶマンガ論——Scott McCloud, Understanding Comics を読む——<br>Scott McCloud の Understanding Comics: The Invisible Art というマンガを少しずつ読み進めていきます。このマンガは、マンガの仕組み——人間の脳/心はどうしてマンガを楽しめるのか?そもそもマンガとは何か?——を言語学・心理学・哲学・メディア論・芸術論など様々な観点から論じたものです。講義の目標は(1)日本人にとって極めて身近な存在であるマンガを新たな視点で見られるようになることと(2)会話特有の口語表現と硬質な学術的表現をバランスよく習得することです。 |                   |       |    |     |                           |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員             | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|---|-------------------|------------------|----|-----|---------------------------|
| 50164           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | WONG<br>Michelle | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TED Talks - Discussions and Presentations<br>The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly. |                   |                  |    |     |                           |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|---------------------------|
| 50165           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 中澤 恒子 | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アメリカ映画を楽しむ<br>映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。<br>「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の1995年のアメリカ映画。1970年、月に向かう Apollo 13号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から50年余り、NASAはArtemis計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」はJim Lovell船長の著書("Lost Moon"、後に"Apollo 13"と改題)に語られた史実に基づきながら、エンターテインメントとしての完成度も高い。 |                   |       |    |     |                           |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|--|-------------------|-----------------|----|-----|---------------------------|
| 50166           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | メズールール<br>ジェルマン | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | [M4] Social Inequality: Now and in the Future<br>This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films.<br>Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.<br>The exact topics covered will be decided in class and could include:<br>Social Stratification<br>Gender Inequality<br>Impact of AI and robots on society<br>Inequalities of Race and Ethnicity<br>etc.<br>Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. |                   |                 |    |     |                           |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|---------------------------|
| 50167           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 愛甲 雄一 | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>政治哲学から公共政策にアプローチする<br/>           本コースは、William Abel et al., <i>Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach</i> (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ(司法審査とデモクラシーとの関係など)について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。</p> |                   |       |    |     |                           |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                        |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|---------------------------|
| 50168           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 高橋 和子 | 英語 | 月 4 | 1年 理一(19)<br>理二三(7,15,24) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TOEFL と名作から学ぶ英語リーディング<br/> <i>English Reading through TOEFL and Masterpieces</i><br/>           本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を通して英語読解力を養う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。これらの学習を通して、様々なジャンルの英文を読むことに慣れ親しむことを目標にする。<br/>           This class aims to get used to reading English texts of various genres.<br/>           Students develop their English skills through TOEFL reading in the first half of the class.<br/>           In the second half, we will read famous scenes from masterpieces.</p> |                   |       |    |     |                           |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 火1

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|--------|----|-----|----------------------------|
| 50221           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 坪井 栄治郎 | 英語 | 火 1 | 1年 理一(10,14)<br>理二三(12,16) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む<br>様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。 |                   |        |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員           | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|--|-------------------|----------------|----|-----|----------------------------|
| 50222           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | アンダル<br>ジャクリーン | 英語 | 火 1 | 1年 理一(10,14)<br>理二三(12,16) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Contemporary Society<br>This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts. |                   |                |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50223           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 田尻 芳樹 | 英語 | 火 1 | 1年 理一(10,14)<br>理二三(12,16) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 短編小説を読む<br>この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。 |                   |       |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50224           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 小林 宜子 | 英語 | 火 1 | 1年 理一(10,14)<br>理二三(12,16) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う<br>毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 5~6 ほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。 |                   |       |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50225           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 後藤 春美 | 英語 | 火 1 | 1年 理一(10,14)<br>理二三(12,16) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 国際社会の歴史<br>雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。 |                   |       |    |     |                            |

## 英語中級 (クラス指定 Semester 型) 火 5

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                  |
|-----------------|--|------------------------|----------|----|-----|---------------------|
| 50454           | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | リチンスキ ダン | 英語 | 火 5 | 1 年 理一(30,37)理二三(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>English Lectures on General Physics</p> <p>This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.</p> |                        |          |    |     |                     |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                  |
|-----------------|--|------------------------|-------|----|-----|---------------------|
| 50455           | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 野口 大斗 | 英語 | 火 5 | 1 年 理一(30,37)理二三(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アウトプットのための英語リスニング</p> <p>この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。</p> |                        |       |    |     |                     |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                  |
|-----------------|---|------------------------|------|----|-----|---------------------|
| 50456           | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 牛村 圭 | 英語 | 火 5 | 1 年 理一(30,37)理二三(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>New York Times で世界を読む</p> <p>New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることを目指したい。</p> |                        |      |    |     |                     |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                  |
|-----------------|---|------------------------|-------|----|-----|---------------------|
| 50457           | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 高橋 和子 | 英語 | 火 5 | 1 年 理一(30,37)理二三(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Pronunciation and Listening</p> <p>形式：第 1 週はオンライン (Zoom) で、それ以降は教室で行なう予定。</p> <p>概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。</p> <p>目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。</p> |                        |       |    |     |                     |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 水1

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                |
|------------|--|-------------------|--------|----|-----|-------------------|
| 50482      | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 瀧野 みゆき | 英語 | 水 1 | 1年 理一(6,22,32,38) |
| 講義題目       | プロフェッショナルのための共通語としての英語<br>Communicating in English as Professionals  |                   |        |    |     |                   |
| 授業の目標概要    | <p>プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方やスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。</p> <p>英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージし、1) プロフェッショナルとして、今後、世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方やスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。</p> <p>具体的には、将来プロフェッショナルとして英語を使うために必要なスキルを入門的に広く学ぶため、次の4つの大きなテーマを設けます。</p> <p>1) Networking: 英語を学ぶグローバルな背景を考えつつ、英語を通して人間関係を築く</p> <p>2) Presentation: 英語プレゼンテーションの基本ルールと効果的なプレゼンのやり方を、実際に短い英語プレゼンを作りながら学び、自分の考えを論理的に説得力をもって伝えられるようになる</p> <p>3) Meeting: 与えられたケースについてグループで問題解決のアイデアを交換・まとめる話し合いをし、最終成果をグループでプレゼンすることで、英語 Meeting に参加・リードをするルールを学び、英語で協働できるようになる</p> <p>4) Negotiation: タスクを使って英語で簡単な交渉をすることで、英語の交渉の基本的な考え方を知る</p> <p>授業の活動は、2) Presentation と 3) Meeting に焦点をあて、1) と 4) は授業の多様な活動の中に織り込んでいきます。</p> |                   |        |    |     |                   |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                |
|------------|--|-------------------|--------|----|-----|-------------------|
| 50483      | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 矢田部 修一 | 英語 | 水 1 | 1年 理一(6,22,32,38) |
| 講義題目       | 映画「The Philadelphia Story」(1940)を見る  |                   |        |    |     |                   |
| 授業の目標概要    | 1940年に公開された映画「The Philadelphia Story」を見ることを通じて、口語的な英語を理解する力を伸ばすことがこの授業の主要な目標である。また、この映画に関する文章を読んで、文語的な英語を理解する力を伸ばすことも副次的な目標としたい。 |                   |        |    |     |                   |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名             | 担当教員           | 所属 | 曜限  | 対象                |
|------------|--|-------------------|----------------|----|-----|-------------------|
| 50484      | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | アンダル<br>ジャクリーン | 英語 | 水 1 | 1年 理一(6,22,32,38) |
| 講義題目       | Contemporary Society   |                   |                |    |     |                   |
| 授業の目標概要    | This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts. |                   |                |    |     |                   |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名             | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                |
|------------|---|-------------------|------|----|-----|-------------------|
| 50485      | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 小林 薫 | 英語 | 水 1 | 1年 理一(6,22,32,38) |
| 講義題目       | 英語講読: 優生学について (English Reading: Eugenics)   |                   |      |    |     |                   |
| 授業の目標概要    | Edwin Black (2012) War against the Weak: Eugenics and the America's Campaign to Create a Master-Race (Dialogue Press) より、第2章 "Eugenics" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。 |                   |      |    |     |                   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名             | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                |
|-----------------|---|-------------------|----------|----|-----|-------------------|
| 50486           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | アルヴィ なほ子 | 英語 | 水 1 | 1年 理一(6,22,32,38) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>New York Times から"Cultural Awareness"を考える</p> <p>目標) テキストの読解を通して、英語の表現を学ぶとともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。</p> <p>概要) New York Times の記事を出発点として、"cultural awareness"について考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。そのような記事と関連する資料を読みます。テキストを読むということは、読者とテキストの対話です。テキストを読みながら、文脈を考え、調べ、テキストの外の世界とも対話しながら、書かれたテキストを自分の知的な糧として、自分と異なる他者への理解を深め、自分自身の文化的なアイデンティティへの理解を深め、自身のテキストを紡ぎ出す力を鍛えてください。</p> |                   |          |    |     |                   |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 木2

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                       |
|------------|--|-------------------|--------|----|-----|--------------------------|
| 50724      | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 小野 五弥子 | 英語 | 木 2 | 1年 文一二(4,9,18)文三<br>(17) |
| 講義題目       | Gender and sexuality in Japan  |                   |        |    |     |                          |
| 授業の目標概要    | <p>The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.</p> <p>このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。</p> |                   |        |    |     |                          |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                       |
|------------|---|-------------------|-------|----|-----|--------------------------|
| 50725      | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 平賀 優子 | 英語 | 木 2 | 1年 文一二(4,9,18)文三<br>(17) |
| 講義題目       | 英語発音演習ー発音力から聴解力へー   |                   |       |    |     |                          |
| 授業の目標概要    | <p>この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習(音読)は、模倣からのみでなく、音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet や音声変化)やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いています。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。</p> |                   |       |    |     |                          |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                       |
|------------|---|-------------------|-------|----|-----|--------------------------|
| 50726      | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 戸谷 陽子 | 英語 | 木 2 | 1年 文一二(4,9,18)文三<br>(17) |
| 講義題目       | アカデミックプレゼンテーション   |                   |       |    |     |                          |
| 授業の目標概要    | <p>大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。</p> |                   |       |    |     |                          |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名             | 担当教員               | 所属 | 曜限  | 対象                       |
|------------|---|-------------------|--------------------|----|-----|--------------------------|
| 50727      | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | LANDAU<br>Samantha | 英語 | 木 2 | 1年 文一二(4,9,18)文三<br>(17) |
| 講義題目       | Weird Fiction   |                   |                    |    |     |                          |
| 授業の目標概要    | <p>This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.</p> |                   |                    |    |     |                          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                       |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|--------------------------|
| 50728           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 小田 悠生 | 英語 | 木 2 | 1年 文一二(4,9,18)文三<br>(17) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>現代世界の移民</p> <p>この授業のテーマは「移民」です。さて、みなさんは「移民」"immigrant" "international migrant" といった言葉から、どのような人々を思い浮かべるでしょうか。どのような人々を含め、あるいは含めないでしょうか。また、国境を超えて移動するさまざまな人々について、国際機関や各国政府が用いる・つくり出すカテゴリーには、どのような意図が込められているのでしょうか。</p> <p>2019年当時、世界の「移民」は世界総人口の3.5パーセントに相当する2億7千万人、日本に暮らす「外国人」は国内総人口の2.3パーセントに相当する290万人と推計されていました。その後、COVID 19 下で各国が行った厳格な出入国規制は、加速の一途をたどるかに見えたグローバルな人の移動に立ち塞がると同時に、国境や国籍を持つ意味を突きつけたと言えるでしょう。この授業では、移民と国際人口移動に関するテキストに基づき、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、さまざまな具体的イシューについて考えます。</p> <p>指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解した上で、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。</p> |                   |       |    |     |                          |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 木3

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50801           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 戸谷 陽子 | 英語 | 木 3 | 1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アカデミックプレゼンテーション<br>大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。 |                   |       |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50802           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 平賀 優子 | 英語 | 木 3 | 1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英語発音演習－発音力から聴解力へー<br>この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習(音読)は、模倣からのみでなく、音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet や音声変化)やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いています。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。 |                   |       |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|--------|----|-----|----------------------------|
| 50803           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 坪井 栄治郎 | 英語 | 木 3 | 1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む<br>様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。 |                   |        |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50804           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 矢島 宏紀 | 英語 | 木 3 | 1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英文リーディング演習－植民地期・建国期のアメリカ史を題材に<br>【概要】<br>英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力(およびそれに基づく作文力)の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部(通史の序章など)、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数と関心に依りて設定されます。<br>【目標】<br>・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。<br>・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。<br>・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。 |                   |       |    |     |                            |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                         |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|----------------------------|
| 50805           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 久世 恭子 | 英語 | 木 3 | 1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | "Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む<br>本授業は、現代アメリカの中編小説を読み、毎回読解前と後に関連したタスクを行うことによって、読解力を中心に総合的な英語力を養うことを目的とします。また、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使いかたや様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を形成する訓練の機会が得られるように計画しています。主人公である少年の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカ社会の様子や文化にも興味を持って学習していただきたいと考えています。 |                   |       |    |     |                            |

## 英語中級 (クラス指定 Semester 型) 金 1

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                      |
|-----------------|---|------------------------|-------|----|-----|-------------------------|
| 50903           | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 佐藤 洋一 | 英語 | 金 1 | 1年 文三(6,8)理二三<br>(6,18) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Making bridge from comprehension to practice<br/>In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication.<br/>You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.<br/>In this course, students are expected to learn</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening,</li> <li>2. Business English skills for effective spoken and written communication,</li> <li>3. Strategic competence necessary for global business.</li> </ol> <p>By the end of this course, you will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Comprehend basic vocabulary and expressions for business English</li> <li>-Speak and write basic-level short sentences about business topics</li> <li>-Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management</li> <li>-Present your basic ideas about global business communication in English</li> </ul> |                        |       |    |     |                         |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                      |
|-----------------|--|------------------------|-------|----|-----|-------------------------|
| 50904           | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 川崎 修一 | 英語 | 金 1 | 1年 文三(6,8)理二三<br>(6,18) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の2大英文法書を中心に<br/>本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない<br/>(にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる)文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めること<br/>を第二の目標とします。<br/>なお、使用する教材は、世界最高峰の2大英文法書：<br/>Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language.<br/>Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language.<br/>を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。</p> |                        |       |    |     |                         |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                      |
|-----------------|---|------------------------|--------|----|-----|-------------------------|
| 50905           | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 小野 五弥子 | 英語 | 金 1 | 1年 文三(6,8)理二三<br>(6,18) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Gender and sexuality in Japan<br/>The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.<br/>このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。</p> |                        |        |    |     |                         |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                      |
|-----------------|--|-----------------------|----------|----|-----|-------------------------|
| 50906           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター<br>型) | ポター サイモン | 英語 | 金 1 | 1年 文三(6,8)理二三<br>(6,18) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Exploring the Human Condition through Dialogs</p> <p>The main objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and preparing and delivering oral presentations. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).</p> |                       |          |    |     |                         |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 金 3

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|-----------------|--|-------------------|----------|----|-----|----------------------------------|
| 50976           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | ポター サイモン | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | A Novel Approach to Consciousness<br>The objectives are to acquire experience reading in the English language for academic purposes and writing about what has been read as well as to learn and to think about consciousness and related issues from a non-specialist perspective. The course is built around a reading book which addresses the topic of consciousness from an unusual perspective and provides readers with plenty to think about. For all but the first (introduction) and last (review) class meetings, students will be assigned a number of pages to read before coming to class, and in class they will need to write an essay related to the reading assignment; the final class meeting will comprise a review of the course and most likely will require an essay summarizing it. |                   |          |    |     |                                  |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|----------------------------------|
| 50977           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 古田 直肇 | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life<br>この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier (邦題は『ハーバードの人生を変える授業』) を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。ハーバードで最大の履修者がつめかけたという本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」(特に物語と要約の技法) の実践を試みます。<br>また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力(読んだ内容を英語で要約し、それに対する自分の感想を英語で述べる能力)に重点を置きます。<br>授業は教科書を軸に進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。授業の到達目標は、以下の通りです。<br>・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。<br>・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。<br>・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語るすることができる。<br>・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。 |                   |       |    |     |                                  |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|-----------------|--|-------------------|-------|----|-----|----------------------------------|
| 50978           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 鈴木 哲平 | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 英語文学の 1200 年 (+TOEFL 入門)<br>・中世から現代にいたる英語文学の歴史を具体的な作品で(ごく簡単に)たどっていきます。この先英語で文学に触れる予定の一切ない学生さんも、少し興味のある学生さんも気楽な気持ちで来てください。世界史の知識も活かれます。<br>・授業冒頭の 20-30 分を用いて、TOEFL の紹介と学習法に触れます。 |                   |       |    |     |                                  |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名             | 担当教員                 | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|-----------------|--|-------------------|----------------------|----|-----|----------------------------------|
| 50979           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | MENISH Marc<br>Craig | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English<br>This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well. |                   |                      |    |     |                                  |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名                  | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|------------|--|------------------------|--------|----|-----|----------------------------------|
| 50980      | A  | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 志子田 祥子 | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目       | 現代の短編小説を読む   |                        |        |    |     |                                  |
| 授業の目標概要    | この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。 |                        |        |    |     |                                  |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                               |
|------------|---|------------------------|--------|----|-----|----------------------------------|
| 50981      | A   | 英語中級(クラス指定 Semester 型) | 小野 五弥子 | 英語 | 金 3 | 1年 文一二(5,12,16)<br>文三(18)理二三(22) |
| 講義題目       | Gender and sexuality in Japan   |                        |        |    |     |                                  |
| 授業の目標概要    | The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.<br>このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。 |                        |        |    |     |                                  |

## 英語中級 (クラス指定セメスター型) 金 4

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員                 | 所属 | 曜限  | 対象                                |
|-----------------|--|-------------------|----------------------|----|-----|-----------------------------------|
| 51029           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | MENISH Marc<br>Craig | 英語 | 金 4 | 1年 文一二(24)文三(4)<br>理一(5,7)理二三(19) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English<br>This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well. |                   |                      |    |     |                                   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員     | 所属 | 曜限  | 対象                                |
|-----------------|--|-------------------|----------|----|-----|-----------------------------------|
| 51030           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | ポター サイモン | 英語 | 金 4 | 1年 文一二(24)文三(4)<br>理一(5,7)理二三(19) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Ethics in the Context of Major Religious Traditions<br>The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. From the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book "An Interview with Prānāvichāra about the Subject of Ethics" and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given, and in the event that any class needs to be done online, the questions and/or essay prompt will be given at LMS near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it. |                   |          |    |     |                                   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名             | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                                |
|-----------------|---|-------------------|-------|----|-----|-----------------------------------|
| 51031           | A   | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 鈴木 哲平 | 英語 | 金 4 | 1年 文一二(24)文三(4)<br>理一(5,7)理二三(19) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 「翻訳」とその他英語スキルに関する 2,3 の事柄<br>英文和訳とは異なる「翻訳」実践をとおして英語スキルを磨くためのクラスです。<br>また「翻訳」を題材に、教養前期課程で学んでおきたい英語スキルも合わせて扱います。<br>具体的な作業・スキルは以下です。<br>1, 英語による文学テキスト(短編小説や戯曲、シナリオや歌詞なども含む)を正確かつ丁寧に読むことができる(英文精読)。<br>2, 文学テキストを適切に表現できるような日本語を作り上げることを目指して作業できる(翻訳)。<br>3, まとまった(500-1000 words 程度)の英文を読み、簡潔な日本語で要約することができる。<br>4, TOEFLなどで必要とされる、300 words 程度の英文を正確に速く書くことができる。<br>5, リスニング・スピーキング技術を向上させるトレーニングの方法がわかる。<br>なお 90 分授業の枠組みで行うが、授業開始前 15 分間は学生有志を対象に、質問の受け付けや、ごく短い文学作品(文学史)の紹介を行う予定。 |                   |       |    |     |                                   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名             | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                |
|-----------------|--|-------------------|--------|----|-----|-----------------------------------|
| 51032           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター型) | 小野 五弥子 | 英語 | 金 4 | 1年 文一二(24)文三(4)<br>理一(5,7)理二三(19) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Gender and sexuality in Japan<br>The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.<br>このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。 |                   |        |    |     |                                   |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                                |
|-----------------|--|-----------------------|--------|----|-----|-----------------------------------|
| 51033           | A  | 英語中級(クラス指定セメスター<br>型) | 志子田 祥子 | 英語 | 金 4 | 1年 文一二(24)文三(4)<br>理一(5,7)理二三(19) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代の短編小説を読む<br>この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。 |                       |        |    |     |                                   |

## 英語中級・上級 全クラス型

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50003           | A   | 英語中級  | 田中 伸一 | 英語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>未来学入門<br/>ここでいう「未来学」とは、未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って、逆に想定される未来をもたらしには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また、社会全体の体制がどうあるべきかではなく、それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今、教養人が当然知っておいてよい見識である。</p> <p>この授業では、数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press) に所収された4つのエッセイを読み、そうした「未来学」のイロハを学びつつ、未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは、“A Sense of the Future” (未来と向き合う感覚)、“The Creative Process” (創造のプロセス)、“On Art and Science” (文芸と科学について)、“The Reach of Imagination” (想像力が及ぶ範囲) の4つであり、こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに、古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり、現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。</p> |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員                      | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|---------------------------|----|-----|----------------------|
| 50190           | A   | 英語中級  | Christopher D.<br>Hammond | 英語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Education and Society<br/>This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society</li> <li>•Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding</li> <li>•Examine the relationships between schooling and national and global identity formation</li> <li>•Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class</li> <li>•Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts</li> <li>•Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change</li> </ul> <p>We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.</p> |       |                           |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50257           | A   | 英語中級  | 田尻 芳樹 | 英語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>短編小説を読む<br/>この授業では20世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。</p> |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員                      | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|---------------------------|----|-----|----------------------|
| 50258           | A  | 英語中級  | Christopher D.<br>Hammond | 英語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Education and Society</p> <p>This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society</li> <li>• Debate and discuss the 'grand challenges of education', namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding</li> <li>• Examine the relationships between schooling and national and global identity formation</li> <li>• Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class</li> <li>• Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts</li> <li>• Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change</li> </ul> <p>We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.</p> |       |                           |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員        | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------------|----|-----|----------------------|
| 50259           | A   | 英語中級  | アンダル ジャクリーン | 英語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Contemporary Society</p> <p>This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts.</p> |       |             |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-----------------|----|-----|----------------------|
| 50672           | A  | 英語中級  | LANDAU Samantha | 英語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Weird Fiction</p> <p>This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.</p> |       |                 |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|------|----|-----|----------------------|
| 50673           | A   | 英語中級  | 秦 邦生 | 英語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>英語文学作品の精読ならびに映像版との比較</p> <p>まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テキストと映像テキストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テキスト解釈、③技法や演出に注目した映像テキスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テキストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という6つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。</p> |       |      |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員                      | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|---------------------------|----|-----|----------------------|
| 50675           | A   | 英語中級  | Christopher D.<br>Hammond | 英語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Education and Society</p> <p>This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society</li> <li>•Debate and discuss the 'grand challenges of education', namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding</li> <li>•Examine the relationships between schooling and national and global identity formation</li> <li>•Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, (dis)ability, race and social class</li> <li>•Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts</li> <li>•Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change</li> </ul> <p>We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.</p> |       |                           |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員            | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-----------------|----|-----|----------------------|
| 50868           | A  | 英語中級  | LANDAU Samantha | 英語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Introduction to 20th Century American Gothic Fiction</p> <p>This course is an overview introduction to American Gothic fiction from the 20th century. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.</p> |       |                 |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50931           | A   | 英語中級  | 井上 博之 | 英語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アメリカ合衆国の短編小説を読む</p> <p>アメリカ合衆国の作家によって書かれた 20 世紀後半から現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー (Raymond Carver)、カリ・ファハルド＝アンスタイン (Kali Fajardo-Anstine)、ジェームズ・ボールドウィン (James Baldwin)、アンドレ・デュブス (Andre Dubus) の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です (それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」["A Small, Good Thing," 1983]、「治療法」["Remedies," 2019]、「サニーのブルース」["Sonny's Blues," 1957]、「閉店後のバーで踊る」["Dancing after Hours," 1996])。一部の作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なりますが、しっかりと文章に向きあい、充実した読書体験にしてほしいと思います。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。</p> <p>多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます (説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です)。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり小説を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることも覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。</p> <p>※学部の方針に従い、初回のみ Zoom でのオンライン授業、2 回目以降は対面授業となります。</p> |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-----------------------|----|-----|----------------------|
| 50004           | A  | 英語上級  | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies</p> <p>This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.</p> |       |                       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-----------------------|----|-----|----------------------|
| 50192           | A  | 英語上級  | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Geographies of Horror</p> <p>This course introduces students to the role of geography in literary and cinematic horror, exploring the ways in which writers and filmmakers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.</p> |       |                       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員                  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-----------------------|----|-----|----------------------|
| 50261           | A  | 英語上級  | サーギル ジェームズ<br>クリストファー | 英語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>An Introduction to Cultural Geography</p> <p>This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..</p> |       |                       |    |     |                      |

## 総合科目L ドイツ語

| ドイツ語初級（演習）②              |   | 開講区分         | A          |
|--------------------------|---|--------------|------------|
| 授業の目標・概要                 | In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird.           |              |            |
| 成績評価方法                   | 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。   |              |            |
| 教科書                      | 出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。  |              |            |
| 関連ホームページ                 | 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook<br>書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』<br>著者(訳者) 東京大学教養学部ドイツ語部会編<br><a href="http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/">http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/</a> |              |            |
| ※講義の詳細については、UTAS を参照すること |   |              |            |
| 時間割<br>コード               | 曜限  | 担当教員         | 対象クラス      |
| 50350                    | 火 3   | I・カウフマン      | 1年 文一二(22) |
| 50638                    | 水 4   | クリスティアン クリンク | 1年 文一二(20) |
| 50745                    | 木 3   | EINS Wieland | 1年 文三(15)  |
| 50349                    | 木 4   | EINS Wieland | 1年 文一二(21) |
| 50616                    | 木 4   | ククリンスキ ルーベン  | 1年 文三(16)  |
| 51070                    | 金 5   | 森井 裕一        | 1年 文科(TLP) |
| 51071                    | 金 5   | 速水 淑子        | 1年 文科(TLP) |

※TLP 履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員      | 所属   | 曜限  | 対象    |
|-----------------|--|------------|-----------|------|-----|-------|
| 50193           | A  | ドイツ語初級（演習） | オブヒュルス 鹿島 | ドイツ語 | 月 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語会話<br/>初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（書く、聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。<br/>Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Schreiben, Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.</p> |            |           |      |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象    |
|-----------------|---|-----------------|-------|------|-----|-------|
| 51068           | A   | ドイツ語初級（演習）(TLP) | 森井 裕一 | ドイツ語 | 金 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）<br/>In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.<br/>Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.<br/>この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。<br/>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。</p> |                 |       |      |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象    |
|-----------------|---|-----------------|-------|------|-----|-------|
| 51069           | A   | ドイツ語初級（演習）(TLP) | 速水 淑子 | ドイツ語 | 金 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）<br/>In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.<br/>Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.<br/>この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。<br/>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。</p> |                 |       |      |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 50194           | A  | ドイツ語初級（会話） | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen<br/>初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。<br/>Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.</p> |            |                 |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50262           | A   | ドイツ語初級（作文） | 柳橋 大輔 | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語初級（作文）<br>ドイツ語の基礎文法を1セメスター程度の期間にわたって勉強したみなさんを対象に、ドイツ語作文の練習をつうじて既習の文法事項の定着を図り、ドイツ語による文章表現力の向上を目指します。文法知識を能動的に運用する練習に取り組むなかで、語彙を増やし、また発音にも気を配ることにより、会話などにも応用できる実用的なドイツ語表現の基礎を身につけていきましょう。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51063           | A  | ドイツ語初級（作文） | 瀬尾 文子 | ドイツ語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語初級（作文）<br>Sセメスターにドイツ語共通教科書『Einblicke』でドイツ文法の基礎（1～11, 12課）を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法の復習、補足をしながら独作文の練習をしていきます。Aセメスターに必修クラスで学習していく文法の進捗も考慮しながら、授業を進めていきます。<br>教科書として用いる『ドイツ語作文 400題』は、文法の項目ごとの独作文の練習問題です。最初の3回は、これを2課ずつ進めていきます（「授業計画」参照）。第4回以降は、教科書は1課ずつ進める代わりに、重要動詞や慣用表現、身の回りの話題、手紙の書き方なども学びます。こちらはプリントを用います。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50932           | A  | ドイツ語初級（表現練習） | ククリンスキ<br>ルーベン | ドイツ語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語初級（表現練習）、Redemittelübungen Deutsch für Anfänger*innen<br>初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベルA1の典型的な表現に焦点を当て、聞き取り、読解、会話、作文の4技能すべての実践的な演習で構成されている。<br>Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel für das Sprachniveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Der Unterricht besteht aus praktischen Übungen in allen vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben. |              |                |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員    | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|----------------|---------|------|-----|----------|
| 50263           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ） | I・カウフマン | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語初級（インテンシヴ）<br>Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe deutsche Grammatik lernen. Im Kurs trainieren wir die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER).<br>Die Teilnehmer/innen sollen lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen sowie auf den Alltag bezogene, einfache schriftliche Texte zu verstehen und kleine Nachrichten zu verfassen.<br>必修の1列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースです。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベルA1に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成します。<br>簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになります。 |                |         |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-------------------------|-----------------|------|-----|----------|
| 50279           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）</p> <p>In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.</p> <p>Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.</p> <p>この授業では、必修の系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2のレベルを修了することを目指す。</p> <p>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。</p> |                         |                 |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-------------------------|----------------|------|-----|----------|
| 50280           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | ククリンスキ<br>ルーベン | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）</p> <p>Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab.</p> <p>この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの4技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。</p> |                         |                |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-------------------------|----------------|------|-----|----------|
| 51289           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | ククリンスキ<br>ルーベン | ドイツ語 | 木 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）</p> <p>Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab.</p> <p>この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの4技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。</p> |                         |                |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-------------------------|-----------------|------|-----|----------|
| 51290           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 木 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語演習（TLPクラス指定科目）</p> <p>In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.</p> <p>Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.</p> <p>この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2のレベルを修了することを目指す。</p> <p>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。</p> |                         |                 |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員    | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|----------------|---------|------|-----|----------|
| 51291           | A  | ドイツ語初級（インテンシヴ） | I・カウフマン | ドイツ語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語初級（インテンシヴ）</p> <p>Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe deutsche Grammatik lernen. Im Kurs trainieren wir die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER).</p> <p>Die Teilnehmer/innen sollen lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen sowie auf den Alltag bezogene, einfache schriftliche Texte zu verstehen und kleine Nachrichten zu verfassen.</p> <p>必修の一系列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースです。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベルA1に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成します。</p> <p>簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになります。</p> |                |         |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名         | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------|--------|------|-----|----------------------|
| 50264           | A  | ドイツ語初級（第三外国語） | 一條 麻美子 | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語初級（第三外国語）</p> <p>ドイツ語文法の学習を進めつつ、ドイツ語を読む・話す・書く力の基礎を身につけていきます。</p> <p>英語およびそれぞれの第二外国語との差異に注意しながら、ドイツ語の特徴を理解してもらいます。</p> |               |        |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名         | 担当教員    | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------|---------|------|-----|----------------------|
| 50676           | A  | ドイツ語初級（第三外国語） | I・カウフマン | ドイツ語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Deutsch für Anfänger/ ドイツ語初級</p> <p>Dieser Kurs baut auf dem im Sommersemester angebotenen Kurs ドイツ語初級（第三外国語） auf und richtet sich an Studierende, die das Niveau A1.1 erreicht haben. Im Kurs trainieren wir die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben. Ziel des Kurses ist das Erreichen von Niveau A1. Die Teilnahme am ersten Kurs ist nicht erforderlich.</p> <p>This course builds on the ドイツ語初級（第三外国語） course offered in the summer semester and is designed for students who have reached level A1.1. In the course we train the skills of speaking, listening, reading and writing. The goal of the course is to reach level A1. Participation in the first course is not required.</p> <p>この授業は、第三外国語としてドイツ語を学びたい初級の学習者を対象とする。話す、聞く、読む、書くのスキルを同時に練習することにより、ドイツ語の基礎知識を習得する。本授業は、日常的な状況での簡単なコミュニケーションのために必要な言語能力を身につける。</p> |               |         |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------|------|------|-----|----------------------|
| 50933           | A   | ドイツ語初級（第三外国語） | 田中 純 | ドイツ語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語初級（第三外国語）／German Language (Introductory)<br>1 Semesterでドイツ語初級文法の全体を一通り学習します。原則として、1回の授業で教科書を1課ずつ進めます。<br>なお、初回（10/6）はオンライン授業です。 |               |      |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50195           | A   | ドイツ語中級（演習） | 明星 聖子 | ドイツ語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語中級（演習）<br>ドイツ語の文学作品の読解にチャレンジしながら、初級文法の復習および中級レベルの文法および運用力の習得を目指します。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50265           | A   | ドイツ語中級（演習） | 三宅 晶子 | ドイツ語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語テキストを読み、考え、楽しむ<br>ドイツ語初級文法の復習と中級文法の学習をしつつ、様々な分野（文学・思想・歴史・法律等）のドイツ語テキスト（カフカ、グリム、ツェラン、ベンヤミン、独仏共通歴史教科書の「想起の文化」記述、憲法）の精読を行います。ドイツ語初級文法の知識を前提としますが、1年生後期の意欲的な学生も学べるように、文法の順番に配慮してテキストを選択します。<br>テクス読解においては、文法構造を正確に把握することが内容の深い理解につながるような読みを実践し、ドイツ語でドイツ文化を研究する意味を共有したいと思います。<br>参加者は、文法構造を正確に把握し訳せるように、予習をしてきてください。授業では、訳読、文法説明の後、テキストの内容についても意見交換したいと思います。<br>ドイツの文学・思想・歴史・憲法等幅広いジャンルのテキストを読み、中級レベルのドイツ語を身につけます。ドイツ語のテキストを読む楽しさ・奥深さを共有しつつ、ドイツ語テキストを自力で読んでいく力の習得を目指します。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 50677           | A  | ドイツ語中級（会話） | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話）<br>Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden.<br>初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。 |            |                 |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名       | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 50934           | A  | ドイツ語中級 (作文) | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger*innen (Mittelstufe)</p> <p>Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses.</p> <p>ドイツ語を1年(以上)学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテキスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。</p> |             |                 |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 50005           | A  | ドイツ語中級 (インテンシヴ) | ファイファー<br>マティアス | ドイツ語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語中級 (インテンシヴ) / German Language (Intermediate)</p> <p>この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級 (インテンシヴ)」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。</p> <p>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。</p> <p>Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.</p> |                 |                 |      |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名           | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 51292           | A  | ドイツ語中級 (インテンシヴ) | ファイファー<br>マティアス | ドイツ語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ドイツ語中級 (インテンシヴ) / German Language (Intermediate)</p> <p>この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級 (インテンシヴ)」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。</p> <p>ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。</p> <p>Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.</p> |                 |                 |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員            | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-----------------|------|-----|----------------------|
| 50179           | A  | ドイツ語上級（演習） | クリスティアン<br>クリンク | ドイツ語 | 月 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 演習（表現・読解）<br>中級文法を履修済みの受講者を対象とした科目。あまり詳細に取り上げられないことがない語法・文法上の各種事項を扱うことにより、既存のドイツ語知識の精緻化を目指す。また、さまざまな形式の演習を組み合わせることにより、総合的な運用能力の向上に努める。 |            |                 |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員    | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|---------|------|-----|----------------------|
| 50630           | A   | ドイツ語上級（会話） | I・カウフマン | ドイツ語 | 水 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Konversationskurs Oberstufe<br>ドイツ語上級（会話）<br>Der Kurs richtet sich an Studenten, die bereits über gute Deutschkenntnisse verfügen (entsprechend B1, B1+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens) und diese weiter verbessern und anwenden möchten. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Ausdrucksfähigkeit, aber auch die anderen Fertigkeiten (Lesen, Schreiben, Hören) werden trainiert. |            |         |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51053           | A   | ドイツ語上級（読解） | 工藤 達也 | ドイツ語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ドイツ語上級（読解）<br>フロイトの芸術論から『レオナルド・ダ・ヴィンチの幼年期の思い出』を取り上げて原典を読みます。文法事項を確認しながら読解力の養成を目指します。またテキスト翻訳を通して的確な内容理解能力をつけることも目的としています。フロイトの文章は構成もしっかりしているので、たとえ内容が高度で難解に思えても、丹念に読み解けば理解できると思います（要するに慣れます）。 |            |       |      |     |                      |

## 総合科目 L フランス語

| フランス語初級（演習）②            |  | 開講区分          | A          |
|-------------------------|--|---------------|------------|
| 授業の目標・概要                | <p>一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。</p> <p>この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。</p> |               |            |
| 成績評価方法                  | <p>平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。</p>   |               |            |
| ※講義の詳細については、UTASを参照すること |  |               |            |
| 時間割コード                  | 曜限   | 担当教員          | 対象クラス      |
| 50151                   | 月 4  | デルヴロワ ミカエル    | 1年 文一二(26) |
| 50351                   | 火 3  | COUCHOT Herve | 1年 文一二(23) |
| 50426                   | 火 4  | CAPEL Mathieu | 1年 文一二(24) |
| 50541                   | 水 2  | ファイフ ベアトリクス   | 1年 文一二(27) |
| 50542                   | 水 2  | ドゥルマジュール ラウル  | 1年 文一二(28) |
| 50611                   | 水 3  | ファイフ ベアトリクス   | 1年 文一二(25) |
| 50640                   | 水 4  | ドゥルマジュール ラウル  | 1年 文三(20)  |
| 50998                   | 金 3  | Steve Corbeil | 1年 文三(17)  |
| 50999                   | 金 3  | アルベリック ドリブル   | 1年 文三(19)  |
| 51035                   | 金 4  | アルベリック ドリブル   | 1年 文三(18)  |
| 50282                   | 火 2  | 伊達 聖伸         | 1年 文科(TLP) |

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名                | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象    |
|---------|---|----------------------|-------|-------|-----|-------|
| 50281   | A   | フランス語初級（演習）<br>（TLP） | 藤岡 俊博 | 仏語・伊語 | 火 2 | 1年 理科 |
| 講義題目    | TLP フランス語演習（1年次）  |                      |       |       |     |       |
| 授業の目標概要 | TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と購読）、演習（TLP用）、そしてインテ<br>ンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 |                      |       |       |     |       |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名       | 担当教員       | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-------------|------------|-------|-----|----------------------|
| 50266   | A  | フランス語初級（会話） | アガエス ジュリアン | 仏語・伊語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | フランス語初級（会話） / French Language (Introductory) |             |            |       |     |                      |
| 授業の目標概要 | 発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。             |             |            |       |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50869   | A   | フランス語初級（作文） | ビゼ   | 仏語・伊語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | Introduction au français écrit et à la composition  |             |      |       |     |                      |
| 授業の目標概要 | L'objectif de ce cours est d'inviter les étudiants à se documenter sur un problème (en l'occurrence: les violences sexistes<br>et le féminicide en France), d'analyser des sources, de commenter des images (photos ou films), et à travers la discussion<br>collective, de préparer la rédaction d'un exposé individuel. |             |      |       |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名         | 担当教員       | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|---------------|------------|-------|-----|----------------------|
| 50678   | A  | フランス語初級（表現練習） | デルヴロワ ミカエル | 仏語・伊語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | フランス語初級（表現練習） / French Language (Introductory)   |               |            |       |     |                      |
| 授業の目標概要 | フランス語演習と文法の予備校・復習する上にまた知識を深める<br>この授業では必修の「フランス語初級（演習）」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習）」の復習をしながら<br>理解を更に深め「フランス語初級（演習）」のA+を狙いましょう。 |               |            |       |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50464   | A   | フランス語初級（読解） | 須藤 佳子 | 仏語・伊語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | フランス語読解の基礎力をつける   |             |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要 | この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランス語の文章を読んでいきます。<br>文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の<br>基礎力を養います。まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに、自力で読めるようになることを目指します。 |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50856           | A   | フランス語初級（読解） | 増田 一夫 | 仏語・伊語 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>やさしいフランス語で今日のフランスを読む<br/>文法や会話を学ぶのはよいけれど、フランス語という言語がメインのコミュニケーション手段となっている社会はどのような社会なのか？<br/>その間に周到に答えるには、膨大な時間が必要です。しかし、わずかでもその間に答えるべく、「フランス語初級（読解）」を考えてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材は、フランスの海外向け放送 RFI が作成した Journal en français facile（「簡単なフランス語で聞くニュース」、あるいは Tout en français（「全部フランス語で」）です。セメスターの途中で他の教材を用いる可能性もありますが、いずれの場合も教材を購入する必要はありません。</li> <li>・教材には、テキスト以外に、音声や練習問題が付いており、ヨーロッパ言語共有参照枠（CEFR）に準拠しているため、CEFR が設定したバランスに則って読解、聞き取り、発言のバランスが決められています。</li> <li>・この授業は「初級」なので、最も基本的な A1~A2 の項目を学習します。</li> <li>・教材が扱うテーマは、フランス文化から、フランスの政治、国際政治、環境問題、など多様です。どのようなテーマを扱うかは、参加者の希望も聞きながら選ぶ予定です。</li> </ul> |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                    | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|--------------------------|---------------|-------|-----|----------|
| 50009           | A   | フランス語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | アガエス<br>ジュリアン | 仏語・伊語 | 月 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP フランス語インテンシヴ・コース（1年次）<br/>TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> |                          |               |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50010           | A   | フランス語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | アルベリック<br>ドリブル | 仏語・伊語 | 月 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP フランス語インテンシヴ・コース（1年次）<br/>TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> |                          |                |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-----------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50196           | A  | フランス語初級（インテンシヴ） | アルベリック<br>ドリブル | 仏語・伊語 | 月 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>フランス語初級（インテンシヴコース）<br/>このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。</p> |                 |                |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名           | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|--|-----------------|---------------|-------|-----|----------|
| 50197      | A  | フランス語初級（インテンシヴ） | アガエス<br>ジュリアン | 仏語・伊語 | 月 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | フランス語初級（インテンシヴコース）   |                 |               |       |     |          |
| 授業の目標概要    | このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 |                 |               |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名           | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|--|-----------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50679      | A  | フランス語初級（インテンシヴ） | アルベリック<br>ドリブル | 仏語・伊語 | 水 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | フランス語初級（インテンシヴコース）   |                 |                |       |     |          |
| 授業の目標概要    | このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。 |                 |                |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名           | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|--|-----------------|---------------|-------|-----|----------|
| 50709      | A  | フランス語初級（インテンシヴ） | アガエス<br>ジュリアン | 仏語・伊語 | 木 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | フランス語初級（インテンシヴコース）   |                 |               |       |     |          |
| 授業の目標概要    | このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 |                 |               |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名                    | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|---|--------------------------|---------------|-------|-----|----------|
| 50946      | A   | フランス語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | アガエス<br>ジュリアン | 仏語・伊語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次）   |                          |               |       |     |          |
| 授業の目標概要    | TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 |                          |               |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 51072           | A  | フランス語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | アルベリック<br>ドリブル | 仏語・伊語 | 金 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次）<br>TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 |                          |                |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名          | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50465           | A   | フランス語初級（第三外国語） | 西川 純子 | 仏語・伊語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | フランス語（特急）<br>つづり字と発音の対応を意識しつつ、初歩のフランス語文法を1セメスターで通覧する。 |                |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|----------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50680           | A  | フランス語初級（第三外国語） | 黒木 秀房 | 仏語・伊語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | フランス語初級<br>フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。 |                |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名          | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50935           | A   | フランス語初級（第三外国語） | 小西 英則 | 仏語・伊語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | フランス語初級（第三外国語）<br>フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。<br>フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。<br>学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。 |                |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|---------------|-------|-----|----------------------|
| 50081           | A   | フランス語中級（会話） | ラタンジオ<br>リリアヌ | 仏語・伊語 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中級会話<br>フランス文化の様々な側面を学ぶとともに、実践的な会話能力を高める。 |             |               |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員            | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-----------------|-------|-----|----------------------|
| 50267           | A   | フランス語中級（会話） | ドゥルマジュール<br>ラウル | 仏語・伊語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Conversation : cinéma<br>Le but de ce cours est parler de en français à propos de cinéma. Chaque semaine nous discutons d'un film que nous avons regardé pendant la semaine, à propos des personnages, de l'histoire, mais aussi des aspects esthétiques (genre, technique), ou culturels (les thèmes, la société). |             |                 |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員            | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-----------------|-------|-----|----------------------|
| 50936           | A   | フランス語中級（作文） | ドゥルマジュール<br>ラウル | 仏語・伊語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Ecriture académique<br>Ce cours s'adresse aux étudiants qui veulent progresser dans l'écriture argumentative en français. Nous ferons des exercices d'écriture académiques variés (donner et expliquer son avis, résumer une histoire, résumer un texte argumentatif, critiquer une opinion avec des arguments et des exemples). Les thèmes seront choisis selon les centres d'intérêt des étudiants. |             |                 |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50466           | A  | フランス語中級（読解） | 鶴岡 彩香 | 仏語・伊語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 近現代フランスの文化史をフランス語で読む<br>初級で学んだ文法や構文を使いながら正確に読解する力を身につけるとともに、近現代フランスの人々の暮らしや文化についての歴史を学ぶ。 |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50870           | A  | フランス語中級（読解） | 桐谷 慧 | 仏語・伊語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中級レベルのフランス語テキストを読む<br>フランス語文法の学習を一通り終えた方を対象として、中級レベルのフランス語の文章を読んでいく授業です。受講者のレベルに応じて、重要な語彙の確認、文法のおさらいなども並行して行う予定です。丁寧に文章を読むことを通して、フランス語の文章を読解する力を身につけることを目指します。<br>また、受講者の希望も考慮しつつ、思想、社会、芸術、政治などに関する文章を取り上げることにより、フランス語圏の文化や社会についての理解を深めることも目標とします。 |             |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名       | 担当教員       | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------------|------------|-------|-----|----------------------|
| 50235      | A   | フランス語上級（会話） | アガエス ジュリアン | 仏語・伊語 | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus)   |             |            |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés (cinéma, musique, société, etc.).</p> <p>Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt.</p> <p>Nous ferons aussi des jeux pour pratiquer le français.</p> |             |            |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50375      | A   | フランス語上級（読解） | 桑田 光平 | 仏語・伊語 | 火 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | フランス語の評論を読む   |             |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>「翻訳」という行為について理論的に考察された2020年のティフェーヌ・サモワイヨの著作『翻訳と暴力』のIntroductionと第一章をフランス語で精読する予定です。著者は現代フランスにおけるもっとも優れた比較文学研究者の一人であり、作家にして文芸理論家でもあります。フランス語の文法の基礎が身につけていれば、辞書を片手に問題なく読んでいける明快な記述の著作です。できれば、書かれている内容についても、少し議論ができる時間が持てればと思います。</p> |             |       |       |     |                      |

## 総合科目 L 中国語

| 中国語初級（演習）②               |     | 開講区分  | A                     |
|--------------------------|-----|---|-----------------------|
| 授業の目標・概要                 |     | 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。<br>注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。                          |                       |
| 成績評価方法<br>教科書            |     | 定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。<br>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook<br>書名 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』<br>著者(訳者) 毛 興華<br>出版社 白帝社 |                       |
| ※講義の詳細については、UTAS を参照すること |     |   |                       |
| 時間割<br>コード               | 曜限  | 担当教員  | 対象クラス                 |
| 50057                    | 月 2 | 林 立梅  | 1年 文一二(13)            |
| 50218                    | 火 1 | 黄 海萍  | 1年 文一二(16)            |
| 50347                    | 火 3 | 喬 志航  | 1年 文一二(19)            |
| 50361                    | 火 3 | 李 佳リョウ  | 1年 文三(13)             |
| 50614                    | 水 3 | 中原 裕貴   | 1年 文三(11)             |
| 50636                    | 水 4 | 毛 興華  | 1年 文一二(15)            |
| 50902                    | 金 1 | 斉 金英  | 1年 文一二(18)            |
| 50985                    | 金 3 | 張 玉萍  | 1年 文一二(14)            |
| 50997                    | 金 3 | 李 雲   | 1年 文三(14)             |
| 50742                    | 木 2 | 鄧 芳   | 1年 文一二(17)文三(12)(TLP) |
| 50743                    | 木 2 | 李 彦銘  | 1年 文一二(17)文三(12)(TLP) |

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象    |
|-----------------|--|-----------|------|-----|-----|-------|
| 50871           | A  | 中国語初級（演習） | 姚 毅  | 中国語 | 木 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語の基礎を固めるトレーニング<br>一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 |           |      |     |     |       |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50710           | A   | 中国語初級（作文） | 何 珍時 | 中国語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語初級作文<br>中国語の初級作文は中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語の作文する力を身につけ、自分のことや日常生活に必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成することを目的としています。<br>中国語の文法事項や重要な構文を詳しく説明し、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身につけていきます。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50872           | A  | 中国語初級（作文） | 賈 黎黎 | 中国語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語初級作文<br>半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50947           | A   | 中国語初級（表現練習）<br>(TLP) | 李 彦銘 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TLP 中国語 基礎トレーニング 演習<br>TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための科目。中国語一列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。 |                      |      |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|---------------|------|-----|-----|----------|
| 50006           | A   | 中国語初級（インテンシヴ） | 賈 黎黎 | 中国語 | 月 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語の実践能力を養うためのトレーニング A<br>基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）<br><br>実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。<br>A クラス：月1 賈黎黎先生 金2 王英輝先生<br>B クラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生<br>☆必ず火2（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。<br>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。<br>☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。<br><a href="https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA">https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA</a><br>【注意事項】 抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。 |               |      |     |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|---------------|------|-----|-----|----------|
| 50268           | A   | 中国語初級（インテンシヴ） | 毛 興華 | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング B<br/>基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）</p> <p>実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。<br/>A クラス：月1 賈黎黎先生 金2 王英輝先生<br/>B クラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生<br/>☆必ず木1（担当教員：李佳樑先生）とセットで履修すること。<br/>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。<br/>☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。<br/><a href="https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA">https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA</a><br/>【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。</p> |               |      |     |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|------------------------|------|-----|-----|----------|
| 50283           | A   | 中国語初級（インテンシヴ）<br>(TLP) | 李 彦銘 | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）<br/>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。<br/>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |                        |      |     |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|------------------------|------|-----|-----|----------|
| 50284           | A   | 中国語初級（インテンシヴ）<br>(TLP) | 白 春花 | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）<br/>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。<br/>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |                        |      |     |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|---------------|--------|-----|-----|----------|
| 50711           | A   | 中国語初級（インテンシヴ） | 李 佳リョウ | 中国語 | 木 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング B<br/>基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）</p> <p>実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。<br/>A クラス：月1 賈黎黎先生 金2 王英輝先生<br/>B クラス：火2 毛興華先生 木1 李佳樑先生<br/>☆必ず火2（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。<br/>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。<br/>☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は9月30日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。<br/><a href="https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA">https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA</a><br/>【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。</p> |               |        |     |     |          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|------------------------|------|-----|-----|----------|
| 50861           | A   | 中国語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | 鄧 芳  | 中国語 | 木 4 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）</p> <p>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。</p> <p>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |                        |      |     |     |          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|------------------------|-------|-----|-----|----------|
| 50922           | A   | 中国語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | 菊池 真純 | 中国語 | 金 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）</p> <p>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。</p> <p>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |                        |       |     |     |          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|---------------|------|-----|-----|----------|
| 50937           | A   | 中国語初級（インテンシヴ） | 王 英輝 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語の実践能力を養うためのトレーニング B</p> <p>基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）</p> <p>実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは 2 クラス開講し、各クラス定員を 20 名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>A クラス：月 1 賈黎黎先生 金 2 王英輝先生<br/>B クラス：火 2 毛興華先生 木 1 李佳樑先生</p> <p>☆必ず【月 1 賈黎黎先生】とセットで履修すること。</p> <p>☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。</p> <p>☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。</p> <p><a href="https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA">https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA</a></p> <p>【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。</p> |               |      |     |     |          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                  | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|------------------------|------|-----|-----|----------|
| 50948           | A   | 中国語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | 鄧 芳  | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）</p> <p>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。</p> <p>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |                        |      |     |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象            |
|-----------------|---|---------------|------|-----|-----|---------------|
| 50949           | A   | 中国語初級（インテンシヴ） | 白 春花 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科(TLP) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）</p> <p>この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。</p> <p>特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。</p> |               |      |     |     |               |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50007           | A   | 中国語初級（第三外国語） | 林 立梅 | 中国語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語入門（A セメスターから始める中国語）</p> <p>中国語学習の重要な基礎となる“発音”と“文法”を学ぶ。</p> <p>この授業は A セメスターより中国語学習を始めたい学生のためのクラスである。S セメスターもしくは以前に前半を学習したことのある学生は、火 2 の黄海萍教員の授業を履修すること。</p> <p>授業の性質上 30 名を定員とする。</p> <p>履修に関する抽選結果は、ITC-LMS のお知らせに公表します。</p> |              |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50269           | A   | 中国語初級（第三外国語） | 黄 海萍 | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語（初級）（第三外国語）（2）／Chinese (Introductory) (3rd Foreign Language) (2)</p> <p>中国語学習の重要な基礎となる“発音”と“文法”を学ぶ。この授業は同教員が担当した A セメスターの続きを行う（第 1～9 課の復習を行った後、第 10 課から始める予定）。授業の性質上 40 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。</p> |              |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50938           | A   | 中国語初級（第三外国語） | 張 玉萍 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国語の基礎</p> <p>この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターは I、A セメスターはその続きの II である。</p> |              |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50082           | A   | 中国語中級（演習） | 鍾 非  | 中国語 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 和文 中訳特訓<br>教官の思い付き（日本語）を丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句（成語）にするのが要求される（例：日本語：糞に懲りて膾を吹く or 蛇に噛まれて朽繩に怖じる；中国語：小題大做 or 一年被蛇咬，十年怕井绳）。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。語彙テストをランダムに実施（一例。日本語：level1：面白い、level2：興味深い、level3：腹を振る or 腹が振れる、level4：臍で茶を沸かす。中国語：level1：有趣、level2：興味盎然 or 妙趣横生、level3：捧腹大笑、level4：忍俊不禁）。ちなみに、Level1 ができなければ、日常会話で相槌を打つことすら不可能。かたや level4 が「お茶の子さいさい」だと思えば、native でも稀に見る。「覚えることだけが語学」だという悪しき先入観を、「考える語学」まで理路整然と高めるのが、目的。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50270           | A   | 中国語中級（会話） | 王 牧  | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中級中国語会話/Intermediate Chinese Conversation<br>初級の中国語学習を終えた学習者が、より高度な会話表現を学び、日常生活での会話スキルを磨くことを目指し、日常生活で使える表現やフレーズを学び、会話の流れをつかむための練習を行います。授業では、中国語の発音・語彙・文法をより深く理解し、正確かつ自然な表現を身につけることも目指します。授業を通じて、自信を持って中国語を話すための基礎を築きます。/The goal of this course is to help students who have completed basic Chinese language learning to develop more advanced conversational skills and improve their ability to communicate in daily life. Students will learn useful expressions and phrases for everyday situations and practice understanding the flow of conversations. The course aims to deepen students' understanding of Chinese pronunciation, vocabulary, and grammar, enabling them to express themselves accurately and naturally. Through this course, students will build a foundation of confidence for speaking Chinese. |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50661           | A   | 中国語中級（会話） | 中原 裕貴 | 中国語 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語会話<br>この授業では会話を中心に進めます。<br>日常生活でよく使われる会話の展開を通して、中国語で不自由なく、家族の紹介、ご自身の趣味、買い物、天気、中学生活と大学生生活の違い、将来の夢などを話すのを目標にします。 |           |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50939           | A  | 中国語中級（会話） | 齊 金英 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中級中国語会話<br>中級レベルの文法や文型を習得しながら、現代中国文化や社会事情が織り込まれた会話に触れ、テーマごとの会話練習を通して、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50920           | A   | 中国語中級（作文） | 王 英輝 | 中国語 | 金 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語中級作文<br>文法と語彙を強化し、読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。<br>モデル文を読み、文章表現のポイントを解説した上、テーマ別に中国語の文章を書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50271           | A   | 中国語中級（読解） | 李 洵  | 中国語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語中級精読<br>中国語検定試験2級レベルの長文を精読する。<br>精読作業を通じて、初級既習文法への理解を深め、新たな応用展開について学び、合わせて様々な場面での表現や語彙を習得する。中国語の読解力を身につけるとともに作文の力も高めていく。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50940           | A  | 中国語上級（演習） | 秋山 珠子 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 字幕翻訳演習<br>本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1) 言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2) 的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3) 既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。（G8-10）<br>* 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。 |           |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講                                 | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|------------------------------------|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 50826           | A                                  | 中国語上級（会話） | 賈 黎黎 | 中国語 | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語上級（会話）<br>中国語の実際の運用能力の向上を目的とする。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|------|-----|-----|----------------------|
| 51054           | A  | 中国語上級（作文） | 賈 黎黎 | 中国語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語上級（作文）<br>読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。講義の前半では日本語母語話者に多く見られる誤用の例を紹介しつつ、翻訳練習をすることによって作文の基礎を固める。後半では文章の書き方に関する中国語の文章を読んだ上で、テーマ別に中国語で書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。 |           |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50141           | A  | 中国語上級（読解） | 山口 早苗 | 中国語 | 月 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 中国語中級講読<br>中国文学作品のうち、中華民国時代に活躍した作家の随筆を読む。<br>作品を読むことで規範的な現代中国語だけでなく、文学的な表現や語彙など、より発展的な中国語の読解力を身につける。この過程で、中華民国時代の中国の文化・社会について考えてみたい。 |           |       |     |     |                      |

## 総合科目 L ロシア語

| ロシア語初級（演習）②              |   | 開講区分             | A          |
|--------------------------|---|------------------|------------|
| 授業の目標・概要                 | 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。 |                  |            |
| 成績評価方法<br>教科書            | 平常点など。<br>プリントを配布する。／Will distribute handouts           |                  |            |
| ※講義の詳細については、UTAS を参照すること |   |                  |            |
| 時間割<br>コード               | 曜限  | 担当教員             | 対象クラス      |
| 50837                    | 木 4   | ゴロウィナ クセーニヤ      | 1年 文一二(4)  |
| 50840                    | 木 4   | GUTOVA Ekaterina | 1年 文三(4)   |
| 50924                    | 金 1   | GRECKO Valerij   | 1年 文科(TLP) |

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象    |
|-----------------|---|------------|----------------|------|-----|-------|
| 50873           | A   | ロシア語初級（演習） | GRECKO Valerij | ロシア語 | 木 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代ロシア語の基礎<br>基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも使いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 |            |                |      |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象    |
|-----------------|--|-----------------|----------------|------|-----|-------|
| 50923           | A  | ロシア語初級（演習）(TLP) | GRECKO Valerij | ロシア語 | 金 1 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代ロシア語の基礎（TLP）<br>基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも使いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 |                 |                |      |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50681           | A  | ロシア語初級（会話） | GRECKO Valerij | ロシア語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語会話の基礎<br>ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。<br>日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。 |            |                |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50272           | A  | ロシア語初級（作文） | 石井 優貴 | ロシア語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級（作文）<br>格変化、移動の動詞、動詞の接頭辞といった、ロシア語の初級文法を扱った練習問題を解くことで、文法に関する知識を深め、ロシア語で文章を書く技術を身につけることを目的とした授業です。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|----------------|-------|------|-----|----------|
| 50198           | A  | ロシア語初級（インテンシヴ） | 畔柳 千明 | ロシア語 | 月 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級（インテンシヴ）<br>ロシア語を第二外国語として履修している人を受講者に想定し、必修の補足を行う授業です。必修の授業の進行に沿って、習った文法事項を復習して定着させ、実際に使えるようになることを目指します。 |                |       |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員                | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-------------------------|---------------------|------|-----|----------|
| 50200           | A  | ロシア語初級（インテンシヴ）<br>(TLP) | GUTOVA<br>Ekaterina | ロシア語 | 月 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級（インテンシヴ）TLP<br>TLP生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1に続きA2のレベルを目指した学習を行う。2コマセットで履修すること（月曜5限と木曜5限）。 |                         |                     |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                   | 担当教員                | 所属   | 曜限  | 対象            |
|-----------------|--|-------------------------|---------------------|------|-----|---------------|
| 50879           | A  | ロシア語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | GUTOVA<br>Ekaterina | ロシア語 | 木 5 | 1年 文科 理科(TLP) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級（インテンシヴ）TLP<br>TLP生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1に続きA2のレベルを目指した学習を行う。2コマセットで履修すること（月曜5限と木曜5限）。 |                         |                     |      |     |               |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員                | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|----------------|---------------------|------|-----|----------|
| 51064           | A  | ロシア語初級（インテンシヴ） | GUTOVA<br>Ekaterina | ロシア語 | 金 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級インテンシヴ<br>ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。<br>※「初級インテンシヴ」はかならず週2回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。 |                |                     |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名         | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51065           | A  | ロシア語初級（第三外国語） | 宮川 絹代 | ロシア語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語初級（第三外国語）<br>ロシア語を第三外国語として基礎から学んでいく授業です。通年の開講を予定しており、1年間でロシア語の初級文法や基本語彙などを習得することを目標としています。 |               |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50662           | A   | ロシア語中級（会話） | GRECKO Valerij | ロシア語 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語会話表現（中級）<br>ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。<br>授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。<br>※ロシア語を1年以上学習した者 |            |                |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50827           | A  | ロシア語中級（作文） | ゴロウィナ<br>クセーニヤ | ロシア語 | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語作文の書き方・実力アップコース<br>この講義では、文法の復習・実用テキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。文法に関しては、不完了体・完了体や複文、形動詞の使用などに焦点を当てます。コースの最後に筆記試験が行われます。 |            |                |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50682           | A  | ロシア語中級（読解） | 石井 優貴 | ロシア語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語中級読解<br>ロシア詩読解：外国語の学習者にとって、その言語で書かれた詩を読むことは、文法をより正確に理解する上でも、語彙を獲得する上でも、発音を覚える上でも、非常に有効な手段です。この授業ではロシア語の詩を読み、韻律や意味を把握していくことで、総合的なロシア語運用能力を高めることを目的とします。 |            |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名          | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------|--------|------|-----|----------------------|
| 50376           | A   | ロシア語中級（インテンシヴ） | 丸山 由紀子 | ロシア語 | 火 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語中級（インテンシヴ）<br>本授業は、学術論文、新聞・ニュース記事、文学作品など、各自にとって必要なロシア語テキスト読みこなし、かつ自らロシア語で発信するための土台作りを目標とする。<br>無人称文、形容分詞、副分詞など、初級・中級者がつまずきやすく、かつロシア語を使いこなすには必須の文法事項を、練習問題、テキスト講読、和文露訳、ヒアリングなど、総合的アプローチによって学ぶ。また、時や原因の表現など、混乱しやすい事項の整理なども行い、上級ロシア語への橋渡しを目指す。 |                |        |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名          | 担当教員                | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------|---------------------|------|-----|----------------------|
| 51022           | A   | ロシア語中級（インテンシヴ） | GUTOVA<br>Ekaterina | ロシア語 | 金 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語中級（インテンシヴ）<br>ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 |                |                     |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50467           | A  | ロシア語上級（会話） | GRECKO Valerij | ロシア語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語会話表現（応用）<br>ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。<br>授業ではロシア語で書かれた新聞・雑誌の記事や文学テキストを読み、その内容についてディスカッションする。よく使われる熟語等の表現を習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。<br>※前期課程（1・2年生）でこの授業 |            |                |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員           | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|----------------|------|-----|----------------------|
| 50941           | A   | ロシア語上級（作文） | GRECKO Valerij | ロシア語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロシア語の文章表現<br>ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。<br>※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。 |            |                |      |     |                      |

## 総合科目 L スペイン語

| スペイン語初級（演習）②            |  | 開講区分              | A          |
|-------------------------|--|-------------------|------------|
| 授業の目標・概要                | 【以下、昨年度Aセメスターのシラバス内容を教務課がインポートしました。入力完了次第、本文章を削除してください】  |                   |            |
| 成績評価方法                  | 共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせて、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。 |                   |            |
| 教科書                     | 各担当教員に任せられている。<br>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook                                  |                   |            |
|                         | 書名   | スペイン語初級           |            |
|                         | 著者(訳者)   | 東京大学教養学部スペイン語部会   |            |
|                         | 出版社  | 朝日出版社             |            |
| ※講義の詳細については、UTASを参照すること |  |                   |            |
| 時間割コード                  | 曜限   | 担当教員              | 対象クラス      |
| 50045                   | 月 2  | 松田 葉月             | 1年 文一二(7)  |
| 50153                   | 月 4  | AIT MORENO Isaac  | 1年 文三(10)  |
| 50329                   | 火 3  | AIT MORENO Isaac  | 1年 文一二(10) |
| 50330                   | 火 3  | 松田 葉月             | 1年 文一二(11) |
| 50331                   | 火 3  | Fernando Yeng     | 1年 文一二(12) |
| 50425                   | 火 4  | AIT MORENO Isaac  | 1年 文一二(9)  |
| 50518                   | 水 2  | 松田 葉月             | 1年 文一二(8)  |
| 50612                   | 水 3  | 松田 葉月             | 1年 文三(7)   |
| 50841                   | 木 4  | FERNANDEZ HERBOSO | 1年 文三(8)   |
| 50842                   | 木 4  | AIT MORENO Isaac  | 1年 文三(9)   |
| 50201                   | 月 5  | 松田 葉月             | 1年 文科(TLP) |

※TLP履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員     | 所属    | 曜限  | 対象    |
|-----------------|--|-------------|----------|-------|-----|-------|
| 51479           | A  | スペイン語初級（演習） | エクトル シエラ | スペイン語 | 木 5 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。<br/>           スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。<br/>           自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。<br/>           スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。<br/>           The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.</p> |             |          |       |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象         |
|-----------------|--|-------------|-------|-------|-----|------------|
| 50285           | A  | スペイン語初級（演習） | 松田 葉月 | スペイン語 | 火 2 | 1年 理科(TLP) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Curso intensivo de español para el TLP<br/>           TLP スペイン語インテンシブ</p> <p>Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.<br/>           コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。</p> |             |       |       |     |            |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50712           | A   | スペイン語初級（会話） | 相田 豊 | スペイン語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Zoom を用いたメキシコの大学生との会話<br/>           Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。</p> |             |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員                 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|----------------------|-------|-----|----------------------|
| 50874           | A   | スペイン語初級（会話） | FERNANDEZ<br>HERBOSO | スペイン語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>スペイン語（初級会話）<br/>           練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。<br/>           その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。</p> |             |                      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員     | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|----------|-------|-----|----------------------|
| 51066           | A  | スペイン語初級（会話） | エクトル シエラ | スペイン語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。<br/>           スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。<br/>           自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。<br/>           スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。<br/>           The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.</p> |             |          |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 51055      | A  | スペイン語初級（作文） | 内田 兆史 | スペイン語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 日本語で書かれた文学作品や漫画を、スペイン語ネイティブがどのようにスペイン語化したかを眺めながら、『日本語をスペイン語にする』という行為を俯瞰的に眺め自家菜籠中のものとするを指します。 |             |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | 日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語を日本語にする際に気をつけるべき点に気づくことでもある。「作文」よりむしろ「翻訳」を見据えた授業にしていきます。   |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名           | 担当教員                | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|---|-----------------|---------------------|-------|-----|----------|
| 50199      | A   | スペイン語初級（インテンシヴ） | AIT MORENO<br>Isaac | スペイン語 | 月 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | （会話）  |                 |                     |       |     |          |
| 授業の目標概要    | 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。会話練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。 |                 |                     |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|--|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50286      | A  | スペイン語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | サンブラノ<br>グレゴリー | スペイン語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | Curso intensivo de español para el TLP<br>TLP スペイン語インテンシブ  |                          |                |       |     |          |
| 授業の目標概要    | Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.<br>コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 |                          |                |       |     |          |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名           | 担当教員                | 所属    | 曜限  | 対象       |
|------------|---|-----------------|---------------------|-------|-----|----------|
| 50875      | A   | スペイン語初級（インテンシヴ） | AIT MORENO<br>Isaac | スペイン語 | 木 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目       | （作文）  |                 |                     |       |     |          |
| 授業の目標概要    | 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。 |                 |                     |       |     |          |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|---------|--|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50880   | A  | スペイン語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | サンブラノ<br>グレゴリー | スペイン語 | 木 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目    | Curso intensivo de español para el TLP<br>TLP スペイン語インテンシブ  |                          |                |       |     |          |
| 授業の目標概要 | Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.<br>コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 |                          |                |       |     |          |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|---------|--|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 50950   | A  | スペイン語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | サンブラノ<br>グレゴリー | スペイン語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目    | Curso intensivo de español para el TLP<br>TLP スペイン語インテンシブ  |                          |                |       |     |          |
| 授業の目標概要 | Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.<br>コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 |                          |                |       |     |          |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象       |
|---------|--|--------------------------|----------------|-------|-----|----------|
| 51073   | A  | スペイン語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | サンブラノ<br>グレゴリー | スペイン語 | 金 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目    | Curso intensivo de español para el TLP<br>TLP スペイン語インテンシブ  |                          |                |       |     |          |
| 授業の目標概要 | Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.<br>コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 |                          |                |       |     |          |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名          | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|----------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50008   | A   | スペイン語初級（第三外国語） | 松尾 俊輔 | スペイン語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 1年間で学ぶ三外スペイン語   |                |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要 | この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。<br>文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。SセメスターとAセメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。<br>Aセメスターの授業では、Sセメスターの授業内容を習得済みであることを前提として、二つの過去形（点過去と線過去）の違いから始め、未来形や接続法などを学び、スペイン語の文法体系全体を学び終えます。併せて、スペイン語の文章の講読にも取り組み、それを通じてスペイン語圏の社会や文化についての理解を得ることも目指します。 |                |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講                       | 授業科目名          | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--------------------------|----------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50273      | A                        | スペイン語初級（第三外国語） | 川崎 義史 | スペイン語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 速習スペイン語                  |                |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | 1セメスターで、スペイン語文法の基礎を学びます。 |                |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員          | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------------|---------------|-------|-----|----------------------|
| 51056      | A  | スペイン語中級（演習） | シルビア<br>ゴンサレス | スペイン語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | Comunicación y cultura en el mundo hispano. Anímate a conversar en español.  |             |               |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | El objetivo principal de este curso es desarrollar intensamente las habilidades de comunicación en español. Se espera que los estudiantes conozcan los principios de la comunicación masiva, y que elaboren y expongan sus opiniones sobre el entorno cultural y temas de actualidad del mundo hispanohablante, a través del estudio de los contenidos en diversos medios de comunicación.<br>このコースの主要な目的は、スペイン語によるコミュニケーション能力を集中的に養成する。あわせて、マス・コミュニケーションの原理を知り、様々を伝達手段におけるコンテンツの研究を通じて、スペイン語圏の文化的背景と現状に関し意見を考え述べることである。 |             |               |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員     | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------------|----------|-------|-----|----------------------|
| 51057      | A  | スペイン語中級（会話） | エクトル シエラ | スペイン語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 「¿CHARLAMOS?」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション  |             |          |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | 様々なトピックに触れながら、会話力を養う。<br>西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法）、メトニミー（換喩）、メタファー（比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。<br>This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation. |             |          |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50274      | A  | スペイン語中級（作文） | 石橋 純 | スペイン語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | スペイン語中級（作文）  |             |      |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | スペイン語文法の基礎知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、表現力の向上をめざす。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それらのニュアンスの違いや初学者が間違いやすい問題個所などを解説することによって、スペイン語の知識をより確実なものにする。毎回の授業の前半では短めの例文を数多く取り上げ、授業の後半ではある程度まとまりのある文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い文章課題を提出してもらおう。 |             |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50558      | A  | スペイン語中級（読解） | 丸山 共恵 | スペイン語 | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを扱う。文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。   |             |       |       |     |                      |
| 授業の目標概要    | ニュースを聞き取るために必要な文法(Sセメスペイン語1列の復習から接続法)を確認し、語彙を増やししながら、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。 |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50876           | A   | スペイン語中級（読解） | 内田 兆史 | スペイン語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。</p> <p>学んだ文法事項を確認しながらスペイン語圏のいまのニュースを聞き、読み、その内容を通じて日本や世界を知る。また世界のニュースのスペイン語世界での取り上げられ方を考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。</p> |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員             | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|------------------|-------|-----|----------------------|
| 50559           | A  | スペイン語上級（演習） | AIT MORENO Isaac | スペイン語 | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Español Avanzado. Cultura e Historia del Mundo Hispánico.</p> <p>Practicaremos la gramática y el vocabulario del español mientras estudiamos temas sobre la cultura y la historia del mundo hispánico (España e Hispanoamérica).</p> <p>Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español y de la cultura hispánica.</p> <p>Los objetivos son:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente.</li> <li>- Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español.</li> <li>- Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios, redacciones y presentaciones orales.</li> <li>- Ampliar los conocimientos sobre el ámbito histórico y cultural hispánico.</li> </ul> |             |                  |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員           | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|----------------|-------|-----|----------------------|
| 50828           | A   | スペイン語上級（会話） | サンブラノ<br>グレゴリー | スペイン語 | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>Curso de español avanzado: "El mundo hispano a través del cine".</p> <p>En este curso, los estudiantes podrán conocer algunos aspectos de la vida de América Latina a través de algunas películas. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción. También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español.</p> |             |                |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員                 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|----------------------|-------|-----|----------------------|
| 50775           | A   | スペイン語上級（作文） | FERNANDEZ<br>HERBOSO | スペイン語 | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>スペイン語による作文の授業</p> <p>Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español.</p> <p>Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1.</p> <p>新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。</p> <p>授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。</p> |             |                      |       |     |                      |

## 総合科目 L 韓国朝鮮語

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|----------|
| 50152           | A  | 韓国朝鮮語初級（演習）②   | 崔 泰源 | 韓国朝鮮語 | 月 4 | 1年 文三(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初修（文系）<br>韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 |      |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象        |
|-----------------|----|---|------|-------|-----|-----------|
| 50327           | A  | 韓国朝鮮語初級（演習）②  | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 火 3 | 1年 文一二(5) |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初級（演習）<br>この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、Sセメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。 |      |       |     |           |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象    |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|-------|
| 50238           | A  | 韓国朝鮮語初級（演習）②<br>(TLP)  | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 火 1 | 1年 文科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初級（演習）TLP<br>この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、Sセメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。 |      |       |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象    |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|-------|
| 50857           | A  | 韓国朝鮮語初級（演習）  | 朴 天弘 | 韓国朝鮮語 | 木 4 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初級（演習）<br>韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識のおさらいとともに韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 |      |       |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象    |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|-------|
| 50237           | A  | 韓国朝鮮語初級（演習）<br>(TLP)   | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 火 1 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初級（演習）TLP<br>この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、Sセメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。 |      |       |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|----------------------|
| 50438           | A  | 韓国朝鮮語初級（会話）  | 金 庚芬 | 韓国朝鮮語 | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 韓国朝鮮語初級（会話）<br>本授業は、韓国語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。 |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員    | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|---------|-------|-----|----------------------|
| 50942           | A  | 韓国朝鮮語初級（作文） | ジ ミンギョン | 韓国朝鮮語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語作文(初級)<br>韓国朝鮮語の文章を書くために必要な基本的な文型を学習する。学習した文型を用いた作文練習を重ねると同時に、初級の語彙をしっかり覚えることで表現力の向上を目指す。受講者のレベルに応じて文字（ハングル）と発音を学習する。 |             |         |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|--------------------------|------|-------|-----|----------|
| 50011           | A  | 韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | 朴 天弘 | 韓国朝鮮語 | 月 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列<br>韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 |                          |      |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-----------------|------|-------|-----|----------|
| 50142           | A  | 韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） | 崔 泰源 | 韓国朝鮮語 | 月 3 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語初級 インテンシヴ<br>必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 |                 |      |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名                    | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|--------------------------|------|-------|-----|----------|
| 50714           | A   | 韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）<br>（TLP） | 朴 天弘 | 韓国朝鮮語 | 木 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列<br>TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 |                          |      |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員    | 所属    | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|-----------------|---------|-------|-----|----------|
| 50921           | A  | 韓国朝鮮語初級（インテンシヴ） | ジ ミンギョン | 韓国朝鮮語 | 金 1 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ<br>韓国朝鮮語を集中的に学習した人を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 |                 |         |       |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|----------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50275           | A  | 韓国朝鮮語初級（第三外国語） | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語初級<br>本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。S セメスターを履修していない場合は、ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。授業は「韓国朝鮮語のみ」で行う。 |                |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|-------|-----|----------------------|
| 50276           | A  | 韓国朝鮮語初級（第三外国語）  | 岩井 智彦 | 韓国朝鮮語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>韓国語初級</p> <p>S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。</p> <p>必ず「履修上の注意」をよく読んだ上で受講してください。</p> |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|----------------------|
| 50277           | A  | 韓国朝鮮語初級（第三外国語）   | 朴 天弘 | 韓国朝鮮語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>韓国朝鮮語初級（入門）</p> <p>文字をちゃんと読める!楽しく学習する!そして書ける!何よりも外国語が話せる喜びを感じさせる、そして韓国について興味入門過程（文字・発音）を中心に基礎的な文法や表現を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につけることを目標とする。</p> <p>ゼロから始まる韓国朝鮮語学習者が対象となる。</p> <p>① ハングル文字を正確に読める。</p> <p>② あいさつ、自己紹介、数学など、簡単な表現を用いて話したり、書いたりできる。</p> <p>③ 「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につける。</p> |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-------|-----|----------------------|
| 50377           | A  | 韓国朝鮮語初級（第三外国語）  | 金 庚芬 | 韓国朝鮮語 | 火 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>韓国朝鮮語初級（第三外国語）</p> <p>初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用を学びます。教科書『チンチャ!チョアヘヨ!!韓国語1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、LMSを通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。</p> <p>また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授業後の学習内容の</p> |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-------|-----|----------------------|
| 50439           | A  | 韓国朝鮮語初級（第三外国語）  | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>韓国朝鮮語初級</p> <p>本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。</p> <p>S セメスターを履修していない場合は、ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。</p> |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-------|-----|----------------------|
| 50829           | A  | 韓国朝鮮語中級（作文）   | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>韓国朝鮮語中級（作文）</p> <p>韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展していく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。</p> |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50713           | A   | 韓国朝鮮語中級（表現練習） | 伊藤 英人 | 韓国朝鮮語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語の基礎文法を終えた受講者を対象に、語彙、文法の整理、読解、アカデミックライティング、口頭発表、聞き取りを含む能力を涵養することを目的とする。<br>受講生のニーズに応じる。例えば、大学院入試韓国朝鮮語のための読解力、作文力の涵養、留学に備えての聞き取り、プレゼンテーション、アカデミックライティングなどの訓練、その他、受講者の要望を確認した上で、授業を進める。 |               |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50663           | A  | 韓国朝鮮語中級（読解） | 加藤 裕人 | 韓国朝鮮語 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代韓国語の文章の講読<br>インターネット上のさまざまな韓国語の文章を講読する。時事的なニュース記事を中心に、新聞や論説、小説、エッセイ、HP上の広告など、さまざまなジャンルの文章を扱う。これらの文章の読解を通じて、韓国語の文章を理解するために必要とされる基礎的な語彙や文法事項、表現等を習得するとともに、韓国語を自然な日本語に翻訳する技術を身に付ける。また、多様な文章の理解を通じて現代の韓国・朝鮮社会に対する理解を深める。 |             |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50236           | A   | 韓国朝鮮語上級（会話） | 朴 天弘 | 韓国朝鮮語 | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語上級（会話）<br>より高度な会話力とコミュニケーションスキルを身に付けることを目標としている。様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。韓国の文化や時事なことやある話題について自分の意見をまとめて話せるように練習を行う。 |             |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|------|-------|-----|----------------------|
| 50858           | A   | 韓国朝鮮語上級（作文） | 李 英蘭 | 韓国朝鮮語 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 韓国朝鮮語上級（作文）<br>韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、論理的な文の作成に取り組む他、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。 |             |      |       |     |                      |

## 総合科目 L イタリア語

| イタリア語初級（演習）②            |   | 開講区分            | A         |
|-------------------------|---|-----------------|-----------|
| 授業の目標・概要                | 会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。 |                 |           |
| 成績評価方法                  | 平常点と定期試験（最終授業時）。  |                 |           |
| 教科書                     | 授業中に指示をする。／Will specify at class time                         |                 |           |
| ※講義の詳細については、UTASを参照すること |   |                 |           |
| 時間割<br>コード              | 曜限  | 担当教員            | 対象クラス     |
| 50060                   | 月 2   | DANIELI Daniela | 1年 文三(6)  |
| 50982                   | 金 3   | マルコ ビオンディ       | 1年 文一二(6) |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員            | 所属              | 曜限  | 対象    |
|-----------------|--|-------------|-----------------|-----------------|-----|-------|
| 50943           | A  | イタリア語初級（演習） | DANIELI Daniela | フランス語・<br>イタリア語 | 金 2 | 1年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級演習（理科生むけ演習）<br>習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。 |             |                 |                 |     |       |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員             | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|------------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50664           | A  | イタリア語初級（会話） | USICCO Francesca | フランス語・<br>イタリア語 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級会話<br>ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。 |             |                  |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員            | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-----------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50877           | A   | イタリア語初級（会話） | DANIELI Daniela | フランス語・<br>イタリア語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)<br>すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。 |             |                 |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|--------|-----------------|-----|----------------------|
| 50859           | A  | イタリア語初級（作文） | 大崎 さやの | フランス語・<br>イタリア語 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級（作文）<br>イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 |             |        |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名         | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50560           | A   | イタリア語初級（表現練習） | 横田 太郎 | フランス語・<br>イタリア語 | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級表現練習<br>この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です。 |               |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員 | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|------|-----------------|-----|----------------------|
| 50631           | A   | イタリア語初級（読解） | 山崎 彩 | フランス語・<br>イタリア語 | 水 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級講読<br>比較的簡単な文章をゆっくり読みながら、イタリア語の基礎文法を定着させる。 |             |      |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員            | 所属              | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|---------------------|-----------------|-----------------|-----|----------|
| 50278           | A   | イタリア語初級<br>(インテンシヴ) | DANIELI Daniela | フランス語・<br>イタリア語 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級 (インテンシヴ) /Italian Language (Introductory)<br>すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。 |                     |                 |                 |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講                                 | 授業科目名               | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象       |
|-----------------|------------------------------------|---------------------|--------|-----------------|-----|----------|
| 50944           | A                                  | イタリア語初級<br>(インテンシヴ) | 野里 紳一郎 | フランス語・<br>イタリア語 | 金 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級 (インテンシヴ)<br>イタリア語の基本文法の理解。 |                     |        |                 |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講                                  | 授業科目名              | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|-------------------------------------|--------------------|--------|-----------------|-----|----------------------|
| 50083           | A                                   | イタリア語初級<br>(第三外国語) | 野里 紳一郎 | フランス語・<br>イタリア語 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語初級 (第三外国語) I<br>イタリア語の基本文法の理解。 |                    |        |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名              | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 51067           | A   | イタリア語初級<br>(第三外国語) | 岡本 太郎 | フランス語・<br>イタリア語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 初修イタリア語<br>イタリア語の基本的な文法を学びます。初修者を対象に、Aセメスターでは発音から比較的明快な表現などを見てゆき、Sセメスターではもう少し掘り下げた文法に触れ、イタリア語の概要がつかめるようになることを目指します。 |                    |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員      | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|-----------|-----------------|-----|----------------------|
| 50084           | A   | イタリア語中級 (会話) | マルコ ビオンディ | フランス語・<br>イタリア語 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Lingua italiana, livello intermedio<br>習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。 |              |           |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員             | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|------------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50632           | A  | イタリア語中級 (会話) | USICCO Francesca | フランス語・<br>イタリア語 | 水 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語中級会話 イタリア語を自分の言葉として使っていきましょう<br>ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。 |              |                  |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名       | 担当教員            | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|---|----|-------------|-----------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50860   | A  | イタリア語中級（会話） | DANIELI Daniela | フランス語・<br>イタリア語 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目 イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）<br>授業の目標概要 すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。 |    |             |                 |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名         | 担当教員      | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|--|----|---------------|-----------|-----------------|-----|----------------------|
| 50561  | A  | イタリア語中級（表現練習） | マルコ ビオンディ | フランス語・<br>イタリア語 | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目 イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio）<br>授業の目標概要 すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。 |    |               |           |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名         | 担当教員          | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|---|----|---------------|---------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50878   | A  | イタリア語中級（表現練習） | Diego Martina | フランス語・<br>イタリア語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目 イタリア語中級表現練習<br>授業の目標概要 本講義では、イタリア語でのライティング、リーディング、リスニング、スピーキングという4技能をみかくことを主目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、会話や作文の練習をしながら、言語能力を高めることを目指します。受講者の希望に応えながら、様々な教材を使用してイタリア文化をテーマにした授業を進めます。 |    |               |               |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名       | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|--|----|-------------|--------|-----------------|-----|----------------------|
| 50683  | A  | イタリア語中級（読解） | 野里 紳一郎 | フランス語・<br>イタリア語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目 イタリア語中級講読<br>授業の目標概要 テキストの精読により基礎文法の知識をいかにして運用していくかの訓練。 |    |             |        |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名               | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|--|----|---------------------|--------|-----------------|-----|----------------------|
| 50830  | A  | イタリア語中級<br>（インテンシヴ） | 大崎 さやの | フランス語・<br>イタリア語 | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目 イタリア演劇からイタリア語に親しむ<br>授業の目標概要 イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話力を身につける。 |    |                     |        |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員      | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|-----------|-----------------|-----|----------------------|
| 50945           | A   | イタリア語中級<br>(インテンシヴ) | マルコ ビオンディ | フランス語・<br>イタリア語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語中級 (インテンシヴ) / Italian Language (Intermediate)<br>初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。 |                     |           |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員          | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|---------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50684           | A  | イタリア語上級 (会話) | マルコ ビオン<br>ディ | フランス語・イタ<br>リア語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | Facciamo un passo avanti!<br>Questo corso ? rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).. |              |               |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員          | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|---------------|-----------------|-----|----------------------|
| 50665           | A   | イタリア語上級 (作文) | マルコ ビオンデ<br>イ | フランス語・<br>イタリア語 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | イタリア語上級作文 (Lingua italiana- composizione di livello avanzato)<br>L'obiettivo del corso ? imparare come scrivere un testo accademico.<br>Redarre un testo accademico non ? una cosa facile, non lo ? neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello.<br>La scrittura accademica ? piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre. |              |               |                 |     |                      |

## 総合科目 L その他外国語

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50013           | A  | アラビア語初級<br>(第三外国語)   | 竹村 和朗 | アジア・日本研<br>究コース | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | アラビア語初級文法<br>Sセメスターの続きで、文語文法の後半を解説します。Aセメスターの学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていくことが目標となります。 |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属             | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|----------------|-----|----------------------|
| 50012           | A  | アラビア語初級<br>(第三外国語)  | 濱田 聖子 | 古典語・地中海<br>諸言語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | アラビア語初級<br>1年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。 |       |                |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属             | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|----------------|-----|----------------------|
| 50015           | A  | アラビア語中級<br>(第三外国語)   | 荻谷 康太 | 古典語・地中<br>海諸言語 | 金 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | アラビア語中級（第三外国語）<br>正則アラビア語の簡単な読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。 |       |                |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-----------------|-----|----------------------|
| 50016           | A  | ヒンディー語初級<br>(第三外国語)   | 藤井 毅 | アジア・日本研<br>究コース | 金 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi<br>インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、指定教科書の夏学期の残り部分 9 課から 18 課までを終えることを目標とします。 |      |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-----------------|-----|----------------------|
| 50017           | A  | ヒンディー語中級<br>(第三外国語)   | 藤井 毅 | アジア・日本研<br>究コース | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course<br>インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。 |      |                 |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                | 担当教員 | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|----------------------|------|-----------------|-----|----------------------|
| 50018           | A  | インドネシア語初級<br>(第三外国語) | 高地 薫 | アジア・日本<br>研究コース | 木 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>インドネシア語入門2 (Indonesian language for beginners)</p> <p>インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、Sタームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。</p> <p>Aタームでは、Sタームにおける授業内容を前提に授業を進める。</p> |                      |      |                 |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名                | 担当教員 | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------------------|------|-----------------|-----|----------------------|
| 50019           | A   | インドネシア語中級<br>(第三外国語) | 高地 薫 | アジア・日本研<br>究コース | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)</p> <p>この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。</p> |                      |      |                 |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名              | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50020           | A  | ベトナム語初級<br>(第三外国語) | 野平 宗弘 | アジア・日本研<br>究コース | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ベトナム語入門2</p> <p>Sセメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。</p> |                    |       |                 |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名              | 担当教員   | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------------|--------|-----------------|-----|----------------------|
| 50021           | A  | ベトナム語中級<br>(第三外国語) | 大泉 さやか | アジア・日本研<br>究コース | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ベトナム語文献講読</p> <p>ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。</p> |                    |        |                 |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50022           | A   | 広東語初級 (第三外国語) | 郭 文ホウ | 中国語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>広東語 (初級)</p> <p>2023年度Sセメスター広東語 (初級) の続きです。</p> <p>この授業では初級レベルの広東語の習得を目指します。</p> <p>広東語教授方法の授業ではありませんので、広東語ネイティブの受講は原則認めません。</p> |               |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50685           | A  | 広東語中級（第三外国語） | 吉川 雅之 | 中国語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>広東語中級<br/>広東語は香港と澳門（マカオ）で公用語である他、中国本土では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。漢語派諸言語の中では民族共通語である普通話（いわゆる中国語）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。</p> <p>広東語は、上海語や福建語・台湾語と同様に、中国語（普通話）との間にはゆうに言語同士に匹敵する差異を有しています。そのため、中国語とは別に一から学習する必要があります。</p> <p>この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について、中級レベルの養成を目指します。</p> |              |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名              | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50023           | A   | ヘブライ語初級<br>（第三外国語） | 飯郷 友康 | アジア・日本研<br>究コース | 月 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ヘブライ語文法初歩<br/>古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること——すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。</p> |                    |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50951           | A  | 上海語初級（第三外国語） | 李 雲  | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>上海語初級<br/>上海語の発音の仕方、ローマ字表記法について学び、繰り返し練習することで、発音を習得する。上海語の語彙、特に中国語の標準語と違うものの意味と用法を学習する。また上海語の文法や表現を学び、日常的なコミュニケーションができるよう「聞く」、「話す」能力を養成することを目指す。</p> <p>基本的に上海語ネイティブの受講は認めない。</p> |              |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名              | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50024           | A  | ペルシア語初級<br>(第三外国語) | 前田 君江 | アジア・日本研<br>究コース | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ペルシア語初級：文法と講読<br/>第1回・第2回授業<br/>Sセメスターで学習した文法事項の復習・続編を行う。<br/>第2回の授業の最後に文法項目の小テスト(30分程度)を行う。</p> <p>※小テスト対象項目<br/>・現在形<br/>・仮説法現在形<br/>・完了形<br/>・関係詞 ke の用法<br/>・比較級<br/>・不定の i(イー)と限定の ra(ラー)</p> <p>第3回～<br/>・ペルシア語講読<br/>・辞書を引きながら、ペルシア語の文章の講読を行う。</p> <p>※なお、ペルシア語辞書については、ペルシア語―日本語辞典とペルシア語―英語辞典を講師より貸し出しする(数に限りがある)。</p> |                    |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                    | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------------------|-------|------|-----|----------------------|
| 51058           | A  | セルビア・クロアチア語初級<br>(第三外国語) | 山崎 信一 | ロシア語 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>セルビア・クロアチア語(初級)<br/>セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能<br/>力を身につけることを目標とする。</p> |                          |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50287           | A   | ポーランド語初級<br>(第三外国語) | 久山 宏一 | ロシア語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ポーランド語初級<br/>ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書・文法書を活用できることを目標とする。</p> |                     |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名         | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50025           | A  | タイ語初級 (第三外国語) | 浅見 靖仁 | アジア・日本<br>研究コース | 水 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>タイ語<br/>Sセメスターからの継続。原則として、Sセメスターの授業を履修した学生のみを受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている場合は、Aセメスターのみの履修も認めます。今年度ではなく、昨年度以前のSセメスターにタイ語を履修した人たちの履修も歓迎します。Aセメスターの前半は、テキスト第11課以降を2週間に3課のペースで扱います。Aセメスター後半は、オンライン辞書を使ってタイ語の長文読解にも挑戦してもらいます。辞書を引けば、タイ語で書かれたニュース記事などを理解できるようになるのが目標です。</p> |               |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名               | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50881           | A   | ポルトガル語初級<br>(第三外国語) | 牧野 真也 | スペイン語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ポルトガル語の基礎<br>ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。 |                     |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名               | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------------------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50862           | A  | ポルトガル語中級<br>(第三外国語) | 牧野 真也 | スペイン語 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ポルトガル語の基礎<br>ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。 |                     |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50952           | A  | 台湾語初級（第三外国語） | 蔡 承維 | 中国語 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 台湾語初級 B<br>「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、?州、廈門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75% を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「?南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。しかし第二次世界大戦後、各地の言語政策においては、台湾語、?南語、福建語のメディアにおける使用が厳しく制限される傾向があった。このような状況にもかかわらず、映画、ドラマ、歌謡曲、文学などの流通はさまざまな形で続いた。近年、台湾において振興の動きが著しく、2019 年 7 月、初めての台湾語による公共放送のテレビチャンネル「公視台語台」も設立された。そのほか、方言の使用に対して厳しく制限しているシンガポールでも、2016 年より、準国営且つ唯一のテレビ局も 37 年ぶりに方言（主な福建語）番組の制作、放送を再開した。<br><br>この授業では、台湾語の発音、基本的な語彙、文法、会話表現を習得することを目指す。 |              |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|------|-----|-----|----------------------|
| 50468           | A   | 台湾語中級（第三外国語） | 多田 恵 | 中国語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 台湾語中級（第三外国語）／Taiwanese (Fukienese) Language (Intermediate)<br>「台湾語」とはこの 400 年の間、福建南部からの移民により台湾に伝えられ、現在台湾で約 1600 万人の母語話者人口を持つとされる重要な言語である。東南アジアにも起源を同じくする言語ないし語彙が広がっている。台湾の複雑な歴史と社会を反映して日本語や中国語からの影響が混ざり合い、社会言語学的に興味深い。<br><br>この授業は、台湾語初級の修了者もしくは同等の能力を持つ者を対象とし、台湾語の談話の構造、また、文と文を組み合わせ複雑な内容を伝え・理解する能力を習得することを目指す。 |              |      |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名              | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|--------------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50026   | A   | モンゴル語初級<br>(第三外国語) | 荒井 幸康 | アジア・日本<br>研究コース | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | モンゴル語   |                    |       |                 |     |                      |
| 授業の目標概要 | 本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする。会話では、適切な質問文をつくり、5分程度の会話を成立させること。また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める。 |                    |       |                 |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名          | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|----------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50027   | A  | トルコ語初級 (第三外国語) | 末森 晴賀 | アジア・日本研<br>究コース | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 現代トルコ語初級文法 6   |                |       |                 |     |                      |
| 授業の目標概要 | 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A セメスターの通年で完結する授業のため、A セメスターで扱った内容の続きから始める。本授業を通して、トルコ語の文章を理解するために必要な初級文法を一通り身につけることを目指す。 |                |       |                 |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名          | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|----------------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50028   | A   | トルコ語中級 (第三外国語) | 末森 晴賀 | アジア・日本研<br>究コース | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | トルコ語中級文献講読 8  |                |       |                 |     |                      |
| 授業の目標概要 | 現代トルコ語初級文法を一通り習得した者を対象に、トルコ語の文章講読を行う。辞書を引きながら自力でトルコ語の文章を理解できるようになることを目指す。 |                |       |                 |     |                      |

| 時間割コード  | 開講                             | 授業科目名            | 担当教員  | 所属             | 曜限  | 対象                   |
|---------|--------------------------------|------------------|-------|----------------|-----|----------------------|
| 50716   | A                              | 古典語初級 (ギリシア語) II | 上野 慎也 | 古典語・地中海諸<br>言語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 古典ギリシア語の手ほどき (のつづき)            |                  |       |                |     |                      |
| 授業の目標概要 | 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。 |                  |       |                |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名            | 担当教員  | 所属             | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|------------------|-------|----------------|-----|----------------------|
| 51074   | A  | 古典語初級 (ギリシア語) II | 松浦 高志 | 古典語・地中海諸<br>言語 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 古典ギリシア語初級 (後半)<br>Elementary Greek (second half)   |                  |       |                |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>※当授業はSセメスターの「古典ギリシア語初級 (前半)」(科目名:私の担当する「古典語初級 (ギリシア語) I」)の続きである。これを履修していない場合、その内容を自習しておく必要がある。Aセメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている。Sセメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと。Sセメスターで使用したテキストは、ITC-LMS上に当授業のコマが設定され次第載せるので、Aセメスターからの受講者は確認しておくこと。</p> <p>I. 目標<br/>初級文法を一年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた文章を、辞書と文法書を使えば何とか読めるようにする。</p> <p>II. 概要<br/>Aセメスターの授業の主な内容は次の三つである。<br/>A. 動詞の活用を覚える。<br/>B. 単文の主要な構文を覚える。<br/>C. 複文の主要な構文を覚える。</p> |                  |       |                |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名          | 担当教員  | 所属         | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|----------------|-------|------------|-----|----------------------|
| 50776   | A  | 古典語中級（ギリシア語）II | 上野 慎也 | 古典語・地中海諸言語 | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 古典ギリシア語散文講読  |                |       |            |     |                      |
| 授業の目標概要 | 古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。 |                |       |            |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名        | 担当教員  | 所属         | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|--------------|-------|------------|-----|----------------------|
| 51120   | A   | 古典語初級（ラテン語）I | 筒井 賢治 | 古典語・地中海諸言語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | ラテン語入門  |              |       |            |     |                      |
| 授業の目標概要 | ラテン語の基本的な文法を2セメスターで一通り学び、辞書や文法書を使って原典テキストを読めるようにする。 |              |       |            |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名         | 担当教員   | 所属         | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|---------------|--------|------------|-----|----------------------|
| 50030   | A  | 古典語初級（ラテン語）II | 井上 秀太郎 | 古典語・地中海諸言語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | ラテン語初級                                     |               |        |            |     |                      |
| 授業の目標概要 | 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 |               |        |            |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名         | 担当教員   | 所属         | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|---------------|--------|------------|-----|----------------------|
| 50085   | A  | 古典語中級（ラテン語）II | 井上 秀太郎 | 古典語・地中海諸言語 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | ラテン語散文講読   |               |        |            |     |                      |
| 授業の目標概要 | 初級の授業で学んだことの上でラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業では前期に引き続きアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。 |               |        |            |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名             | 担当教員  | 所属          | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-------------------|-------|-------------|-----|----------------------|
| 50031   | A  | 古典語初級（サンスクリット語）II | 加藤 隆宏 | アジア・日本研究コース | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | サンスクリット初級文法（II）  |                   |       |             |     |                      |
| 授業の目標概要 | 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。Aセメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。 |                   |       |             |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|------|--------|-----|----------------------|
| 50240           | A   | 古典日本語 | 矢田 勉 | 国文・漢文学 | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>漢字・漢文による日本語表記史・文章史（上代～中世）</p> <p>日本語史は、特に書記言語に関してきわめて多彩な様式を成立させてきたことに特徴がある。本講義ではそのうち、上代から中世に至る、漢字（正訓字）・漢文による日本語表記史および文章史を扱う。</p> <p>具体的な資料読解を通じて、日本語漢字表記史・文章史の多様性を理解し、ある程度まではその読解能力を身につけることを目標とする。</p> |       |      |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|------|--------|-----|----------------------|
| 50953           | A  | 古典中国語 | 谷口 洋 | 国文・漢文学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>語学としての漢文</p> <p>中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのために加えて、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。</p> <p>この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。</p> <p>この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的の一つとするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。</p> |       |      |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50029           | A 1  | 日本語上級 | 藤井 明子 | 日本語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アカデミックライティング（1）</p> <p>ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く</p> <p>Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays</p> <p>This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinking reflectively and self-regulated learning.</p> <p>Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) read a Japanese short story critically</li> <li>2) make an outline of an academic essay</li> <li>3) write an academic essay in appropriate structure, format and style</li> <li>4) cite other studies within reports/papers</li> <li>5) reflect on their own learning process and assess the progress.</li> </ol> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60001      | A 2  | 日本語上級 | 藤井 明子 | 日本語 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミックライティング (2)   |       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる<br/>Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review<br/>This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching.</p> <p>Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) read short stories</li> <li>2) write an academic essay in appropriate structure, format and style</li> <li>3) cite other studies within reports/papers</li> <li>4) reflect on their own learning process and assess the progress.</li> </ol> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名 | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------|--------|-----|-----|----------------------|
| 50202      | A 1   | 日本語上級 | 大久保 雅子 | 日本語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミック・プレゼンテーションのための発音/Academic presentation and pronunciation  |       |        |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。</li> <li>2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。</li> <li>3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。</li> <li>4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。</li> <li>5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。</li> </ol> |       |        |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名 | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------|--------|-----|-----|----------------------|
| 60007      | A 2   | 日本語上級 | 大久保 雅子 | 日本語 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミック・プレゼンテーションのための発音/Academic presentation and pronunciation  |       |        |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。</li> <li>2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。</li> <li>3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。</li> <li>4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。</li> <li>5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。</li> </ol> |       |        |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50239           | A 1   | 日本語上級 | 宇佐美 洋 | 日本語 | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>論文執筆を戦略的に計画する（準備編）<br/>※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。</p> <p>大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。</p> <p>この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、「基本的な考え方のトレーニング」を行います（日本語そのもののトレーニングというより、「論文を書くときにはどのような頭の使い方をすべきか」について考えていきます）。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み、批判的に評価し、かつ建設的なコメントを与え合うことで、自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60008           | A 2  | 日本語上級 | 宇佐美 洋 | 日本語 | 火 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>論文執筆を内省的に遂行する（実践編）<br/>※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。</p> <p>大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。</p> <p>この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。またそのプロセスを通じ、「主張とエビデンスとの間の論理的関係を考える」「他者に伝わるように構成を考える」「そもそもその調査研究にどういう意義があるのかを考える」などのためのトレーニングを行います。知識・スキルの習得だけでなく、論文執筆に必要な「基本的態度」の習得を目指します。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50288           | A 1   | 日本語上級 | 宇佐美 洋 | 日本語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>論文執筆を戦略的に計画する（準備編）<br/>※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。</p> <p>大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。</p> <p>この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、「基本的な考え方のトレーニング」を行います（日本語そのもののトレーニングというより、「論文を書くときにはどのような頭の使い方をすべきか」について考えていきます）。さらに、学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み、批判的に評価し、かつ建設的なコメントを与え合うことで、自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60014           | A 2   | 日本語上級 | 宇佐美 洋 | 日本語 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>論文執筆を内省的に遂行する（実践編）<br/>※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生、および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。</p> <p>大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、戦略的に準備を行っていくことが必要です。</p> <p>この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。またそのプロセスを通じ、「主張とエビデンスとの間の論理的関係を考える」「他者に伝わるように構成を考える」「そもそもその調査研究にどういう意義があるのかを考える」などのためのトレーニングを行っていきます。知識・スキルの習得だけでなく、論文執筆に必要な「基本的態度」の習得を目指します。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50686           | A 1   | 日本語上級 | 木村 政樹 | 日本語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その3<br/>授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。</p> <p>授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60080           | A 2   | 日本語上級 | 木村 政樹 | 日本語 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>近代日本の童話を読む： その1<br/>授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。</p> <p>授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテキストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50715           | A 1  | 日本語上級 | 奥川 育子 | 日本語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アカデミックプレゼンテーションとディスカッション<br/>この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。</p> <p>学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60081      | A 2  | 日本語上級 | 奥川 育子 | 日本語 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆   |       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査、分析、発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。 |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50882      | A 1   | 日本語上級 | 田中 祐輔 | 日本語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミックライティング?表現学習のためのツール?/Academic Writing: Tools and Resources for Learning and Polishing Expressions  |       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | 『アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。<br><br>授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。<br>次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。学術的文章の執筆に不可欠な形式や構成手法に関する幅広い項目を扱います。<br>そして、各回、授業で学んだ学術的文章の執筆手法を用いるライティングアクティビティに取り組みます。 |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60086      | A 2   | 日本語上級 | 田中 祐輔 | 日本語 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?/Academic Writing: Tools and Resources for Text Organization and Format  |       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | 『アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。<br><br>授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。<br>次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。学術的文章の執筆に不可欠な形式や構成手法に関する幅広い項目を扱います。<br>そして、各回、授業で学んだ学術的文章の執筆手法を用いるライティングアクティビティに取り組みます。 |       |       |     |     |                      |

## 総合科目 A (思想・芸術)

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員   | 所属       | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|--------|----------|-----|----------------------|
| 50687           | A  | 言語比較論 | 李 佳リョウ | 言語情報科学専攻 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>日常的な言語行動に関する日本語と中国語の対照研究</p> <p>本授業では、現代中国語でのコミュニケーションにおける、日常ありふれた「ことば (の使用)」の実態を詳細に考察し、日本語 (時には英語) と比較することにより、中国語という言語の特徴を詳らかに示すとともに、中国人の思考や認識、感覚などを分析することを目指す。</p> <p>言語学のサピア＝ウォーフの仮説 (言語相対性仮説) は「言語の違いは、思考や世界の認識に対して影響を及ぼす」と主張するものであるが、確かに、個別の言語はそれを母語とする人々の思考や認知との間に深い関係を有している。換言すれば、「言語」は少なくとも「人」を造っている重要な要素のひとつであり、各言語に見られる種々の様相は、それを用いる人々の思惟や感覚、思想などの諸要素が反映された所産だと言って良いだろう。</p> <p>授業では、中国語の特徴を考察する基準として、日本語 (時には英語) の実態との比較を行ない、対照的に考察することによって、日中 (英) 語の相違点についても考える。たとえば、日常用いる挨拶ひとつを取り上げてみても、日本語の「おはよう」に対して、中国語では“早!”、英語では“Good morning”など、一見同じような意味の挨拶語は存在するものの、細かく観察すれば、これらの挨拶語の使用実態と意味がまったく同一ではないことが理解できる。その相違点は、それぞれの母語話者が有している思考と感覚の違い、さらに言えば言語的な成り立ちの違いに基づくものである。</p> <p>本授業では、こういった、いずれの言語にも存在する、似て異なる「ことば」の使用の実態を取り上げつつ、中国語の特徴について考えてみたい。</p> |       |        |          |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属       | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|----------|-----|----------------------|
| 50203           | A  | 記号論   | 郷原 佳以 | 言語情報科学専攻 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>記号論と現代思想</p> <p>言語学者フェルディナン・ド・ソシュールによって創始され、20世紀に展開された記号論の概要を理解できるようにする。構造主義から始まるフランス現代思想への入門にもなるようにする。</p> |       |       |          |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属       | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|----------|-----|----------------------|
| 50954           | A  | 翻訳論   | 小林 宜子 | 言語情報科学専攻 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史</p> <p>時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12世紀以降の8世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様子を詳細に観察し、分析します。</p> |       |       |          |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|--------|-----|-----|----------------------|
| 51340           | A  | 外国文学  | 諏訪部 浩一 | 文学部 | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>『緋文字』を読む</p> <p>19世紀アメリカを代表する作家ナサニエル・ホーソーン代表作『緋文字』を読む。作品を深く理解するように努めることはもちろんだが、その作業を通してアメリカ・ロマン主義文学全般について考えることも目標とする。</p> |       |        |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 51075           | A  | 現代哲学  | 高村 夏輝 | 哲学・科学史 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代の心の哲学について<br>科学の進歩に伴い、唯物論的世界観が多くの人に受け入れられるようになった。しかし、それでも心に関して私たちが持っている様々な直観は、いまでも唯物論的世界観にうまく収まらない。この問題にどう取り組み、どう解決すればよいのか。20世紀前半から現在までの主な哲学的議論を通覧し、その取り組みの妥当性を検討していく。 |       |       |        |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50717           | A   | 科学哲学  | 鈴木 貴之 | 哲学・科学史 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 科学哲学入門<br>いわゆる科学革命以降、近代科学はめざましい発展を遂げてきました。近代科学が短期間でこれだけの発展を遂げることができたのは、なぜでしょうか。科学的説明は、他の説明とどのように異なるのでしょうか。人文科学や社会科学も広義の科学の一部と言えるのでしょうか。科学に関するこのような理論的問題を考察するのが科学哲学です。この授業では、現代の科学哲学の主要問題を概観します。 |       |       |        |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|------|--------|-----|----------------------|
| 50955           | A   | 現代思想  | 星野 太 | 哲学・科学史 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 現代思想入門 (2001-2023)<br>これは、現代思想の入門講義である。<br>このシンプルな一文には、おそらく独特の曖昧さが含まれていると想像する。そして本講義は、ほかならぬこの事実から出発する。日本語で「現代思想」という言葉が発せられるとき、それは20世紀後半の日本で「現代思想」と称された哲学・思想と、21世紀が開けておおよそ20年が過ぎた——文字通りの意味での——「現代の」哲学・思想のいずれかを意味している。まずはそのあたりの経緯を振り返るところから、本講義を始めたいと思う。<br>より具体的には次のようになる。本講義では、21世紀になってそれなりに耳目を集めた「現代」思想の潮流を押さえることを、ひとまずの目的とする（詳細は「授業計画」を参照のこと）。同時に、それが20世紀後半の「現代思想」をどのように受け継いでいるか、ということにも話題を広げる。<br>教養科目であることに鑑みて、基本的には教員が解説をするかたちで進めるが、実際にその代表的な文献を読んでみる場面では、受講者に積極的な参加を求めることがある。 |       |      |        |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象          |
|-----------------|---|---------------|-------|--------|-----|-------------|
| 50688           | A   | 記号論理学 I (文科学) | 秋吉 亮太 | 哲学・科学史 | 水 5 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 論理学入門 (命題論理・述語論理)<br>現代論理学、とくに命題論理と述語論理を初歩から解説する。「すべて」や「ある」といった量子を取り扱う述語論理の意味論・証明論に慣れることを目指す。時間があれば言語哲学への応用や完全性定理を概観する。 |               |       |        |     |             |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名    | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------|-------|--------|-----|----------------------|
| 51076           | A   | 記号論理学 II | 秋吉 亮太 | 哲学・科学史 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 不完全性定理の数学的内容と哲学的含意<br>ゲーデルが1931年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義(無矛盾性プログラム)を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する(七、八回)。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺の話題を紹介したい。 |          |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属                  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|---------------------|-----|----------------------|
| 50469           | A  | 精神分析学   | 原 和之 | フランス<br>語・イタリ<br>ア語 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 思想史のなかの「精神分析」<br>十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。 |      |                     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|--------------|-----|----------------------|
| 50689           | A  | 表象文化論   | 清水 晶子 | 表象文化論<br>コース | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | セクシュアリティ論 (クィアスタディーズ)<br>セクシュアリティ論、とりわけ 1990 年代から 25 年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。<br>授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐる交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。<br>ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。<br>初回授業はオンラインになります。そのあとは対面ですが、グループワークの実施と報告にはおそらく Google Classroom を使います。 |       |              |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|--------------|-----|----------------------|
| 50289           | A  | 美術論  | 桑田 光平 | 表象文化論<br>コース | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | デザインを考える／デザインから考える<br>この授業では「デザイン」を単なる意匠や機能性としてではなく、近代における人間の生活様式的设计として考え直し、その視点から近代デザインの歴史を現在にいたるまで概観し、その上でデザインの観点から現代の諸問題について考察を試みる。 |       |              |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------|--------------|-----|----------------------|
| 51077           | A  | 音楽論  | 中井 悠 | 表象文化論<br>コース | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 偽西洋音楽史【標本集】<br>「音楽」(と一般的に呼ばれる営みと経験)には、一見すると他の種類の芸術と比べて特異な(存在論的)条件がふたつばかり付き纏っているように思われる。ひとつは、そのつどの演奏を超えた次元に物体として存在しないこと。もうひとつは、にもかかわらず、演奏を取り巻く諸々の物体(楽譜、楽器、映像、録音、レビューなど)が存在し、それらを使うことで「再演」を試みられること。このふたつの条件が組み合わさることによって、音楽の歴史はそのつどの現在における関心事を推し進めるために、そのつどの過去に存在したとされる(が不在の)音楽をでっちあげることによって、そのつどの未来を切り開いてきた創造的ないし暴力的な捏造行為の連なりとして辿ることができる。<br>この授業ではそのような観点から、主に西洋の音楽史を「偽音楽史」の集積として読解する。ただしこの読解自体が正史の装いを纏ってしまわないようにも、連続的な通史ではなく、あちこちの時代に散見される偽音楽史の事例を標本として集め、小咄として編纂し、キーノートを使用した学術的「紙芝居」のオムニバスとして語っていく。その過程で、偽とはなにか、嘘とはなにか、歴史とはなにか、といった問いをさまざまな角度から実践的にひねくりまわせるという。人工知能の広まりに伴う(歴史記述を含めた)創造行為の問い直しが頭の片隅にある。 |      |              |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員   | 所属        | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|--------|-----------|-----|----------------------|
| 51336           | A   | 社会正義論 | 高井 ゆと里 | 教養教育高度化機構 | 金 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>生殖＝再生産をめぐる倫理<br/>         生殖（reproduction：再生産）をめぐる倫理について講じる。ある社会や国家において、どのような人々がどのように生殖をなすか／なさないかは、国家や為政者にとっての関心の的であり、例えば日本では長く「少子高齢化」を「問題」事象として語る事が平常化している。この講義では、生殖にまつわる健康や権利の概念が重要性を持つに至った歴史的背景のみならず、様々な時代・地域で生殖にまつわる健康や権利を蹂躪されてきたマイノリティ集団の歴史に焦点を当てる。この授業を受けることで、生殖（する／しない）という実践がどのように政治化されてきたかを学ぶことができ、また、現代社会に残存する多様な社会的不正義について理解するための一つの視角を得ることができる。</p> |       |        |           |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属          | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------------|-----|----------------------|
| 50562           | A  | 比較文化論 | 今橋 映子 | 比較文学比較文化コース | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>「異文化体験を語る・書く」<br/>         「比較文化論」という学際研究の基本的概念の中に、「異文化理解」という問題がある。<br/>         「異文化」とは一体何なのだろうか。単なる「外国」ではなく、「自分」とは異なる「他者」に出会うこと、理解すること、相互に折り合うこと・・・これらは「教養」の根底の知性であり、態度決定である。<br/>         本授業では、教科書を出発点としながら、現代社会における「ダイバーシティ」問題をもっと切実に、自分の問題として考える契機としたい。外国体験、外国からの帰国体験、外国人との交流、外国語に苦労した経験、地方と都会の相違、多様な性の狭間にあること、聴者とうろろ者・・・等々、これまでに様々な「異文化体験」をした人、あるいはそういった問題に興味のある人たちが、その体験について「比較文化論」の基礎概念を学び、体得し、知的に語り、書くことができることを目指す。</p> |       |       |             |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員 | 所属          | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|------|-------------|-----|----------------------|
| 50563           | A   | 比較文学  | 石原 剛 | 比較文学比較文化コース | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>日米比較児童文学―マーク・トウェインを中心に<br/>         明治以降今日まで、日本人がいかなる紆余曲折を経ながらアメリカの国民的作家マーク・トウェインを受容してきたか検討します。特に、日本の文学的・文化的伝統や同時代の日本の社会状況を反映して創造された日本版のトウェイン作品を原作と比較検討していくことで、主に日本の児童文学・文化の功罪を明らかにしたいと思います。具体的には、山縣五十雄、巖谷小波、佐々木邦、鈴木三重吉、千葉省三、大佛次郎、大江健三郎といった文人たちへのトウェイン文学の波動を吟味します。英米文学に特に関心の無い受講生も、国境を越えた影響関係の検討を中心とする伝統的な比較文学研究のケース・スタディとして本講義を受講することも十分可能です。</p> |       |      |             |     |                      |

| 時間割コード        | 開講 | 授業科目名 | 担当教員   | 所属          | 曜限  | 対象                   |
|---------------|----|-------|--------|-------------|-----|----------------------|
| 50290         | A  | 比較思想  | 大石 紀一郎 | 比較文学比較文化コース | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| (Web UTAS 参照) |    |       |        |             |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属              | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----------------|-----|----------------------|
| 50440           | A   | 比較芸術  | 松井 裕美 | 比較文学比較文化<br>コース | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 近現代フランス美術入門—ジャンルの交差と越境<br>この授業では、近現代フランス美術史において、さまざまなジャンルがどのように交差してきたのかを学ぶことを目的とします。フランス美術の歴史を、様式の変遷や巨匠の列伝からのみ語るのではなく、諸ジャンルの絡み合いの中で作り上げられる軌跡として捉えることで、文化的諸事象や社会的な現象との相関関係の中で理解することを目指します。 |       |       |                 |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50666           | A  | 東洋思想史 | 水口 拓寿 | 国文・漢文学 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 倫理思想としての儒教<br>中国思想は東洋思想の重要な一部分であり、日本の文化・社会にも大きな影響を与えた。この科目では倫理という分野を軸に、中国思想史に関する入門的な講義を提供する。<br>歴史的に中国と呼ばれた地域の倫理思想は、儒教によって代表される。孔子が作り出し、孟子・荀子などが育てた儒教の倫理思想は、やがて歴代王朝の「国教」となり、現地の人間関係や社会秩序を二千年余りにわたって強く規定した。彼らは具体的に、どのような倫理を求めたのだろうか？ 人と人の正しい繋がりを、どうすれば実践できると考えたのだろうか？ そして何よりも、儒教の倫理思想は皆を幸せにしたと言えるのだろうか？<br>まずは、春秋時代に始まった儒教の倫理思想が、前漢・後漢でひとまずの完成に至るまで。次いで、南宋の朱熹（朱子）や明の王守仁（王陽明）による新たな展開。以上二つに重点を置き、その理論的な歩みと、それが社会にもたらした影響について理解しよう。論理が整わずに終わった部分や、負の遺産と呼ぶべき物事からも目をそらさず、中国で語られた倫理の思想を、様々な角度から冷静に見つめてほしい。 |       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50690           | A  | 西洋思想史 | 廣野 喜幸 | 哲学・科学史 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 概念史入門—比較思想の観点から<br>日本は思想的に二重構造をもつ。日本古来の伝統的な思想と、特に明治期以降に咀嚼してきた西洋由来のそれである。つまり、伝統的思想と西洋思想が私たちに大きく規定している。したがって、西洋思想史について基本的素養をもつことは、今を生きる私たちにとって大きな意味をもつ。とはいえ、西洋思想史は実に広大な対象をもち、その大枠を広く浅く学ぼうとすると、あまりにも浅くなり、断片的な知識の単なる集積に終わりがかねない。そこで、本講義では、まず、思想史学でも概念史に焦点を絞る。それも、私たちに規定する度合いが大きい「時間」「空間」「力」の3概念について、一定の深さの理解を得ることをめざす。また、概念はそれのみに焦点を合わせたのでは、その特徴の理解に至らない。西洋における時間概念の特異性を知るためには、他地域における時間概念と比較することが有用である。このため、比較概念史的アプローチについても紹介する。 |       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50291           | A  | 科学史   | 三村 太郎 | 哲学・科学史 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ギリシャ科学から近代科学まで<br>科学は不変の真理を扱った学問というイメージを抱くが、その一方で、科学は古代からの長い歴史を持っており、地域や時代によって様々な「科学」が営まれ、今日の科学が形成された。本講義を通じて、科学という営みを世界の歴史の視点から見るときっかけを与える。具体的には、古代から近代科学成立にいたるまで、科学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐまれてきたのかをたどる。 |       |       |        |     |                      |

## 総合科目 B (国際・地域)

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名 | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|--|----|-------|------|------|-----|----------------------|
| 50204  | A  | 国際関係論 | 吉本 郁 | 国際関係 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要<br>この講義では、国境を越えて国家や様々な集団・人がかかわりあうことで生じる現象を理解し、分析する際にその道具となる概念や理論を学ぶ。講師が自ら時事的な問題を論評したり、あるべきと考える政策を提言したりすることはないが、受講生にもしそのような関心がある場合でもその前提となるような視座を提供したい。 |    |       |      |      |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名 | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|---|----|-------|-------|------|-----|----------------------|
| 50292   | A  | 国際関係論 | 鶴見 太郎 | 国際関係 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要<br>国際社会におけるミクロとマクロ<br>国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。<br>※初回のみオンライン |    |       |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名 | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|---|----|-------|-------|------|-----|----------------------|
| 50293   | A  | 国際関係史 | 酒井 哲哉 | 国際関係 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要<br>国際関係史<br>幕末・維新时期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。 |    |       |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|--|----|---------|------|------|-----|----------------------|
| 50691  | A  | 現代国際社会論 | 佐藤 仁 | 国際関係 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要<br>開発協力のジレンマ<br>「SDGsの問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになってほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。<br>国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらが立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。 |    |         |      |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名   | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------|-------|------|-----|----------------------|
| 50957           | A  | 現代国際社会論 | 阪本 拓人 | 国際関係 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>現代アフリカの政治と国際関係</p> <p><b>【概要】</b><br/>現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。</p> <p><b>【目標】</b><br/>アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グローバル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。</p> |         |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|-------|------|-----|----------------------|
| 51023           | A   | 現代国際社会論 | 佐藤 俊輔 | 国際関係 | 金 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>国際秩序と地域秩序の変容</p> <p>現代の国際社会とはどのようなものだろうか。現代の国際関係は、過去の国際関係とは何が変わり、何が変わっていないのだろうか。このような問題関心から、本授業は「国際社会」という概念を手掛かりとして現代国際秩序の特質について概説する。</p> <p>そのために授業ではまず我々が日常的に使う「国際社会」とは一体何を意味しているかを考察することから始め、主権国家体制や国際社会の在り方の変化について、歴史的・理論的に理解する。その上で、現代の国際秩序について特にグローバル・ガバナンスという視座から、安全保障や経済、環境、人権などの各領域を取り上げて解説し、さらに地域統合により国際関係や国家の意味が大きく変化している欧州統合、EUの事例を取り上げる。これらを通し、現代国際社会について、その特質と課題を理解し、その行方について考える手がかりを得てもらうことがこの授業の目的である。</p> |         |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名  | 担当教員         | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------|--------------|--------------|-----|----------------------|
| 50863           | A  | 地域文化論Ⅱ | SMITH Rodney | 地域文化研究<br>専攻 | 木 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>AUSTRALIAN DEMOCRACY TODAY</p> <p>Understanding a country's politics can tell us a lot about its culture and identity. By the early 20th Century, Australia was known internationally as a modern democratic experiment. It was one of the first places in the world to give most men and women the vote and allow them to stand for parliament, to pay parliamentarians a salary, to elect a 'labour' government representing working people and to make voting compulsory. These experiments in democracy were limited by the exclusion of some people (particularly Indigenous people) and by some more conservative elements in the political system. One hundred years later, what does Australian democracy look like? Has Australian democracy adapted successfully to major changes in Australian identity, such as the shift to a multicultural population? Are Australian democratic institutions and processes able to address the great challenges of our time, such as climate change, socio-economic inequality, the Covid 19 pandemic, and technological change?</p> <p>This course provides a brief introduction to contemporary Australian democracy to help students answer these questions. Students will engage with key features of Australian democratic institutions and processes via lectures, class discussions and activities, audiovisual and digital materials, and introductory academic readings to provide varied exposure to Australian material. The focus will be on what is distinctive about Australian democracy. Wherever possible, the course coverage will be related to current events in Australian politics. The course will provide an English language teaching environment designed to encourage development of learning, reading and writing skills in English, as well as an experience of Australian educational styles.</p> <p>Students who complete this course should:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•have an introductory knowledge of key features of Australian democracy</li> <li>•understand how these features both reflect and create an Australian national identity</li> <li>•understand how political science approaches can contribute to Australian Studies</li> <li>•be able to undertake basic written and spoken political analysis in English.</li> </ul> |        |              |              |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|---|----|--------|-------|--------------|-----|----------------------|
| 50958   | A  | 地域文化論Ⅱ | 浜田 華練 | 地域文化研究<br>専攻 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>スラヴ・ユーラシア研究の地平<br/>この授業は、スラヴ・ユーラシア研究に関連する分野に携わる本学教員によるオムニバス授業です。毎回異なる教員がそれぞれのテーマで講義を行うことで、学生が各分野の最先端の研究成果の一端に触れるとともに、日本では触れる機会が少ない「スラヴ・ユーラシア」諸地域の政治・社会・歴史・文化を「広く深く」学ぶことを目標とします。<br/>「スラヴ・ユーラシア」は、かつて社会主義陣営に属していた中東欧・旧ソ連を包括する概念です。「スラヴ・ユーラシア」という語は、それを専門とする学問分野の外ではほとんど使われない上に、言語的・エスニシティ的な概念である「スラヴ」と地理的な概念である「ユーラシア」が並列しており、ごこちない印象を与えます。しかし、そのごこちなさが、地理的な境界、政治的な境界、言語・文化・エスニシティに基づく境界が複雑に入り組んでいるこの地域の内実をよく表しているともいえます。<br/>必ずしも実態を正確に反映しているとはいえないものの、「スラヴ・ユーラシア」という語が術語化された背景には、冷戦期に存在した明確な政治的・軍事的一体性ではなく、歴史的にこの地域に存在してきたつながりと多様性の両方に寄り添おうとする研究者たちの試行錯誤がありました。しかし、「一体性」を取り戻すという名目で始められたロシアによるウクライナ侵攻が続く今、「スラヴ・ユーラシア」という概念と、その概念を用いる意義についても見直しが迫られています。こうした状況をふまえて、学生の皆さんには、全講義を通じて、「スラヴ・ユーラシア研究の地平」の、広がりだけでなく、その果て（限界）とその先（可能性）をも見極める意気込みをもって授業に臨んでもらいたいと思います。</p> |    |        |       |              |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名  | 担当教員   | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|--|----|--------|--------|--------------|-----|----------------------|
| 51078  | A  | 地域文化論Ⅱ | 谷垣 真理子 | 地域文化研究<br>専攻 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>和解と協力から見たアジア共同体<br/>この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤をめぐる和解と協力について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それはどのようなもので、それがどのように想起されて継承され、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようなものであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。「和解」は1945年以前の過去の歴史を意識しており、「協力」は現在進行形のものを含めて、今後の展開を考察したたしたものが多い。<br/>そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした作業を通じて、過去と現在の対立や葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても、受講者は講師と議論してほしい。<br/>原則リレー講義である。第1回は谷垣と外村大が授業の進め方について説明する。<br/>毎回の授業のテーマは以下のとおりである。本授業は、谷垣のほか、外村大、三ツ井崇が協力教員である。ゲストスピーカーは現時点では日本国内が中心であるが、海外のスピーカーに登壇いただけるように粘り強く交渉中である。<br/>現在、決まっている地域は以下のとおりである。<br/>朝鮮半島、沖縄、東南アジア、中央アジア</p> |    |        |        |              |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|--|----|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50692  | A  | 比較地域史 | 杉山 清彦 | 歴史学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>中央ユーラシアから見た世界史<br/>近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。</p> |    |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名   | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------|------|--------|-----|----------------------|
| 50777           | A  | 日本文化論 I | 康 潤伊 | 国文・漢文学 | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>芥川賞選評から「日本文学」の枠組みを批判的に考察する</p> <p>この講義では、芥川賞の選評を批判的に検討したうえで、選評の対象となっているテキストの読解も一部行います。扱う小説テキストは、時代を戦後にしぼったうえで、従来の「日本文学」から逸脱するようなものという基準で選んでいます。受賞作だけではなく候補作（つまりは落選作）も扱います。</p> <p>日本で最も有名な文学賞である芥川賞は、選考委員の討議のもとに決定されます。選考会后、選評が発表されますが、そこには「日本文学とは何か」といった、委員たちの文学観がしばしばにじみ出ています。いくつかのテーマに沿って候補作・受賞作を読み比べることで、「日本文学」の境界線／輪郭線—つまり、何が「日本文学」の範疇に入るものとされ、何がされないのかを批判的に探っていきます。</p> <p>到達目標は、以下の通りです。</p> <p>(1) 文学作品の周辺情報から問題を発見し、文学テキストの鑑賞や読解に活かせるようになること。</p> <p>(2) 権威を相対化し、批判的に検討できる視点を養うこと。</p> |         |      |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象          |
|-----------------|---|-----------------|------|--------|-----|-------------|
| 50205           | A 1   | 日本語日本文学 I (理科生) | 田村 隆 | 国文・漢文学 | 月 5 | 1年 理科 2年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>紫式部と『源氏物語』</p> <p>本講義では紫式部と『源氏物語』、特に紫式部に焦点をあててその一生という立場から『源氏物語』を考える。</p> <p>第1週はオンライン授業のため、東大本『源氏物語』他の画像が検索できるオンライン研究ツール「デジタル源氏物語」を紹介し、理科系の皆さんの感想を尋ねたい。</p> <p>その後の対面授業においては、『紫式部日記』や『紫式部集』を手がかりに紫式部の人物像がうかがえる箇所を紹介し、それを通して『源氏物語』執筆がどのように位置づけられるのかをともに考えたい。</p> <p>「古典日本語」を学ぶテキストとして『源氏物語』を取り上げ、主に冒頭の桐壺巻を講読する。高校の教科書で学んだ場面もあると思うが、たとえば「いづれの御時にか」をどう訳すかという点のみならず、『源氏物語』はなぜこの表現で語り出されるのか、といった問題も含めてさまざまな角度から『源氏物語』のことばについて考えてゆきたい。『土佐日記』や『伊勢物語』などの先行諸作品との関係や、漢籍特に白楽天の『長恨歌』の影響についても古典日本語の観点から考察する。</p> <p>本講義では、2017年の7月から半世紀ぶりの改版が始まり昨年9月に完結した(全9冊)の岩波文庫をテキストに用い、桐壺巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。</p> |                 |      |        |     |             |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|------------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50959           | A  | 日本語日本文学 II | 木村 朗子 | 国文・漢文学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>『源氏物語』を読む</p> <p>『源氏物語』などの平安宮廷文学を読みながら、平安宮廷社会の政治的、文化的背景を理解する。</p> |            |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50206           | A   | 東洋古典学 | 高山 大毅 | 国文・漢文学 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>「古典」をどう読むか—近世日本の「古典」研究を中心に—</p> <p>「東洋古典」というと、まずは高校の「古典」の授業で習った古文・漢文のことを想起するのではなかろうか。この授業では、古文・漢文で書かれた著作（『論語』・『源氏物語』など）の解釈史を取り上げるので、このような「東洋古典」像は間違いではない。ただし、この授業では、高校の「古典」とは異なり、「古典」自体の内容よりは、「古典」と対峙した人々の知的営みを考えることに主眼を置く。かの孔子も『詩経』『書経』を解釈する「古典」学者という側面を有しており、東アジアにおける「古典」研究の歴史は実に長い。「古典」が難解であることは今に始まったことではなく、授業予定の各回の標題に挙げたような問題に古人も頭を悩ませ、様々な思索を深めてきた。江戸時代の学者（伊藤仁齋・荻生徂徠・本居宣長など）の著作を軸にして、「古典」研究の様々な側面を見ていくことで、「古典」をめぐる知の諸相に対して理解を深め、学術的な知見に基づき「古典」との付き合い方を自分なりに考えられるようになることを授業の目標とする。「古典」好きだけでなく、「古典なんて学んで何の意義があるのだろう」と思う人々の受講を歓迎する。</p> |       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員   | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|--------|--------|-----|----------------------|
| 50294           | A  | 東洋古典学  | 坂井 多穂子 | 国文・漢文学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 中国古典を楽しむ<br>漢文にまだあまり慣れていない受講生を対象とし、基本的に講義形式の授業をおこないますが、受講生に漢文を読んでもらう場合もあります。<br>歴代の象徴的な「奢侈」の逸話を漢文で読み、漢文読解に慣れてもらいます。また、王侯貴族や士大夫の「奢侈」を通して、その背景にある文化や社会構造に対する理解を深めます。 |        |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|------|-----|----------------------|
| 51341           | A  | 歴史社会論   | 守川 知子 | 教養学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 歴史の中のイスラーム社会<br>本講義では、イスラーム社会の歴史のかつ地域的な多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム社会」とは何かについて考える。現在、世界人口の2~3割を占める18-19億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であった。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっており、自然環境や文化伝統が各地によって異なることは言うまでもない。とりわけ、乾燥地帯が多くを占める西アジアの場合、イスラーム教が入ってくるよりも先に、サーサーン朝やビザンツ帝国といった強大な帝国および文化圏が存在しており、発祥まもない「イスラーム社会」もまた、これら既存社会に大きく依拠していた。このようなイスラーム社会の歴史的・地域的多様性を理解することを本講義の目標とする。 |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-----|-----|----------------------|
| 50295           | A  | 歴史社会論   | 舘 葉月 | 歴史学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 越境芸術家からたどるフランス移民史<br>19世紀後半よりフランスは移民受け入れ国となりました。労働移民だけでなく、ヨーロッパにおける文化的首都と目されたパリにはさまざまな外国人芸術家が移住するようになります。この授業では、彼らの移動の背景にある19世紀後半から20世紀半ばまでのフランス史・ヨーロッパ史の流れを念頭におきつつ、国境、「人種」、宗教、文化などの「境」を越えてフランスにおいてその芸術的才能を開花させた越境芸術家たちの軌跡を辿ります。そして、現代フランスを特徴づける移民現象を、社会史・文化史の観点から学び、フランスの多様性の一端を理解します。 |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|-------|-----|-----|----------------------|
| 50296           | A  | 歴史社会論   | 清水 克行 | 歴史学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | 日本中世（主に室町～戦国時代）を、社会を成り立たせていた習俗や慣行の役割に注目して考える。<br>現代社会とは異なる原理によって成り立っていた社会を見つめることで、「異文化」に対する理解を涵養する。また、併せて基本的な中世史料の読解力を養う。 |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|------|-----|-----|----------------------|
| 50693           | A   | 近現代史  | 栗原 康 | 歴史学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>日本アナキズム思想史<br/>政府がないと生きていけない？ 税金を払うのはあたりまえ？<br/>おまわりさんの言うことはききましょう？<br/>就職しないと生きていけない？ カネが人間の価値をきめる？<br/>会社の命令にはなんでも従いましょう？<br/>女が男に従うのはあたりまえ？ 家庭にはいつ、子どもを産むのが生産的？</p> <p>ぜんぶウソ。支配ありきの世界に中指をつきたてる。<br/>そんなアナキストたちの思想を紹介していきたい。</p> |       |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|------|-----|----------------------|
| 51342           | A   | 歴史と文化 | 佐川 英治 | 教養学部 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>中国古代史論<br/>文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。</p> |       |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50883           | A   | 歴史と文化 | 中西 啓太 | 歴史学 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>近現代日本と地域社会<br/>本講義では、戦前日本において「地域社会」が果たした役割や意義を検討し、理解を深める。<br/>まず、そもそも「地域社会」とはいったい何か・どのように捉えられるのか、研究史における視角を説明しつつ考える。<br/>そのうえで、近世までの村落共同体はどのような特徴を持って日本社会の中に位置づいていたのか、近代に入るとどのような影響を受け、変化していったのか、を前半では検討する。そうして変化していった「地域社会」は日本の資本主義経済化が進む中で、明治国家が統治を進め議会制度など政治が整備される中で、どのような役割を果たしたのか、都市化などの新しい変化からどのような影響を受けたのか、などを後半では検討する。「地域社会」と東京帝国大学との関係という点も取り上げたい。<br/>講義においては歴史史料を配布して解釈を意見しあうなど、議論も適宜行いたい。講義内容に対する歴史的な理解を深めるとともに、近代史料に慣れ親しみ、史料という根拠に基づく議論を展開する力を養うことも目指したい。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 50960           | A  | 世界史論  | 弘末 雅士 | 歴史学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>世界観の歴史学—広域世界と地元社会<br/>人が生活しながら様々な人々と交流するなかで、いかなる世界観や社会観を形成してきたかを検討する。前近代から近代に至る、広域世界と個別的な地域社会の形成の仕組みを探る。両者の形成に関わる存在に着目することを目的とする。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50297           | A   | 文化人類学Ⅰ | 里見 龍樹 | 文化人類学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>旅する哲学：現代人類学への招待</p> <p>東日本大震災から間もない2011年7月、若き人類学者は南太平洋でのフィールドワークに赴いた。岩を積み上げて人工の島を築く人々。海を隔てて届いた「ツナミ」。間近に迫った教会の祭典。村の隠された歴史と、一人の女性との出会い。そして、ある日の暴風によって一本の木が倒れたことをきっかけに、事態は思いもよらない方向に動き出す……（教科書『不穏な熱帯：人間〈以前〉と〈以後〉の人類学』のあらすじ）</p> <p>文化人類学は、人文・社会科学のどの分野にも劣らず、過去30～40年の間に激しい変貌を遂げてきた。グローバル化、ポストコロニアリズム、「文化を書く」、存在論的転回、マルチスピーシーズ民族誌といった呼び名は、文化人類学が経てきたような一連の変化を指すものである。本講義では、この分野の古典的理論を踏まえつつ、それらの現代的展開を幅広く扱うことで、研究対象やアプローチにおいて激しく変化しつつある現代の文化人類学を学んでもらう。現代の世界において「人間」とその「文化」について考えるとはどういうことか。講義を通してそのような問題について考えてもらいたい。</p> <p>なお、講義と並行したリーディング課題として、里見龍樹『不穏な熱帯：人間〈以前〉と〈以後〉の人類学』（河出書房新社、2022年）を読んでくるという課題を課すので、当該文献を必ず入手すること。</p> |        |       |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50961           | A   | 文化人類学Ⅱ | 土井 清美 | 文化人類学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>自然・身体・宗教の交点</p> <p>概要：</p> <p>文化人類学は、政治、宗教、科学技術、芸術、医療など広範にわたるテーマについて、世界のさまざまな場所でのフィールドワークを通して考える学問です。ことに最近の文化人類学は、研究対象の社会・文化現象の特徴を探究するだけでなく、思考の枠組みを開拓する学問となりつつあります。</p> <p>この授業では、辞書的・通俗的な意味とは異なる「自然」や「身体」や「宗教」と、それらが交わるところのものごと——たとえば巡礼やゲノム編集植物や呪術など——を素材に、人類学的な考え方の基本を学びます。</p> <p>目標：</p> <p>授業では、身近な話題から、知ることはないはずの生き方まで、幅広く取り上げます。それらを咀嚼する際の動揺——自分が揺さぶられること——を起点とした知の意義に気づくことを目標とします。</p> |        |       |       |     |                      |

## 総合科目 C (社会・制度)

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|--------|------|-----|----------------------|
| 50718           | A  | 法と社会   | 西土 彰一郎 | 法・政治 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>法理論の探究<br/>ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。</p> <p>理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺激的であるように考えられる。</p> |        |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------|------|-----|----------------------|
| 50695           | A  | 日本国憲法  | 山元 一 | 法・政治 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>日本国憲法<br/>日本国憲法について、その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ、その概要について講義を行う。</p> |      |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属        | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|-----------|-----|----------------------|
| 51337           | A  | ダイバーシティと法  | 谷口 洋幸 | 教養教育高度化機構 | 火 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>LGBTQ+と人権<br/>この講義のテーマは「LGBTQ+と人権」です。2013年に国連が「自由と平等キャンペーン」を立ち上げ、LGBTQ+に関する人権保障に向けた国際的な取り組みが本格化して約20年が経過しました。世界では同性同士で結婚して家庭を築いたり、自らの望む性別のあり方で平穏に生活でき国や地域が飛躍的に増えてきました。一方、同性を好きになることが死刑を含む刑罰の対象となったり、性別のあり方があいまいなだけで暴力や殺害の危険にさらされる国や地域もあります。</p> <p>この講義では国際人権法の視点を取り入れながら、日本や諸外国のLGBTQ+関連の法政策の現状を学びます。主にLGBTQ+に関連する法律や政策、判例などを読み解きながら、ジェンダーやセクシュアリティに敏感な人権保障のあり方を考えます。なお、時事問題等により授業計画には若干の変更が予想されます。ご了承の上、履修してください。</p> |       |           |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員     | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|----------|--------------|-----|----------------------|
| 50884           | A  | 比較社会論  | ハン トンヒョン | 社会・社会思想<br>史 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>現在、朝鮮半島に存在する2つの国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）と大韓民国（韓国）の成り立ちおよび現在の姿をとらえるうえで、日本という国の存在は欠かすことができない。本講義ではそれぞれの社会を、その境界的存在である在日コリアンを糸口に、相互の関係をふまえつつ理解することをめざす。具体的には「映画」を題材に、作品鑑賞とその歴史・社会的な背景・文脈に関する解説、検討を行うことで、この地域のそれぞれの社会を比較しつつ相対化するための道筋を、ともに考えていきたい。南北朝鮮について考えることは、日本について考えることだ。</p> |          |              |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員   | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|--------|------|-----|----------------------|
| 50719           | A  | 日本の政治   | 鹿毛 利枝子 | 法・政治 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。</p> |        |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員 | 所属           | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------------|------|--------------|-----|----------------------|
| 50180           | A   | ジェンダー論【社会科学】 | 野田 潤 | 社会・社会<br>思想史 | 月 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>社会学的視点で考えるジェンダー問題</p> <p>性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。</p> <p>受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。</p> <p>またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。</p> <p>さらには上記のプロセスを通じて、社会的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。</p> |              |      |              |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51338           | A   | 現代と政治 | 谷口 将紀 | 法学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>現代と政治</p> <p>政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、法学政治学研究科・法学部の教員のうち13名が、1人1コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。</p> <p>政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2年生も歓迎しますが1年生を念頭に置いて進めます。</p> <p>講義担当者は、必ずしも専門科目の枠にはとらわれず、自由に講義をする予定です。詳細はITC-LMSで知らせます。第1回についてはITC-LMSの「オンライン授業情報」に書き込みます。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50962           | A  | 政治経済学 | 丸川 知雄 | 経済・統計 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>歴史観(マクロ・ヒストリー)の探求</p> <p>人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観(マクロ・ヒストリー)を紹介し、その妥当性を検討します。</p> <p>マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。</p> <p>マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。</p> <p>また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。</p> <p>こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。</p> <p>大学受験のために多くの人が世界史、日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。</p> |       |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名  | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50696           | A  | 計量社会科学 | 石田 賢示 | 経済・統計 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>社会調査研究の考え方と実際</p> <p>こんにち、さまざまな場で「データ」にもとづく議論、意思決定の重要性が認識されるようになってきている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが、その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では、(1)「社会調査」がどのようなものか、(2)社会調査を実施するためには何をしなければ(しては)ならないか、(3)社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか、(4)得られたデータをどのように整理するか、(5)社会調査を実践する上での倫理的問題、などを取り上げる。以上の点について理解し、自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが、本授業の目的である。</p> |        |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員   | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|--------|-------|-----|----------------------|
| 50697           | A  | 経済政策  | 安部 竜一郎 | 経済・統計 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>経済政策を問い直す</p> <p>経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なものか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。</p> |       |        |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員   | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|--------|--------|-----|----------------------|
| 50698           | A   | 現代教育論 | 佐々木 英和 | 心理・教育学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>教育・学校心理学</p> <p>誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教養育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師-児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。</p> <p>上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直するとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。</p> <p>第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。</p> <p>第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学の知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える-教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。</p> <p>第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらおう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。</p> |       |        |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50963           | A   | 教育臨床心理学 | 石垣 琢磨 | 心理・教育学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>臨床心理学概論</p> <p>臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。</p> <p>今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。</p> |         |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名   | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------|-------|--------|-----|----------------------|
| 51079           | A  | 教育臨床心理学 | 前田 基成 | 心理・教育学 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>臨床心理学概論</p> <p>近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。</p> |         |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員   | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|--------|--------|-----|----------------------|
| 51353           | A 1   | 高等教育論入門 | 両角 亜希子 | 教育学研究科 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>高等教育論入門</p> <p>この授業は、自身の経験を超越して大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。</p> |         |        |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名      | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|--|------------|-------|------|-----|----------|
| 51351           | A  | 教育実践・政策学入門 | 橋野 晶寛 | 教育学部 | 月 4 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>教育実践・政策学入門<br/>(授業の目標)</p> <p>この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。</p> <p>(授業の概要)</p> <p>教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践・政策学コースの教員 12 名が各回を担当し、学校教育、教育行政、社会教育・生涯学習、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。</p> |            |       |      |     |          |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名      | 担当教員                                       | 所属   | 曜限  | 対象       |
|---|----|------------|--|------|-----|----------|
| 51352   | A  | 教育学のフロンティア | 山名 淳、小国 喜弘、小<br>玉 重夫、片山 勝茂、大<br>塚 類、隠岐 さや香 | 教育学部 | 金 5 | 1年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。</p> <p>本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、歴史学、人間学、臨床学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。</p> |    |            |  |      |     |          |

## 総合科目 D (人間・環境)

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象       |
|-----------------|----|---|-------|----|-----|----------|
| 50298           | A  | 環境物質科学  | 佐藤 守俊 | 化学 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>物質循環と環境化学<br/>環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。</p> <p>本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO<sub>2</sub>による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。</p> |       |    |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員       | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------------|----|-----|----------------------|
| 50299           | A  | 生態学  | 池田 啓、嶋田 正和 | 生物 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>生態学<br/>生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで、自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。</p> <p>生物の生活史や行動といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用、生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。前半6回は動物を中心とした視点から、後半6回は植物を中心とした視点から、授業計画にあげる内容を解説する。</p> |            |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|------|-------|-----|----------------------|
| 50778           | A  | 社会環境論   | 梶田 真 | 人文地理学 | 木 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>地域開発と地域の動態<br/>地域的不均衡発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一律の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すこととなります。このような中で、中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。</p> |      |       |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|------|-------|-----|----------------------|
| 50207           | A  | 社会生態学  | 小泉 諒 | 人文地理学 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>都市空間と社会の地理学<br/>本講義では、都市空間と社会への地理学からアプローチを学ぶことで、都市や社会を空間的にみることができるようになることを目指します。講義では、現代社会における諸問題を、人文地理学の視点から扱っていきます。物事の結びつきについて様々な空間スケールを意識して検討し、それらがどのように場所と結びついているのかを考えてもらいたいと思います。</p> |      |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50144           | A  | 地域生態学 | 鎌倉 夏来 | 人文地理学 | 月 3 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 産業立地と都市空間の変化<br>・この授業では、(1) 産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、(2) 産業立地政策の歴史的展開、(3) 産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。<br>・初回を除く毎回の授業開始前の 15 分間を、前回の講義の内容に関する質疑応答の時間とします。 |       |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50699           | A  | 地域生態学 | 丹羽 雄一 | 人文地理学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 地球環境・自然災害の地理学的解析<br>湿潤変動帯に位置する日本では、地震や水害や火山災害など各種自然災害にたびたび見舞われてきた。<br>大規模自然災害が頻発する現代社会において、災害を引き起こす自然現象の実態や発生要因をとらえることが、第一に重要である。さらに、災害の起こりやすい自然のおよび社会的要因やそれらの地域性を把握することも防災や減災において重要である。<br>本講義では、大規模災害を引き起こす自然現象の中でも地震、河川作用や火山活動を取り上げ、それらの発生要因や地域性、および防災や減災に向けた地理学的検討などを概説する。また、これら自然現象を取り上げる際に重要な最近数千年～数 100 万年間に生じた地球環境変動も概説する。<br>講義においては、諸自然現象を様々な時空間スケールで捉えることを重視する。 |       |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員   | 所属     | 曜限  | 対象          |
|-----------------|---|---------------|--------|--------|-----|-------------|
| 50779           | A   | 人間行動基礎論 (理科生) | 大久保 街亜 | 心理・教育学 | 木 2 | 1年 理科 2年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 心理学概論<br>「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性について講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性について、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か?」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。 |               |        |        |     |             |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名         | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象          |
|-----------------|--|---------------|-------|--------|-----|-------------|
| 50885           | A  | 人間行動基礎論 (理科生) | 今井 久登 | 心理・教育学 | 木 5 | 1年 理科 2年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 心理学概論<br>心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。<br>本講義では、出発点として「コミュニケーションの機能不全(うまくいかなかった)」事態を想定し「ど」のような対応かありうるのか」という問題を經由しつつ、最終的に「心」か何なのかということについて各自かなんらかの答えにたどり着くことを目指して、人の心の理解のために現在までに蓄積されてきた心理学の知見をたどるという方略をとる。<br>具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」などの視点を持ちながら、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学の成り立ちにも触れる予定である。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。<br>半期の講義が終わった後に、受講者が人間理解の各自の地平をそれぞれのやり方で拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点をういたり、心理学の知見を援用してみたりといったことができるようになることが最終目標である。<br>心との付き合い方を考えながら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。 |               |       |        |     |             |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50720           | A   | 情報認知科学 | 岡田 浩之 | 心理・教育学 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>知覚・認知心理学<br/>記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。<br/>人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能(機械の知性)との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。</p> |        |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50086           | A   | 認知脳科学 | 石金 浩史 | 心理・教育学 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>神経・生理心理学<br/>&lt;目標&gt;<br/>・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。<br/>・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。<br/>・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。<br/>・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。<br/>・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に活用できる。<br/>&lt;概要&gt;<br/>本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。</p> |       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員 | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|------|--------|-----|----------------------|
| 50667           | A  | 認知脳科学 | 幕内 充 | 心理・教育学 | 水 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>認知脳科学<br/>ヒトという生物が高度な文明を築くことが出来たのは言語・数学・描画を始めとする記号操作能力を核とする高度な認知機能によるものである。この認知能力を、それを可能にする器官である脳の機能とともに理解する。また、ヒト特有の認知が脳の器質的損傷によって損なわれた状態である高次脳機能障害についても論じる。</p> |       |      |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50442           | A  | 適応行動論 | 齋藤 慈子 | 心理・教育学 | 火 4 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>ヒトの心と行動を進化から考える</p> <p>ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では、前半で進化とは何か、進化と心がどのように関係しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行う。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行う。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行う。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行う。</p> <p>一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得することが期待される。具体的な到達目標は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進化生物学の概要を理解する。</li> <li>・進化という視点から、ヒトの心の働きを理解する。</li> <li>・人間社会における諸問題について、進化心理学的観点から考察する力を身につける。</li> </ul> |       |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50564           | A   | 社会行動論 | 北村 英哉 | 心理・教育学 | 水 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>社会・集団・家族心理学</p> <p>本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。</p> <p>人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけでなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方の特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。</p> <p>心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。</p> <p>世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っている。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新して欲しい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。</p> |       |       |        |     |                      |

## スポーツ・身体運動実習

| スポーツ・身体運動実習   | 開講区分 | A |
|---|------|---|
| <p>授業の目標・概要</p> <p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.身体および身体運動に関する知識を習得する。</li> <li>2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。</li> <li>3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。</li> <li>4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。</li> </ol> <p>授業計画</p> <p>第1回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する）</p> <p>第2回から第13回 選択した種目での対面授業</p> <p>天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9号館前の掲示板や ITC-LMS のお知らせをよく確認すること。</p> <p>以上の授業計画が変更となる場合は ITC-LMS を使って連絡する。</p> <p>&lt;90分×13回の授業により不足する授業時間の補填&gt;</p> <p>授業の前後に各10分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。</p> <p>授業の方法</p> <p>第1回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。</p> <p>基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。</p> <p>ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。</p> <p>成績評価方法</p> <p>出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。</p> <p>達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。</p> <p>その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。</p> <p>教科書</p> <p>履修上の注意</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、雨天時の講義など実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。</p> <p>種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。</p> <p>同一セメスターに2コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は1コマ目の登録者が優先的に履修できる。</p> <p>同一セメスターに3コマ以上登録することは認めない。</p> <p>必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。</p> <p>更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。</p> <p>体育館は土足、飲食禁止である。</p> <p>盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。</p> <p>障害保険に加入することが望ましい。</p> <p>後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。</p> <p>種目担当教員のメールアドレスは ITC-LMS のお知らせに掲載予定である。</p> <p>関連ホームページ</p> <p><a href="https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html">https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</a></p> |      |   |
| ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること  |      |   |

| 時間割<br>コード | 曜限  | 授業科目名       | 担当教員 | 対象クラス    |
|------------|-----|-------------|------|----------|
| 50145      | 月 3 | スポーツ・身体運動実習 | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50300      | 火 2 | スポーツ・身体運動実習 | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50565      | 水 2 | スポーツ・身体運動実習 | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50964      | 金 2 | スポーツ・身体運動実習 | 実技担当 | 2年 文科 理科 |

## スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア)

| スポーツ・身体運動実習 (メディカルケア)            |  | 開講区分 | A |
|----------------------------------|--|------|---|
| 授業の目標・概要                         | 週1回の授業を通じて<br>1.身体および身体運動に関する知識を習得する。<br>2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。<br>3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。<br>4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。  |      |   |
| 授業計画                             | 第1回 種目選択 (対面で実施予定: 集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する)<br>月3、火2、水2、金2のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない(できなかった)場合は担当教員にメールで連絡する。<br>第2回以降 各自の選択した曜限での授業(原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある)<br><90分×13回の授業により不足する授業時間の補填><br>授業の前後に各10分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。   |      |   |
| 授業の方法                            | 各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。<br>毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。   |      |   |
| 成績評価方法                           | 出席: 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。<br>達成度: 各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。<br>レポート: 実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。<br>その他: 態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。  |      |   |
| 教科書<br>履修上の注意                    | 教科書は使用しない。/Will not use textbook<br>基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。<br>実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。<br>必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。<br>更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。<br>体育館は土足、飲食禁止である。 |      |   |
| 学習上のアドバイス                        | 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。<br>障害保険に加入することが望ましい。  |      |   |
| 関連ホームページ                         | 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。<br><a href="https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html">https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html</a>  |      |   |
| ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること |  |      |   |

| 時間割<br>コード | 曜限  | 授業科目名                  | 担当教員 | 対象クラス    |
|------------|-----|------------------------|------|----------|
| 50032      | 月 1 | スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3) | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50208      | 月 5 | スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 1) | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50241      | 火 1 | スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3) | 実技担当 | 2年 文科 理科 |
| 50500      | 水 1 | スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 2) | 実技担当 | 2年 文科 理科 |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名        | 担当教員  | 所属        | 曜限 | 対象       |
|-----------------|---|--------------|-------|-----------|----|----------|
| 51123           | A   | スポーツ・身体運動実習Ⅱ | 吉岡 伸輔 | スポーツ・身体運動 | 集中 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>スキー・スノーボード実習</p> <p>スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、生涯スポーツとしての知識・技能の獲得を目指す。</p> <p>実習のための交通、宿泊、傷害保険、リフト代、予防接種/PCR検査等の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。</p> <p>受講要件もあるため、受講を検討する者は下記リンク先の「オンラインガイダンスおよび受講要件」を必ず読むこと。詳細は10/10開催のオンラインガイダンスで説明する。<br/> <a href="https://docs.google.com/document/d/1N3zpkCWjExD0WXoI9hI7chyjgQ8I7QA5/edit?usp=drive_link&amp;ouid=117436257426015575532&amp;rtpof=true&amp;sd=true">https://docs.google.com/document/d/1N3zpkCWjExD0WXoI9hI7chyjgQ8I7QA5/edit?usp=drive_link&amp;ouid=117436257426015575532&amp;rtpof=true&amp;sd=true</a></p> <p>1年生のみ履修可能。<br/> 募集定員(予定): スキー25名、スノーボード25名<br/> (希望者多数の場合は抽選、<br/> スキーはスキーの未経験者～初級者を、<br/> スノーボードはスノーボードの未経験者～初級者を優先)<br/> ※A セメスター第1週目にオンラインガイダンスを開催する。<br/> 内容: 授業概要、感染症対応、費用、受講手続き等について<br/> 日時: 10/10(火) ①12:30~12:50 ②18:40~19:00<br/> (①と②は同内容。いずれか一方に参加すること)</p> |              |       |           |    |          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名  | 担当教員   | 所属        | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|--------|-----------|-----|----------------------|
| 50501           | A   | 身体運動科学 | 久保 啓太郎 | スポーツ・身体運動 | 水 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学</p> <p>運動(トレーニング)を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動(トレーニング)に伴う身体諸機能(筋機能、骨強度、呼吸循環など)の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。</p> |        |        |           |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名    | 担当教員  | 所属        | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------|-------|-----------|-----|----------------------|
| 50087           | A   | 健康スポーツ医学 | 福井 尚志 | スポーツ・身体運動 | 月 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>健康スポーツ医学</p> <p>現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。</p> |          |       |           |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名  | 担当教員   | 所属            | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|--------|--------|---------------|-----|----------------------|
| 50925      | A   | 身体生命科学 | 佐々木 一茂 | スポーツ・<br>身体運動 | 金 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 身体づくりの科学  |        |        |               |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。</p> <p>そこで本講では、前半は筋(骨格筋)、後半は脂肪(体脂肪)に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。</p> |        |        |               |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属            | 曜限  | 対象                   |
|------------|--|-----------|-------|---------------|-----|----------------------|
| 50209      | A  | 情報メディア表現論 | 酒井 慎一 | 情報メディア<br>委員会 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 人々の行動に結びつく情報伝達／Communication of information to make people disaster prevention   |           |       |               |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>情報メディアは、情報にかかわる多くの分野にまたがる学際的な分野である。ここでは、情報を作り送り出す側と情報を受け取る側とのコミュニケーションの場やその手段を、情報メディアと呼ぶことにする。この「情報メディア表現論」では、情報をどうやって得るのか、どんな方法で伝達するのか、そのデータをどう解析処理するのか、といった理工学的な研究、および、その結果をどのように可視化するのか、何を見せたら人々に伝わるのか、どんな表現が人々の行動に結びつくのか、その結果、社会がどう変わっていくのか、といった人文社会学的な研究の両方を対象とする。今回は、我々の生存に直結する災害情報(地震発生と火山噴火)を主な題材として、自然災害に直面した時に生じる情報メディアの課題を考えていく。</p> |           |       |               |     |                      |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属     | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|-----------|-------|--------|-----|----------------------|
| 50886      | A   | 科学技術基礎論 I | 工藤 怜之 | 哲学・科学史 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 人工物の哲学  |           |       |        |     |                      |
| 授業の目標概要    | <p>人工物をめぐる哲学上の議論について学ぶ。特に、大きく分けて2つのトピックを取り上げる。1つ目に、人工物とはどのような存在なのか。例えば、鉄やトラといった分類は、自然界の秩序に従って、共通の性質を持ったものを切り出しているようにも思われるが、イスのような人工物の分類もそれと同じなのか、異なるのか。2つ目に、人工物は善悪(など)の価値を持つのか。例えば、銃や核兵器は、それ自体が悪しき存在と言いうるのか、それとも、それ自体に価値はなく、人間による使用だけが善悪の価値を帰属されるのだろうか。こういった問題に関する現代の哲学者の議論をいくつか紹介し、検討する。</p> <p>授業では、主として、具体的な哲学論文の内容を解説する予定である。これを通じて、哲学における議論がどのように進められるのかを学び、議論を行うのに必要な姿勢を身につけることを目標とする。これは同時に、哲学のテキストを読解するのに必要な姿勢を身につけることでもある。より具体的には、言葉の使い方や議論の論証構造に注意深くなることなどを目指す。哲学における基本概念については必要に応じて説明を行うため、それらについての知識は得られるだろうが、上の「講義題目」で提示したような問いへの明確な「正解」が知識として与えられるわけではない。</p> |           |       |        |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講 | 授業科目名   | 担当教員   | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|--|----|---------|--------|-------|-----|----------------------|
| 50302  | A  | 科学技術社会論 | 福本 江利子 | 情報・図形 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目 科学技術社会論入門</p> <p>授業の目標概要 <b>【授業の目標】</b><br/>科学技術社会論 (Science, Technology, &amp; Society) の学術的な基礎や事例に触れ、科学技術と社会の間で生じる諸課題について、自身で考えてみる。</p> <p><b>【授業の概要】</b><br/>現代社会には科学技術を抜きには考えられない課題群がある一方で、科学や技術の知だけでも解決できない社会の諸側面の課題が多くある。そうした課題は、環境問題、医療、災害、格差や差別、デュアルユース、新型コロナウイルスの流行など、さまざまな場面で立ち現れる。</p> <p>科学技術社会論は、科学や技術と社会との界面において生じる事象や問題を、社会学、文化人類学、歴史学、哲学、政治学、経済学および科学計量学、科学技術政策論などのアプローチを用いて探求する分野である。科学技術社会論の扱う課題群には、必ずしも答えがないけれども現実的に対処しなければならないものが多くある。なかには、時間やコストの制約によって課題解決や意思決定のために適切な専門知を得ることが難しい場合や、専門知をふまえたうえでの社会的判断に論争がある場合もある。議論や対話を続けること自体に意義があるもの、さらには問いの枠組みや前提自体を問う必要のあるものもある。また、近年では、SNSの普及のように過去にはなかった要素も出現している。</p> <p>本科目では、科学技術社会論におけるさまざまな事例を通して、科学的合理性と社会的合理性、「固い」科学観や作動中の科学、科学者の社会的責任、科学的助言、科学と社会、信頼、科学コミュニケーション、法と科学、事前警戒原則などのテーマを扱う。授業の中で、科学技術社会論のもの見方に触れ、物事を所与のものとして、健全な懐疑や多角的視点をもって自身で考えてみることを期待される。</p> |    |         |        |       |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名  | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---|----|--------|--|-----|-----|----------------------|
| 51332   | A  | 現代工学概論 | 川中 孝章、吉田 英弘、<br>鶴岡 慶雅、山本 晃生、<br>横関 智弘、岡本 晃充、<br>廣井 悠 | 工学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目 工学概論</p> <p>授業の目標概要 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。</p> <p>本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ2回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全13回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。</p> |    |        |  |     |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名    | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---|----|----------|------|-----|-----|----------------------|
| 51316   | A  | 現代工学基礎 I | 泉 聡志 | 工学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目 四力学とデザイン入門～デザイン×キカイ</p> <p>授業の目標概要 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学 (ヨンリキガク) は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この2つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。</p> <p>講義は「デザイン」の観点から機械工学科で教育・研究されている様々なトピックスを学ぶ。四力学の材料力学 (ザイリキ)・熱力学 (ネツリキ)・流体力学 (リュウリキ)・機械力学 (キリキ)、ロボティクス、モビリティ、レーザ、ヒト、カンセイ、プロセスなどをキーワードに</p> <p>また、新規事業創出の考え方の概略を学び、自分の中のモヤモヤをアイデアに変えていくワークショップを行う。具体的には、「アナロジー思考」によるアイデア発想方法や「リーン・スタートアップ」によるアイデアの磨き方を実践的に学ぶ。</p> |    |          |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード  | 開講 | 授業科目名    | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---|----|----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51322   | A  | 現代工学基礎 I | 川嶋 健嗣 | 工学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-<br/>物理的、人工的、社会的、どんな対象であれ、そこに望みの機能を工学的に実現する際、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析、</li> <li>2) 計測による物理現象の本質の情報化、</li> <li>3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現</li> <li>4) 情報の認識と実世界の理解、</li> </ol> <p>が重要となる。本講義は、駒場生にこの工学的的方法論のエッセンスを講義することを目的とする。具体的には、以下の各項目に関し、最先端の事例を交えつつ講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「物理情報システム」<br/>物理系を用いたコンピューティング<br/>近年の人工知能(AI)の進歩に見られる社会の一層の情報化は、情報通信やコンピューティングの物量を劇的に増大させ、従来技術の限界を克服に向け、新たな形で物理を活用するコンピューティングの創出が期待されている。大学初年次までに学ぶ数学や物理学とコンピューティングの先端研究の密接な関わりを、具体例とともに学修する。</li> <li>2) 「計算機の基礎」<br/>Society 5.0 を支える計算機科学<br/>高度情報化の進展する昨今の社会では、物理世界と情報世界を橋渡しする高品質な計算機の存在は必要不可欠となっている。一言で高品質といっても、性能や応答性、消費電力・信頼性など様々なトレードオフ関係がある。計算機の三大要素である「CPU」「オペレーティングシステム」「プログラミング言語」を中心として、計算機科学の基礎を概説する。近年の潮流であるドメイン固有設計の考え方を交えながら、最適な計算機の構成方法について学修する。</li> <li>3) 「制御の基礎」<br/>動きを設計する制御工学<br/>対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御工学は、機械、電気、情報通信、生物などへ応用可能な横断的学問である。本講義では、力学系、電気回路やロボットなどの物理システムを例として、制御において重要となるモデル化、システムの応答、およびフィードバック制御の基礎について説明する。</li> </ol> |    |          |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード   | 開講  | 授業科目名     | 担当教員 | 所属  | 曜限          | 対象                   |
|--|-----|-----------|------|-----|-------------|----------------------|
| 60214  | A 2 | 現代工学基礎 II | 梅田 靖 | 工学部 | 火 2,<br>金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| <p>講義題目<br/>授業の目標概要</p> <p>デザイン思考によるイノベーション入門<br/>イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている4つの思考法(本講義では、「イノベーションのための4つの道具」と呼ぶ)を学ぶ。4つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この4つの道具は、2つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。</p> <p>本講義のメッセージは、この4つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの4つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。</p> <p>手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。</p> <p>演習課題は、2015年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」、2020年度は「コロナ禍の中で、寂しい一人暮らしの学生が救われる方法」、2021年度は「ポストコロナにおける私の明るい生活を実現するための方法」、2022年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」であった。今年は何が出てくるか？</p> |     |           |      |     |             |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51321           | A   | 現代工学基礎Ⅱ | 沙川 貴大 | 工学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>物理学をエンジニアリング</p> <p>物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理学を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ナノサイエンス - オングストロームの世界を操る</li> <li>2. 超伝導 - 量子の世界からエネルギー革命へ</li> <li>3. 光の物理学 - 光と原子の物理学—レーザーで原子を冷やす</li> <li>4. 理論物理学の挑戦 - 基礎方程式の力</li> </ol> |         |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名       | 担当教員        | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|-------------|-----|-----|----------------------|
| 51333           | A   | 社会システム工学基礎Ⅱ | 羽藤 英二、柴崎 隆一 | 工学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>人間社会と交通システム</p> <p>交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。</p> |             |             |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名       | 担当教員        | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------------|-------------|-----|-----|----------------------|
| 51315           | A  | 社会システム工学基礎Ⅱ | 小泉 秀樹、中島 直人 | 工学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>TOKYO: 東京の都市計画</p> <p>さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO/東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。</p> |             |             |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51330           | A   | 総合工学基礎Ⅱ | 石川 顕一 | 工学部 | 火 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>核科学応用概論</p> <p>現代の科学技術を支える基盤として、原子核、放射線、光の科学が欠かせません。本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを活用したシステムの代表例である原子力、核融合、医療機械について解説します。2050年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、これらの技術が世界的に注目されています。さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。</p> |         |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名   | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|------|-----|-----|----------------------|
| 51318           | A   | 総合工学基礎Ⅱ | 寺本 進 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学—</p> <p>"重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた"統合"が要求されます。</p> <p>ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる"再利用型スペースプレーン"や"小型衛星"、"惑星探査機"、"超安全航空機"、"高信頼性ロケット"など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。</p> <p>この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。</p> <p>この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。</p> |         |      |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名    | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51319           | A   | 生体医工学基礎Ⅱ | 神保 泰彦 | 工学部 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>生体医工学の世界—工学から見た生体物理現象と医療応用技術—</p> <p>周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。</p> |          |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名        | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|--------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51334           | A  | 環境・エネルギー工学概論 | 村上 進亮 | 工学部 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering</p> <p>本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること</li> <li>・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること</li> <li>・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること</li> <li>・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること</li> </ul> |              |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------------|------|-----|-----|----------------------|
| 51329           | A   | 環境・エネルギー工学基礎Ⅱ | 松島 潤 | 工学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>エネルギー資源論</p> <p>本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。</p> |               |      |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名         | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|---------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51328   | A  | 環境・エネルギー工学基礎Ⅱ | 多部田 茂 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～   |               |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。</p> <p>例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国のEEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によってCO2の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。</p> <p>この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。</p> |               |       |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名  | 担当教員                         | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|--------|------------------------------|-----|-----|----------------------|
| 51339   | A   | 看護学概論Ⅱ | 仲上 豪二郎、麦田 裕子、<br>高橋 聡明、阿部 麻里 | 医学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 看護学概論Ⅱー社会で活躍する看護プロフェッショナルー  |        |                              |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。</p> <p>本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。</p> |        |                              |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|---------|---|-------|-------|-----|-----|----------------------|
| 60215   | A 2   | 食糧と環境 | 根本 圭介 | 農学部 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 農業生産学概論   |       |       |     |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的な問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、1) 世界の農業システムはいかなる座標軸（生産方法や営農形態）の上で多様化してきたか、2) そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、3) 食料供給網（フードサプライチェーン）の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味やアフリカ農業の発展方向について考えてみたい。</p> |       |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員           | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|---------|----------------|-----|-----|----------------------|
| 51345           | A   | 放射線環境科学 | 田野井 慶太郎、小林 奈通子 | 農学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ</p> <p>2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人々間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。</p> |         |                |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名    | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象       |
|-----------------|---|----------|-------|------|-----|----------|
| 51350           | A   | 教育心理学の世界 | 清河 幸子 | 教育学部 | 木 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>教育心理学の世界</p> <p>教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることが目的としている。</p> |          |       |      |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属            | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|-------|---------------|-----|----------------------|
| 50301           | A  | 情報メディア伝達論 | 永石 尚也 | 情報メディア<br>委員会 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>情報メディア伝達論——メディアとしてのデジタル・プラットフォーム、その市場・法の秩序形成</p> <p>本講義では、下記の能力を取得することを目標とする。</p> <p>(1)現代社会の情報伝達過程において大きな位置を占める各種デジタル・プラットフォームの機能を正確に把握する能力、及び、</p> <p>(2)プラットフォーム類型ごとにそれぞれが抱える【A. 法的課題と（法）規制の現状】を踏まえた、【B.（自主規制的／共同規制的／国家規制的……）各種の取り組みの評価】と【C. 今後の展望／評価】について、法的観点から分析する能力。</p> <p>※なお法学に関する前提知識は要さない。ただし、不明箇所については折に触れて調べるとともに、事後に改めて的確に検索することができるように知識を保持しておくことのみ求める。</p> <p>※ 随時、情報法・情報政策の動向についてのレクチャー（ゲスト講師含む。）を行なう予定である。</p> |           |       |               |     |                      |

## 総合科目 E (物質・生命)

| 振動・波動論  |     | 開講区分  | A                      |
|---|-----|-------|------------------------|
| <p>授業の目標・概要</p> <p>音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。</p> <p>音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。</p> <p>たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど、また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。</p> <p>このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。</p> <p>その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。</p> <p>主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>序論</li> <li>1 自由度系の振動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単振動</li> <li>・減衰振動</li> <li>・強制振動、共鳴、Q 値</li> <li>*パラメーター励振</li> <li>*簡単な非線形振動</li> </ul> </li> <li>連成振動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 自由度系</li> <li>・基準振動、うなり</li> <li>・N 自由度系</li> </ul> </li> <li>1 次元の波動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・弦、弾性体、気柱</li> <li>・縦波と横波</li> <li>・波動方程式</li> <li>・反射と透過</li> <li>*波のエネルギー</li> <li>*インピーダンス</li> </ul> </li> <li>フーリエ級数、変換の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方、基本事項、線形性</li> <li>・波束</li> <li>・位相速度と群速度</li> <li>*不確定性関係</li> <li>*6.2, 3 次元の波 <ul style="list-style-type: none"> <li>*波動方程式</li> <li>*平面波</li> <li>*球面波</li> <li>*水の表面波</li> <li>*反射と屈折</li> <li>*干渉、回折</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> <p>成績評価方法<br/>教科書</p> <p>主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること<br/>その他。/Other</p> <p>※講義の詳細については、UTAS を参照すること</p> |     |       |                        |
| 時間割<br>コード  | 曜限  | 担当教員  | 対象クラス                  |
| 50033   | 月 1 | 守田 佳史 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |
| 50210   | 月 5 | 大川 祐司 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |
| 50303   | 火 2 | 鈴木 康夫 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |
| 50700   | 水 5 | 堀田 知佐 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |
| 50966   | 金 2 | 山口 哲生 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50721           | A  | 解析力学  | 菊川 芳夫 | 物理 | 木 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 解析力学<br>解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。 |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50967           | A  | 相対論   | 風間 洋一 | 物理 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎<br>相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それをを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。 |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名 | 担当教員 | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|------|----|-----|----------------------|
| 51080           | A  | 量子論   | 筒井 泉 | 物理 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 量子論とは何か：その源泉と現代物理への流れ<br>本講義では、量子論の幕開けから現代の量子物理学・量子情報科学に至る道筋を概観し、相対性理論と共に現代物理学を支える量子力学が構成された歴史的背景と、その基本的な構成と物理的な意義について、自然なかたちで理解することを目標にしている。古代からの伝統的な自然観に基づいて構成された19世紀の古典物理学では何が問題となったのか、そしてこれを解決するために、どのような過程を経て20世紀初めに量子力学が構成されることになったのか、さらにそれから百年を経た21世紀の今日に至るまでにどのような発展があったのかについて、時代を追って説明を行う。これらの講義を通して量子物理学とは何かを知り、その基礎と根柢にある革新的な自然観をできるだけ正確に習得できるようにしたい。 |       |      |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名 | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|-------|----|-----|----------------------|
| 50211           | A   | 統計物理学 | 福島 孝治 | 物理 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 統計物理学<br>多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなマイクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、マイクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このマイクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例を通じて、マイクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する。特に、相転移の統計力学では、マイクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。 |       |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象          |
|-----------------|----|---|-------|----|-----|-------------|
| 50304           | A  | 物理科学Ⅱ (文科生)   | 鳥井 寿夫 | 物理 | 火 2 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>体感して学ぶ物理科学<br/>物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われる。このような誤解を解消したい。</p> <p>この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験し、体感することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室 (KOMCEE East 地下1階) での実施を予定している。</p> |       |    |     |             |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象       |
|-----------------|----|--|-------|----|-----|----------|
| 50305           | A  | 化学平衡と反応速度  | 奥野 将成 | 化学 | 火 2 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>化学平衡と反応速度 / Chemical Equilibrium and Kinetics<br/>化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。</p> |       |    |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象       |
|-----------------|----|--|-------|----|-----|----------|
| 50701           | A  | 化学平衡と反応速度  | 野本 貴大 | 化学 | 水 5 | 1年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>反応速度論基礎<br/>化学反応を反応速度の観点から定量的に解釈することにより、反応機構を解明することが基礎研究では行われる。また、新材料開発や創薬研究においては反応プロセスの最適化が重要であり、その設計の基本となるのが反応速度論である。本授業では、反応速度論の基礎について講義するとともに、主に有機反応化学・高分子化学に関わるその応用例についても紹介する。</p> |       |    |     |          |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属      | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|---------|-----|----------------------|
| 50968           | A  | 分子システムの化学  | 豊田 太郎 | 統合自然科学科 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス<br/>身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただいただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。</p> |       |         |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51324           | A   | 物質・生命工学概論 | 吉田 英弘 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>物質・生命工学概論</p> <p>本講義は、工学部が提供する工学概論4講義の一つである。物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。</p> |           |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51325           | A   | 物質・生命工学基礎Ⅱ | 長汐 晃輔 | 工学部 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門</p> <p>「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違っ捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。高校物理で出てきた電子の質量は、真空中に存在する“自由な”電子の質量である。この講義では、高校までの講義内容をもとに、学部1年生から理解できるように構成している。“固体中の”電子は、真空中とは異なる質量をもち、動き回っていることを学ぶ。さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います。</p> <p>(履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載、参考にしてください)</p> <p>以下の項目を具体的な題材として議論したい。</p> <p>光ファイバー、電子顕微鏡、走査トンネル顕微鏡、半導体レーザー、高速トランジスタ等</p> |            |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名      | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|------------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51326           | A   | 物質・生命工学基礎Ⅱ | 野地 博行 | 工学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>つくるバイオ</p> <p>工学的視点からみたとき、バイオは自然による分子工学・分子システム工学の粋とみなすことができる。現在の工学では、生体分子に基づく機能性分子や分子システムが創出されている。また、細胞自体も機能性材料と見なすことができ、様々なデバイス・材料の開発が提案されている。本講義は、このようなバイオに対する工学的アプローチを解説することで、従来の分子生物学的視点からは学ぶことができない「モノづくりとしての生命科学」に触れることを目的とする。</p> |            |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名   | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|---|--------|----|-----|----------------------|
| 50212           | A  | 進化学   | 青木 誠志郎 | 生物 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>進化学<br/>生物の研究には、生物を物質として還元的に解析する研究分野の他に、ヒトも含めた生物同士や生物と環境の関係性を研究する分野があります。進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。進化学では、多様な生物種がどのように生まれたのか？、協力的な関係が成立するためには何が重要か？、DNA と形質の多様性はどのように生まれてきたのか？、男女の違いやそもそも性の存在意義は何か？など、様々な疑問について追求します。一般的に進化学では、「進化機構」と「進化史」の2つの柱を研究の基盤とされ、この授業では、それらの研究法とそこから得られた様々な知見について、具体的な生物の例を挙げながら順次説明していきます。</p> <p>毎回の授業では、系統学、行動生物学、集団遺伝学、分子進化学、生態学、ゲーム理論など、進化学に関連する分野を個別に扱います。各項目は個別に楽しめる授業であり、途中からでも参加が可能です。また、授業全体としては、(1) 過去の授業で学生の皆様から高く評価された項目から始め、中盤以降にそれらを総合的に俯瞰し、進化学の総合的な考え方について説明します。(2) 近年の世界がコロナウイルスの危険にさらされた状況を、進化学の側面から眺めます。具体的には、寄生者と宿主の関係を背景に、ゲノムの変異、自然選択の条件、生物地理学、有性生殖の意義などを総合的に眺め、これらを進化的に考える面白さについて説明します。</p> <p>生物学を高校で学んでいない方でも理解できるよう、授業の早い段階で最低限の分子生物学の資料を提供し、解説します。また、新しい論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだまだ多くの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を志す方々にも楽しんでいただきたいと考えています。本授業を通じて、遺伝子・個体・集団のレベルから生物を進化的に考える面白さを理解していただくことを目標とします。</p> |        |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名   | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                |
|-----------------|-----|---|-------|----|-----|-------------------|
| 50306           | A 1 | 現代生命科学 I<br>(文科学、理一生)   | 坪井 貴司 | 生物 | 火 2 | 1年 文科 理一 2年 文科 理一 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>人体の不思議をめぐる旅<br/>生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。</p> |       |    |     |                   |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                |
|-----------------|-----|--|-------|----|-----|-------------------|
| 60002           | A 2 | 現代生命科学 II<br>(文科学、理一生)   | 石浦 章一 | 生物 | 月 1 | 1年 文科 理一 2年 文科 理一 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |     | <p>現代生命科学と DNA<br/>【入力必須】<br/>今回の現代生命科学 II は、DNA について講義する予定です。DNA は私たちの今の健康に関係するだけで将来の病気の予測にも大きくかかわってきます。また、環境問題も DNA で解けるものも少なくありません。今回の授業では、DNA を使った最新の科学の現状を紹介します。テーマはバラバラのように見えますが、1本筋が通っています。高校で生物学を履修していない学生にも丁寧に講義する予定です。</p> |       |    |     |                   |

| 時間割<br>コード      | 開講 | 授業科目名  | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|----|--|-------|-----|-----|----------------------|
| 51343           | A  | 分子生命科学   | 飯野 雄一 | 理学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 |    | <p>分子から見た生命現象<br/>生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。</p> <p>この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第5版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。</p> |       |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名          | 担当教員              | 所属   | 曜限  | 対象            |
|-----------------|---|----------------|-------------------|------|-----|---------------|
| 50887           | A   | 惑星地球科学 I (理科生) | 小久保 英一郎、中<br>本 泰史 | 宇宙地球 | 木 5 | 1 年 理科 2 年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)<br>太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。 |                |                   |      |     |               |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名           | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象            |
|-----------------|--|-----------------|-------|------|-----|---------------|
| 50722           | A  | 惑星地球科学 II (理科生) | 黒川 宏之 | 宇宙地球 | 木 1 | 1 年 理科 2 年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 地球惑星科学入門 II：惑星地球の形成と進化／Introduction to Earth and Planetary Science II: Formation and Evolution of the Planet Earth<br>惑星地球科学 I・IIを通じて、我々人類が生活する惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学 IIでは地球がどのように誕生しその姿を変えて来たのかを解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系やその外の惑星系についても紹介する。／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Planetary Earth Science II focuses on how Earth formed and how its surface environment changed with time. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced. |                 |       |      |     |               |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員                       | 所属  | 曜限  | 対象                     |
|-----------------|--|-----------|----------------------------|-----|-----|------------------------|
| 51344           | A  | 地球惑星環境学入門 | 高橋 嘉夫、廣瀬 敬、<br>狩野 彰宏、遠藤 一佳 | 理学部 | 木 5 | 1 年 文科 理科<br>2 年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth<br>本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる 4 人の講師で解説する。 |           |                            |     |     |                        |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名        | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象            |
|-----------------|---|--------------|-------|------|-----|---------------|
| 50888           | A   | 宇宙科学 I (理科生) | 諏訪 雄大 | 宇宙地球 | 木 5 | 1 年 理科 2 年 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics<br>宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。／Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe. |              |       |      |     |               |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名       | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象          |
|------------|---|-------------|-------|------|-----|-------------|
| 50969      | A   | 宇宙科学Ⅱ (理科生) | 松原 英雄 | 宇宙地球 | 金 2 | 1年 理科 2年 理科 |
| 講義題目       | 宇宙の物質循環を理解するために使われる物理・化学・数学 /<br>Basics to understand the matter transmigration in the Universe   |             |       |      |     |             |
| 授業の目標概要    | 様々な宇宙の現象の中から、特に可視光・赤外線・電波天文学の研究の現場である「宇宙の物質循環」に関係したテーマを幾つか掘り下げて学習する。これにより、大学の1、2年生で学ぶ基礎的な物理学・化学・数学が、最前線の宇宙科学 (特にスペースからの赤外線天文学) の研究の現場でどのように使われているか、具体的な例を通じて習得し、基礎科学の学習の重要性を再認識することを目指す。<br>生まれたての星や銀河とその母胎である星間物質、原始惑星系円盤や系外惑星など、赤外線天文学の観測対象について学習するだけでなく、宇宙飛翔体 (天文衛星・探査機) やその運用・データ処理など、研究を遂行するために我々研究者が日々の研究や業務の現場で直面している課題についても紹介する。 /<br>This lecture aims to learn several themes related to "Matter Transmigration in the Universe", studied with optical, infrared and submm astronomy. As a result, I'll guide students in the first and second years of the university to understand how the fundamental physics, chemistry, and mathematics are used in the field of research. |             |       |      |     |             |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名         | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象          |
|------------|---|---------------|------|------|-----|-------------|
| 50970      | A   | 惑星地球科学Ⅱ (文科生) | 小宮 剛 | 宇宙地球 | 金 2 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目       | 地球惑星科学概論Ⅱ   |               |      |      |     |             |
| 授業の目標概要    | 地球惑星科学Ⅰに引き続き、特に以下の点について、講義する。<br>地球史：固体地球進化 (熱史)、大気・海洋表層環境進化 (酸素と二酸化炭素)、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅<br>表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降 (氷期間氷期サイクル)、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界 (資源、エネルギー問題) |               |      |      |     |             |

| 時間割<br>コード | 開講   | 授業科目名       | 担当教員 | 所属   | 曜限  | 対象          |
|------------|--|-------------|------|------|-----|-------------|
| 50034      | A  | 宇宙科学Ⅰ (文科生) | 鈴木 建 | 宇宙地球 | 月 1 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目       | 天文学・宇宙物理学の基礎的内容<br>Introductory Astronomy and Astrophysics       |             |      |      |     |             |
| 授業の目標概要    | 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。 |             |      |      |     |             |

| 時間割<br>コード | 開講  | 授業科目名  | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|------------|---|--------|--|-----|-----|----------------------|
| 51346      | A   | 微生物の科学 | 大西 康夫、原 啓文、丸山 潤一、<br>石井 正治、堀内 裕之、妹尾 啓史、<br>西山 真、山次 康幸、五十嵐 圭日子、<br>野尻 秀昭、古園 さおり | 農学部 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目       | 微生物の世界  |        |  |     |     |                      |
| 授業の目標概要    | 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物 (あるいは微生物群) について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。 |        |  |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|--|-----|-----|----------------------|
| 51347           | A 1   | アグリバイオロジー | 井澤 毅、本多 親子、矢守<br>航、山次 康幸、伊藤 純<br>一、有村 慎一、樋口 洋平 | 農学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>植物の機能とその利用<br/>前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性ととの間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。<br/>本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。</p> |           |  |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名   | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|---------|---|-----|-----|----------------------|
| 51348           | A  | 応用動物科学Ⅱ | 山内 啓太郎、富安 博隆、桑原 正貴、<br>平山 和宏、内田 和幸、望月 学、伊藤<br>公一、村田 幸久、角田 茂、中川 貴<br>之、村上 晋、松田 二子、芳賀 猛 | 農学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない<br/>高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。</p> |         |   |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員                       | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|----------------------------|-----|-----|----------------------|
| 51349           | A   | 海の生命科学 | 岡田 茂、大久保 範聡、<br>浅川 修一、潮 秀樹 | 農学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>海の生命科学 (Marine Life Science)<br/>水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。<br/>本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、(1) 海洋生物の有機化学、(2) 海洋生物の生理、(3) 海洋生物のゲノム科学、(4) 海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。</p> |        |                            |     |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属      | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|-------|-------|---------|-----|----------------------|
| 50213   | A  | 生物物理学 | 石原 秀至 | 統合自然科学科 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 生物物理学 ー実験から理論までー   |       |       |         |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。</p> <p>生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。</p> <p>物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。</p> <p>従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧め</p> <p>生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。</p> |       |       |         |     |                      |

| 時間割コード  | 開講   | 授業科目名  | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|---------|--|--------|-------|------|-----|----------------------|
| 50702   | A  | 先進科学Ⅱα | 市橋 伯一 | 先進科学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目    | 生命進化概論 (アドバンスト理科)  |        |       |      |     |                      |
| 授業の目標概要 | <p>「生物学は進化という観点がなくて何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらおう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。</p> <p>本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらおう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためににも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。</p> <p>なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を発表する。</p> |        |       |      |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属   | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------------|-------|------|-----|----------------------|
| 50971           | A   | 先進科学IV $\alpha$ | 加藤 英明 | 先進科学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>構造生命科学概論 (アドバンスト理科IV)</p> <p>我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が目で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起きているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学 (構造生命科学) である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。また、時間が許せば Alphafold2 をはじめとした、近年開発の進んでいるタンパク質構造予測手法についても紹介を行う。</p> <p>なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページに掲載する。</p> |                 |       |      |     |                      |

## 総合科目 F (数理・情報)

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名          | 担当教員   | 所属 | 曜限  | 対象          |
|-----------------|--|----------------|--------|----|-----|-------------|
| 50723           | A  | 数理科学概論 I (文科生) | 小木曾 啓示 | 数学 | 木 1 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 数理科学概論 I<br>文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学者向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい。 |                |        |    |     |             |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名           | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象          |
|-----------------|---|-----------------|-------|----|-----|-------------|
| 50307           | A   | 数理科学概論 II (文科生) | 大島 芳樹 | 数学 | 火 2 | 1年 文科 2年 文科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 数理科学概論 II (文科生)<br>文科生向けの、行列の定める線型変換 (一次変換) の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学 II」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学 I」で扱う内容は前提としない。ただし、項目 3 においては「数学 I」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。 |                 |       |    |     |             |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名  | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|--------|------|-----|-----|----------------------|
| 51323           | A   | 数理工学入門 | 高安 敦 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 数理工学入門<br>情報の伝達にはその効率性や信頼性が要求される。情報理論とは、情報伝達のために必要な効率の限界の導出・具体的な符号化法の提案などを含む分野であり、数学的には確率・統計と密接な関わりがある。さらに、数理工学の様々な分野の土台になる理論であり、機械学習・情報セキュリティ・画像処理・経済学など様々な分野に繋がる。本講義では、情報理論の基礎を学びながら、データ圧縮や情報セキュリティを中心にその情報理論の応用について説明する。 |        |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|-------|----|-----|----------------------|
| 50308           | A   | 統計データ解析 I | 小池 祐太 | 数学 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | データサイエンス入門<br>統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。統計データ解析 I は A セメスターに開講し、基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。 |           |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|-------|----|-----|----------------------|
| 50703           | A  | 統計データ解析 I | 増田 弘毅 | 数学 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 統計・データサイエンス入門<br>受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。 |           |       |    |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名     | 担当教員  | 所属 | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------|-------|----|-----|----------------------|
| 50972           | A  | 統計データ解析 I | 鎌谷 研吾 | 数学 | 金 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 統計データ解析 I<br>統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。統計データ解析 I は A セメスターに開講し、基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。 |           |       |    |     |                      |

| 図形科学 A                   |   | 開講区分          | A                                |
|--------------------------|---|---------------|----------------------------------|
| 授業の目標・概要                 | 3次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD (計算機援用設計) ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。<br>1. 2D モデリング (線分, 円, 多角形, スプライン曲線)<br>2. 3D モデリング (押し出し・回転, 空間幾何課題の解法)<br>3. アセンブリ・正投影図面<br>4. リンク機構とモーションの表現<br>5. レンダリング (透視投影、色彩、テクスチャー、陰影) |               |                                  |
| 成績評価方法                   | 出席、レポート (実習課題)、期末試験によって評価する。  |               |                                  |
| 教科書                      | 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook<br>書名 3D-CAD で学ぶ図形科学入門<br>著者 (訳者) 横山ゆりか, 金井崇, 舘知宏, 三木優彰 共著<br>出版社 サイエンス社<br>ISBN 978-4-7819-1555-5   |               |                                  |
| ※講義の詳細については、UTAS を参照すること |   |               |                                  |
| 時間割<br>コード               | 曜限  | 担当教員          | 対象クラス                            |
| 50068                    | 月 2   | 奈尾 信英、早川 大地   | 1年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2年 文科 理科 |
| 50096                    | 月 3   | 早川 大地、奈尾 信英   | 1年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2年 文科 理科 |
| 50249                    | 火 2   | 吉岡 陽介、三木 優彰   | 1年 文科 理二三(1-13) 2年 文科 理科         |
| 50365                    | 火 3   | 三木 優彰、吉岡 陽介   | 1年 文科 理一(10,15,21,26) 2年 文科 理科   |
| 50618                    | 水 3   | 舘 知宏、柏原 賢二    | 1年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2年 文科 理科 |
| 50643                    | 水 4   | 柏原 賢二、舘 知宏    | 1年 文科 理一(8,27-29,33) 2年 文科 理科    |
| 50708                    | 木 1   | 横山 ゆりか、山下 典理男 | 1年 文科 理二三(14-24) 2年 文科 理科        |
| 50758                    | 木 2   | 山下 典理男、横山 ゆりか | 1年 文科 理一(13,32,34,38) 2年 文科 理科   |
| 51002                    | 金 3   | 田中 一郎、金井 崇    | 1年 文科 理一(18,20,22,25) 2年 文科 理科   |
| 51036                    | 金 4   | 金井 崇、田中 一郎    | 1年 文科 理一(1-4,9,24,31) 2年 文科 理科   |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50214           | A  | 基礎統計  | 佐藤 俊樹 | 経済・統計 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>基礎統計<br/>統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。<br/>範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。</p> |       |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名 | 担当教員   | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------|--------|-------|-----|----------------------|
| 51081           | A   | 基礎統計  | 河合 玲一郎 | 経済・統計 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>統計学入門<br/>本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化）、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験）、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。</p> |       |        |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員  | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|-------|-------|-----|----------------------|
| 50309           | A  | 統計分析  | 大竹 洋平 | 経済・統計 | 火 2 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>応用としての統計<br/>本授業では、基礎統計を学び終えた学生を対象として、応用としての統計学を学びます。自然科学をはじめとして、教育学・心理学なども含めた社会科学など、様々な科学分野に応用可能な統計分析について考察し、他分野に渡る統計学の応用可能性について検討できることになることを目指します。<br/>記述統計学の復習から入り、推測統計学へと進みます。自然科学をはじめとした多くの学問に共通する「分散分析」の手法を学ぶことを目指して授業は進めていきますが、そのために必要な統計科学の諸知識を学んでいきます。<br/>記述統計学としては、データの可視化や要約統計量を確認した上で、変数間の関係を表す相関や回帰の考え方を学び、さらには因果効果についても考察します。<br/>推測統計学としては、母集団と標本の考え方から始め、推定論・検定論について学んでいきます。具体的な統計手法としては、t検定から、一元配置分散分析、二元配置分散分析（繰り返しのない、繰り返しのある、場合によっては、混合計画）へと進んでいきます。<br/>終盤では、実験実施者として、統計的分析の際に注意すべき点についても考えていきます。</p> |       |       |       |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名 | 担当教員 | 所属    | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-------|------|-------|-----|----------------------|
| 50704           | A  | 統計分析  | 松浦 峻 | 経済・統計 | 水 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | <p>多変量解析の基礎<br/>本科目では、「基礎統計」を履修済みの学生あるいは同等の内容を修得済みの学生（例えば、「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第8章までの内容をひと通り理解しているなど）を対象に、多変量データに対する統計解析手法の基礎的な内容について講義を行う。具体的には、回帰分析、判別分析、主成分分析、数量化Ⅲ類、因子分析、正準相関分析、多次元尺度構成法などの基本的な多変量解析法を取り上げる。</p> |       |      |       |     |                      |

| アルゴリズム入門                 |   | 開講区分        | A                                      |
|--------------------------|---|-------------|--|
| 授業の目標・概要                 | コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングを通して習得することです。 |             |  |
| 成績評価方法                   | 試験および演習課題の成績によって評価します。試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。   |             |  |
| 教科書                      | 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook<br>書名 Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ<br>著者(訳者) 森畑明昌<br>出版社 東京大学出版会<br>ISBN 978-4-13-062458-9   |             |  |
| ※講義の詳細については、UTAS を参照すること |   |             |  |
| 時間割コード                   | 曜限  | 担当教員        | 対象クラス                                  |
| 50070                    | 月 2   | 加藤 弘之       | 1年 文科 理一(18,27-28,38) 2年 文科 理科         |
| 50155                    | 月 4   | 伊知地 宏       | 1年 文科 理一(8,10,15,17) 2年 文科 理科          |
| 50184                    | 月 5   | 伊知地 宏       | 1年 文科 理二三(6,8,12-15,17) 2年 文科 理科       |
| 50215                    | 月 5   | 森畑 明昌       | 1年 文科 2年 文科 理科                         |
| 50248                    | 火 2   | 千葉 滋        | 1年 文科 理一(12,19-20,32) 2年 文科 理科         |
| 50310                    | 火 2   | 森 純一郎、山肩 洋子 | 1年 文科 2年 文科 理科                         |
| 50546                    | 水 2   | 田中 哲朗       | 1年 文科 理一(9,25-26,29) 2年 文科 理科          |
| 50641                    | 水 4   | 山口 泰        | 1年 文科 理一(1-5,7,35) 2年 文科 理科            |
| 50757                    | 木 2   | 地引 昌弘       | 1年 文科 理一(11,16,37,39) 2年 文科 理科         |
| 50867                    | 木 5   | 塩谷 亮太       | 1年 文科 理二三(1-3,5,7,9-10,16,24) 2年 文科 理科 |
| 50911                    | 金 1   | 馬場 雪乃       | 1年 文科 理一(21-22,30,36) 2年 文科 理科         |
| 50926                    | 金 2   | 塚田 学        | 1年 文科 理二三(4,11,18-23) 2年 文科 理科         |
| 51001                    | 金 3   | 羽山 博        | 1年 文科 理一(13,24,31,33) 2年 文科 理科         |
| 51037                    | 金 4   | 金子 知適       | 1年 文科 理一(6,14,23,34) 2年 文科 理科          |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名       | 担当教員   | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-------------|--------|-----|-----|----------------------|
| 51335           | A   | 情報・システム工学概論 | 長谷川 禎彦 | 工学部 | 月 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 情報・システム工学概論<br>近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。 |             |        |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51320           | A   | 情報システム基礎Ⅱ | 三田 吉郎 | 工学部 | 月 1 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | わかる電子回路<br>電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。 |           |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講  | 授業科目名     | 担当教員  | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|---|-----------|-------|-----|-----|----------------------|
| 51317           | A   | 情報システム基礎Ⅱ | 國吉 康夫 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | ロボット・AI・VRと人間 / Robots, AI, VR and Human<br>人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで、人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する、あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する。ロボット、AI、VRの研究開発はいずれもこの方法論を共有し、相互に関連し、様々に融合しつつ発展している。これらの基本原理、人間との関係、最新の研究や応用、今後の方向性について、各分野の最先端研究を担う教員が解説する。 |           |       |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員                        | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|-----------------------------|-----|-----|----------------------|
| 51314           | A  | モデリングとシミュレーション<br>基礎Ⅱ | 渡邊 健治、長山 智則、<br>高橋 佑弥、下園 武範 | 工学部 | 木 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 力学で解く自然災害<br>地震、津波、洪水、台風、高潮など、我が国は世界的に見て自然災害の多い国である。多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが、一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで、被害を食い止めようとしてきた。<br>本講義では、圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し、工学モデルを築き上げてきたか、また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか、工学部社会基盤学科の教員が解説する。構造被害、地盤災害、沿岸災害に関連する力学数値モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し、実社会の防災への適用の現状を解説する。 |                       |                             |     |     |                      |

| 時間割コード          | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員 | 所属  | 曜限  | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|------|-----|-----|----------------------|
| 51327           | A  | モデリングとシミュレーション<br>基礎Ⅱ | 中山 哲 | 工学部 | 金 5 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 化学情報とシミュレーション<br>社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。<br>また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。 |                       |      |     |     |                      |

| 時間割<br>コード      | 開講   | 授業科目名                 | 担当教員   | 所属  | 曜限 | 対象                   |
|-----------------|--|-----------------------|--------|-----|----|----------------------|
| 51331           | A  | モデリングとシミュレーション<br>基礎Ⅱ | 鳥海 不二夫 | 工学部 | 集中 | 1年 文科 理科<br>2年 文科 理科 |
| 講義題目<br>授業の目標概要 | 経済物理・金融情報学・計算社会科学<br>現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。<br>※履修人数制限 20人<br>※講義は集中講義にて行う。(2023年12月27日(水),28日(木)を予定)<br>※受講希望者は10月2日(月)までに100字程度の希望理由を添えてで申し込むこと<br><a href="https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkw12">https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkw12</a> |                       |        |     |    |                      |